

今月の言葉

安岡正篤先生の主宰される全国師友協会の機関誌「師と友」四月号の巻頭言に「齊家の箴」という五ヶ条が載っていた。

その(一)和顔愛語を旨とし、怒罵相辱かしむるをなす。(二)簡素清浄を守り、怠惰放漫を戒む。(三)小信を恕がなす。(四)有持慎み、四親朋は事無くして偶訪し、時有つてか季物を贈る。(五)平生、書を読み、道を開くを樂しむ、とある。

どれをとっても実行するのはなかなか難しいことであるが、絶えず心しなければならぬことだと思ふ。

第一条では、怒り罵り、互いに辱

齊家の箴

かしめあつたことが不和や険悪を生じ、和やかな顔、愛む言葉が大切であるといっている。

第二条では、簡素、清浄といふこと

第三条では、人間社会は、小は家、大は社会、国家、訪し、時有つてか季物を贈る。この頃は世の国際関係に於いて、相互の信頼、関係がなければ平和は保てない。

第四条の「親朋には事無くして偶のを贈ることも御無沙汰勝ちである。しかし、特に要件のない一片の書信は心温まるものである。また偶の訪問も相手は忙しければ刺を通し、あつただけでもよいのではいかと思ふ。困ることは、この頃とんと季物がなくなることである。果物には草花にも季節感がなくなつたことは淋しい。

最後に、「平生、書を読み、道を開くを樂しむ」とあるが、昨今は書物の氾濫でその選択に苦しむのが実情である。良書を選び、道を守り、は裁縫が好きである。

鉄壁の構えで対処 守りと静の警備



日備 来警 首相 英道 沿道 警備 警備 警備

この日、首相の来日に伴う警備・のなかで、国家行事を無事滞りなく進めていくためには、集団警備力の中核である機動隊の出動が要求されるものだ。

英国のサッチャー首相、同大君一行計六十三名は九月十七日から二十日まで六日間滞在し、迎賓館での歓迎行事、鈴木首相との首脳会談、日産自動車川又克二会長との意見交換、筑波研究学園都市、東海村原子力施設の視察など予定行事を精力的にこなした。

今回の来日に際し、懸念されていた右翼の反行動はほとんど大きなものはないが、新右翼の一部がヤルタ・ポツダム体制に反対する立場から反行動に出た。

もっとも、これも六日間で機動隊員等延べ一万五千名を出動させた警備力、警備隊の徹底した対処に作戦が効果を奏し、不法行為を完全に防止した。

公案一行は、日本警察の警護に對して理解ある態度を示し、離日の際は、車列警護員ひとりひとりと握手をかわして感謝の意を示されたが、隊員達はこれからも心身を鍛錬、鉄壁の構えで任務を遂行していく。

はげまし

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

総合力を発揮

こうした警備は「守りと静」の警備である。いつ見えない敵の攻撃を受けるか、常に緊張した警戒力が求められる。一刻たりとも油断できない困難な警備だが、九月の英国・サッチャー首相の来日に当り、機動隊はその総合力を発揮し、完璧に対処することができた。

サッチャー英首相の警護

英国のサッチャー首相、同大君一行計六十三名は九月十七日から二十日まで六日間滞在し、迎賓館での歓迎行事、鈴木首相との首脳会談、日産自動車川又克二会長との意見交換、筑波研究学園都市、東海村原子力施設の視察など予定行事を精力的にこなした。

各地のたより

機能別特別訓練を実施

新体制となった同機動隊では、スクーパー、レンジャー隊の新隊員の養成と各種警備訓練を必要とする通信、記録、広報及び写真各班の新班員に実地の知識・技能を習得させたため、全隊員が参加しての特別訓練を実施した。

出動回数も多く、災害出動の軸となっているスクーパー隊では、機動隊ブルーでの立ち泳ぎ、素潜りなどの基礎訓練を行なった後、県下三河川川沿いの防炎訓練に臨み、また瀬戸内海の夜の洪川海岸へも出かけて汚れた川水を容赦なく飲み、視界の悪い水中で言いかげない視界を回復し、実戦的な訓練を反復した。

レンジャー隊も地上数十メートルに張りつられたロープ一本に身を託して、救助隊員としての技術訓練はもとより、何事にも屈しない自己の体力・精神力への挑戦という面から懸命の努力と訓練を重ねた。

こうした厳しい特別訓練中、飯見警察本部長の現地官助を受け、若い隊員の士気ははやが上にも高まり、訓練意欲が一層の拍車がかかった。

訓練最終日には、岡山市内各

奈良県警機動隊 防炎訓練で活躍

雨と地震に備える県防炎訓練がさきほど大和郡市街、泉下川の防災三団体約六百人と関係者約千人の参加のもと実施された。

県警からは機動隊が中心となつて参加した。訓練の重点であった団体相互の連携プレーに汗を流したが、とくに高層ビル火災で屋上にて人が取り残されるという場面では、機動隊のレンジャー部隊が地上二十メートルの高さに張りつられたロープを伝わって屋上に渡り、負傷者を背負って降下した。思わず見学者から拍手が湧き起こり、警察の威信を高めた。

犯人をスピード逮捕 佐賀県警機動隊 手柄の四隊員

出動服のほころびの修理等は男世帯の機動隊にとままたならぬものである。この難題を一手に引き受け、隊員達のあちやん役を務めている若いお針子隊員を紹介する。

当隊第三小隊隊員竹内正明(二十二才)が、この人である。同隊員は、自分のスーツを仕立てあげるだけの腕前の持ち主である。この秘密は、実家が洋服店であったところから家業を継ぐべく、幼い頃から父の伝承教育を受けたためであり、また彼は裁縫が好きである。

警察界に志を立てた彼に、今

岐阜県警機動隊 楽しみな機動隊菜園

本年巡査部長試験に合格し、来春除隊する彼は、後継者を育成する除隊隊員を受け、内弟子の教育に専念している。

その技術が生かされているのであつて、隊員の出動服の修理はもとより、柔道マンの折り返し等殺到する注文をすべてこなしている。当直の夜は大盛況である。

また、彼は室内装飾にも関心があり、パーダンの品の中から生地を選び、当直室のカートン、隊長室のソファカーキ等をおこに作り上げた。

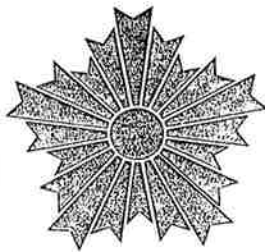
入隊当初、訓練を終え真黒な顔に汗を流し、ミシンを踏む姿に奇異を感じるころもあつたが、今ではそれが彼の任務として全員が認めることとなり、若い隊員の感謝を一身に集めている。

三重県警機動隊 貴重な存在 お針子隊員

岐阜県警機動隊は、裏庭にある三坪ばかりの花壇を利用して、毎年四季おりおりの花を植えて、隊員の日を樂ませてきたが、今年は隊員の希望で、五月下旬にきゅうりとトマトの苗を各八本植えた。

一カ月位経ってからの収穫は、八百屋も脱帽(?)するほどの出来栄で、とりたての新鮮な野菜が贈らわした時は、隊員達の表情も格別であった。他府県の皆様に一度試したらいかだろか。





わが隊の輝かしい伝統③

任務遂行に揺るぎない自信と信念、これを支える良い伝統は、これからも新入隊員に引き継がれていくが、この治安の闘士達に惜しみない声援を送りたい。

輝かしい伝統を胸に秘めた機動隊魂は、先輩の貴重な体験と努力から後輩へと受け継がれている。隊員それぞれが自分の隊の伝統に誇りを持ち、より精強な部隊作りを目指して日夜訓練に励んでいる。

忍と静の心の隊訓

熊本県警機動隊

我が熊本県警機動隊には、文章に明示された隊訓がない。しかし、先輩隊員が過去幾多の実戦を通じて、苦々として築きあげた心の隊訓として、「忍」と「静」のいわゆる機動隊魂が輝かしい伝統として生き続けている。

最近、我が機動隊の警備出動率も減少しているが、機動隊発足間もない昭和三十五年労働運動史上最大と言われた三井三池争議、続いて昭和三十七年の下釜ダム蜂の巣城の代執行、昭和四十四年から始まった熊大

の生協闘争、さらには昭和四十六年からの沖繩派兵阻止闘争があり、この警備にあたった先輩隊員は、連日連夜出動につく出動を余儀なくされた。特に、昭和四十七年七月の全国規模による沖繩派兵阻止第一回闘争では、真夏日の炎天下気温三十度を越す猛暑の中で警備となり、連日の警備の疲れが加わって、重装備のまま日射病で倒れた者三十四名にも及び、うち一名が永遠に帰らぬ人となった。

こうして連日の厳しい幾多の実戦を通じて先輩隊員が体験したものは、「忍」と「静」の警備実践であった。どんなに苦しく、どんなに厳しい困難な警備

実施であつても、また、どんなに衆人監視の中で罵声を浴びせられようとも、じっとこれを耐え、黙々とたぐひたぐひと県民の平穏な生活を願って任務の完遂に全力を投球したのである。そして今日、先輩達のこの厳しい体験の中から生れた「忍」と「静」の貴重な心の隊訓は、隊員の出動服の左腕につけられた隊章（銀杏に蛇の目をあしらったもの）に受け継がれ、今日に至っている。

機動隊発足以来二十有余年を経た今日、過去の厳しい出動体験を持つ隊員も次第に限られたものになりつつあるが、隊員は常にこの隊章を左腕につけ、いかなる困難な警備現場に遭遇しようとも、「忍」と「静」を合言葉に、黙々と努力を重ねており、この良い伝統は、いつまでも消えることなく先輩隊員から後輩隊員へと受け継がれよう。

昭和四十六年四月に十名で発足した当機動隊の潜水隊も、本年四月で満十一年となり、現在では新隊員を除く全員が、潜水士免許を所持している。過去の技術を顧みると、その回数には裕に回を重ね、目的物発見率は八割強となっている。中でも思い出に残る出動は昭和四十八年二月十七、十八の両日それぞれ二十名が出動した「日田市金融業者強盗殺人事件」の遺体捜索であった。

死体遺棄現場は、福岡県境にある夜明ダムで気温一度、水深三メートル、視界〇・四メートルの悪条件下での捜索活動であった。犯人が指し示す付近を六名一組となつて捜索したが、自分の手が見えないばかりか、上昇しているのか下降しているのかわからず、頭が上から下かさへわかたない正に宇宙の無重力状態にあるような感じで、不安といふだらううちに、第一日は遺体の発見に至らないまま捜索が打ち切られた。

第二日は、絶対に発見するぞという信念と前日の反省をもとに、十名一組で実施した。捜索開始約二十分後、水中に垂らしたロープが激しく引かれた。遺体発見か緊張のうちに、船の支援班は確実なロープを引上げた。ロープの端には、遺体を包んだ「かます」が結ばれていた。その「かます」と共に浮上してきたのは七名であり三名が浮上してこない。途中で連絡ロープを離したのか、何か事故でもあったのか、支援班は心配になった。しかし、それも束の間で、三名は更に一つの「かます」を持ってきたのである。それは、われら潜水班が視界〇メートルであろうとも「自分の目的物を捜すのだ」という心意気で捜索に従事している結果であった。

足元僅か一年数ヶ月であったが、潜水隊にとっては貴重な体験となり、この体験と自信は現在の機動隊にも脈々と引き継がれている。いかなる場面にも他人に頼らず、強くなりたい機動隊員となるために、自ら鍛え、プロとしての技術を身につけ、出動に備えている。

昭和四十六年四月に十名で発足した当機動隊の潜水隊も、本年四月で満十一年となり、現在では新隊員を除く全員が、潜水士免許を所持している。過去の技術を顧みると、その回数には裕に回を重ね、目的物発見率は八割強となっている。中でも思い出に残る出動は昭和四十八年二月十七、十八の両日それぞれ二十名が出動した「日田市金融業者強盗殺人事件」の遺体捜索であった。

死体遺棄現場は、福岡県境にある夜明ダムで気温一度、水深三メートル、視界〇・四メートルの悪条件下での捜索活動であった。犯人が指し示す付近を六名一組となつて捜索したが、自分の手が見えないばかりか、上昇しているのか下降しているのかわからず、頭が上から下かさへわかたない正に宇宙の無重力状態にあるような感じで、不安といふだらううちに、第一日は遺体の発見に至らないまま捜索が打ち切られた。

第二日は、絶対に発見するぞという信念と前日の反省をもとに、十名一組で実施した。捜索開始約二十分後、水中に垂らしたロープが激しく引かれた。遺体発見か緊張のうちに、船の支援班は確実なロープを引上げた。ロープの端には、遺体を包んだ「かます」が結ばれていた。その「かます」と共に浮上してきたのは七名であり三名が浮上してこない。途中で連絡ロープを離したのか、何か事故でもあったのか、支援班は心配になった。しかし、それも束の間で、三名は更に一つの「かます」を持ってきたのである。それは、われら潜水班が視界〇メートルであろうとも「自分の目的物を捜すのだ」という心意気で捜索に従事している結果であった。

足元僅か一年数ヶ月であったが、潜水隊にとっては貴重な体験となり、この体験と自信は現在の機動隊にも脈々と引き継がれている。いかなる場面にも他人に頼らず、強くなりたい機動隊員となるために、自ら鍛え、プロとしての技術を身につけ、出動に備えている。

昭和四十六年四月に十名で発足した当機動隊の潜水隊も、本年四月で満十一年となり、現在では新隊員を除く全員が、潜水士免許を所持している。過去の技術を顧みると、その回数には裕に回を重ね、目的物発見率は八割強となっている。中でも思い出に残る出動は昭和四十八年二月十七、十八の両日それぞれ二十名が出動した「日田市金融業者強盗殺人事件」の遺体捜索であった。

死体遺棄現場は、福岡県境にある夜明ダムで気温一度、水深三メートル、視界〇・四メートルの悪条件下での捜索活動であった。犯人が指し示す付近を六名一組となつて捜索したが、自分の手が見えないばかりか、上昇しているのか下降しているのかわからず、頭が上から下かさへわかたない正に宇宙の無重力状態にあるような感じで、不安といふだらううちに、第一日は遺体の発見に至らないまま捜索が打ち切られた。

死体遺棄現場は、福岡県境にある夜明ダムで気温一度、水深三メートル、視界〇・四メートルの悪条件下での捜索活動であった。犯人が指し示す付近を六名一組となつて捜索したが、自分の手が見えないばかりか、上昇しているのか下降しているのかわからず、頭が上から下かさへわかたない正に宇宙の無重力状態にあるような感じで、不安といふだらううちに、第一日は遺体の発見に至らないまま捜索が打ち切られた。

第二日は、絶対に発見するぞという信念と前日の反省をもとに、十名一組で実施した。捜索開始約二十分後、水中に垂らしたロープが激しく引かれた。遺体発見か緊張のうちに、船の支援班は確実なロープを引上げた。ロープの端には、遺体を包んだ「かます」が結ばれていた。その「かます」と共に浮上してきたのは七名であり三名が浮上してこない。途中で連絡ロープを離したのか、何か事故でもあったのか、支援班は心配になった。しかし、それも束の間で、三名は更に一つの「かます」を持ってきたのである。それは、われら潜水班が視界〇メートルであろうとも「自分の目的物を捜すのだ」という心意気で捜索に従事している結果であった。

足元僅か一年数ヶ月であったが、潜水隊にとっては貴重な体験となり、この体験と自信は現在の機動隊にも脈々と引き継がれている。いかなる場面にも他人に頼らず、強くなりたい機動隊員となるために、自ら鍛え、プロとしての技術を身につけ、出動に備えている。

昭和四十六年四月に十名で発足した当機動隊の潜水隊も、本年四月で満十一年となり、現在では新隊員を除く全員が、潜水士免許を所持している。過去の技術を顧みると、その回数には裕に回を重ね、目的物発見率は八割強となっている。中でも思い出に残る出動は昭和四十八年二月十七、十八の両日それぞれ二十名が出動した「日田市金融業者強盗殺人事件」の遺体捜索であった。

死体遺棄現場は、福岡県境にある夜明ダムで気温一度、水深三メートル、視界〇・四メートルの悪条件下での捜索活動であった。犯人が指し示す付近を六名一組となつて捜索したが、自分の手が見えないばかりか、上昇しているのか下降しているのかわからず、頭が上から下かさへわかたない正に宇宙の無重力状態にあるような感じで、不安といふだらううちに、第一日は遺体の発見に至らないまま捜索が打ち切られた。

第二日は、絶対に発見するぞという信念と前日の反省をもとに、十名一組で実施した。捜索開始約二十分後、水中に垂らしたロープが激しく引かれた。遺体発見か緊張のうちに、船の支援班は確実なロープを引上げた。ロープの端には、遺体を包んだ「かます」が結ばれていた。その「かます」と共に浮上してきたのは七名であり三名が浮上してこない。途中で連絡ロープを離したのか、何か事故でもあったのか、支援班は心配になった。しかし、それも束の間で、三名は更に一つの「かます」を持ってきたのである。それは、われら潜水班が視界〇メートルであろうとも「自分の目的物を捜すのだ」という心意気で捜索に従事している結果であった。

足元僅か一年数ヶ月であったが、潜水隊にとっては貴重な体験となり、この体験と自信は現在の機動隊にも脈々と引き継がれている。いかなる場面にも他人に頼らず、強くなりたい機動隊員となるために、自ら鍛え、プロとしての技術を身につけ、出動に備えている。

常山の蛇

鹿児島県警機動隊

我が隊の部隊活動としてのモットーは、対峙の時は、「正々堂々の旗、堂々の陣」で、実施にあたっては「常山の蛇」を旨としている。

これは、昭和四十三年一月、全学連の「米原子力空母母エンタープライズ佐世保基地寄港阻止闘争」に伴い、長崎県警に応援派遣されたとき、連日学生と衝突、攻防激しい警備活動を実施したが、この中で隊が幾度となく分断され、四人の負傷者を出す苦戦を強いられた経験から得た教訓である。

いずれも、孫子の兵法の中の一言葉からとったもので、「不遊

正々堂々の旗、堂々の陣」は、「正義のために拳を振り、破邪頭正の御旗を掲げ、敵軍を志気なきに打ち倒す」といふ堂々とした陣構えの軍団を相手に戦えば、味方の損害が多くなるので理を撃つべきでなく遊けるべきである」という大意が、相手攻撃してくるに意気として対峙の時は「正々の旗、堂々の陣」の姿勢で臨むこととしている。

また、「常山の蛇」とは、昔中国五嶽の一つ、常山に、勇猛果敢な蛇がおり、その頭を撃つと尾が助けにくるし、尾を撃つと頭が助けにくるということか、部隊が機敏に連携して動き、その力を十二分に発揮することを理想として、実施中の要諦としているのである。

本年は、「高校総体に伴う警備」を始め、「志布志湾国家石油備蓄基地計画関連調査」「川内原発建設」に伴う反対闘争等、例年にならぬ数多くの警備実施が予定されているが、我が隊は、今日の警備実施にも「正々の旗、堂々の陣」「常山の蛇」で対処、任務を全うし、これを果敢の伝統として守りぬいていく覚悟である。

剛健・優美・協和 沖繩県警機動隊 沖繩県は、第二次世界大戦によって異民族の施政権下に置かれ、幾多の苦難を歩んできた。我が沖繩県警機動隊も誕生するまでには、いろいろな変遷を経てきた。

昭和三十一年一月十二日琉球警察本部保安課に警備部長とす「特設警備隊」が設置され、同年九月十七日公安第二課に移された。これが、機動隊の前身で、主として繁華街を中心に徒歩警備活動を実施していた。

剛健・優美・協和

沖繩県警機動隊

沖繩県は、第二次世界大戦によって異民族の施政権下に置かれ、幾多の苦難を歩んできた。我が沖繩県警機動隊も誕生するまでには、いろいろな変遷を経てきた。

昭和三十一年一月十二日琉球警察本部保安課に警備部長とす「特設警備隊」が設置され、同年九月十七日公安第二課に移された。これが、機動隊の前身で、主として繁華街を中心に徒歩警備活動を実施していた。

昭和三十六年八月十五日の機構改革で、交通課のパトロール本部と特設警備隊を合併して警察本部警備課を新設して警備に当った。

昭和四十年五月十四日徒歩警備に隊に改称し、市街地や犯罪多

発地城の徒歩警備活動を実施するとともに、治安警備の中核となつて活動してきたが、復旧運動に伴う大衆運動の激化等沖繩の治安情勢の特殊性にかんがみ、昭和四十三年九月一日隊長を齋視とする機動隊が誕生した。

沖繩の膨大な米基地周辺には、「昭和の新機」と呼ばれた特別警備隊は、警備隊機動隊の生いたちであると共に一機の前身でもある。その後、変遷を経て昭和二十三年、戦後の混乱期に警備隊が創設され、中央区隊として皇居を始め都心の鎮めとして活躍し、昭和三十一年から、「第一機動隊」と改称された。

隊当時の隊舎は、旧近衛師団の兵舎であったが、今は皇居北の丸に位置し、隊からは清水港を経て、大手町や丸の内ビル街が一望でき、更には政治の中心地、霞が関と続き「近衛の一機」「旗本一機」のニックネームで呼ばれている。

わが一機は、古くは昭和二十七年の血のメーデー騒擾事件警備、第一次安保闘争警備、王子闘争、東大封鎖解除警備、新宿騒擾警備、成田警備などで困難を乗り越え、さまざまな警備に集団警備力の中核として立派にその任務を完遂してきた。

また、警備隊本部庁舎の警備を担当し、毅然たる警戒の中にも「監視隊」の一機隊員は監視隊の顔」といふ誇りのもとに都民との接点に当たっては、親切と思ひやりにモットーとして

一機の特徴としては、監視隊機により隊は、外国公費来日の大歓迎球は、全日本業界団選手権大会に東京都代表として、五十三年度を除き十一年連続出場を果たしている。



新隊員訓練

我々一機隊員は、先輩の築かれた輝かしい業績と伝統を正しく継承し、首都治安維持の重責を遂げるために、「誠実、忍耐、忍耐力」を隊訓として、使命に徹し、精強な人間機動隊をめざし、たゆまぬ訓練と勉学に努め都民の期待に応えるべく日夜努力している。

「かっぱの二機」という愛称で呼ばれたのはいつごろからのことであるか、さだかではない。当隊が墨東のゼロメートル地帯に位置し、隊の脇を東京湾へつながる横十間川が流れていることもあって、平川から水に馴染み、また、「かっぱ」は水の守り神であることから、自然とそこのように呼ばれてきたという活動面でも、昭和三十四年に死者・行方不明者五千有余名を出した伊勢湾台風風水害警備を始め、墨東ゼロメートル地帯の水害救助にはその持ち味を十分に生かした活動を行ない、地元の人々からも感謝されている。

近衛の一機 監視隊 第一機動隊

かっぱの二機 監視隊 第二機動隊

読者の広場



人にモテル法

南 保夫

モテルということは大事なことである。広辞林をひくと、(好遇される、ちやほやされる。人気がある)……と書いてある。私は何かという広辞林をひくと、(好まれている、これは私が広辞林を安心感あるものとして好んでいるからである。つまり、広辞林は私にモテルというのだ。

店が繁昌するのも、政治家が選挙に当選するのも、医者があるのも、つまりは人気があるからである。また、このコマ社会が着実に定着してきているのも、機動隊が一般市民にモテルいるからである。

人間何をやるにしても、モテルに越したことはない。モテルことは幸せであり、また幸せの原因でもある。しかし、何がモテルか、何がシラけるか……というポイントが、えてして分かっていないものだ。また分かっていても、事実上実行困難なことが多い。

私は昔、バリのママさんから、バリーでモテル法三ヶ条というのを教わった。これをイチニッサン運動というのをイチニッサン運動の第一は、一月以内に勘定を払うこと、第二は同店に二時間以上長居しないこと(客の回転が悪くなる)、第三は守り方をモテルこと間違いないとの御託宣であった。



「異性にモテル十ヶ条」というのが、多少間違った字句があるかも知れないが、御容赦頂いて紹介する……

① 面倒くさくない

「異性にモテル十ヶ条」というのが、多少間違った字句があるかも知れないが、御容赦頂いて紹介する……

再び「決断」について

麻生 博

オイル・ショック後、「決断」について色々書物が出され、又「決断」の重要性が論議されたが、最近では忘れられ勝ちである。

行革審官が出されてからは、「総論賛成各論反対」という奇妙な行動が目立つ。総論賛成なら当然その論に即して個々の問題を「決断」が自然、処理されるべきと思うのが自然であるが、事實は違ふ。

先日、阪神の暴力二コチチに対する処分が色々とゆれ動中、下田コミッショナーが示した「決断」は、実に胸のすくようなもので、最近稀な快挙というべきで、さすがに下田さんならではと思った。暴力反対、誰も賛成である。しかし、現実には暴力が行われた時、これに対処する方法は必ずしも厳然たるものは少ない。

テレビで、下田さんの「あの自信に満ちた」、「いささかの妥協も許さない」態度に接した方々は、深い感激にうたれた事と思う。一千万人を越すといわれる野球ファンも、職業野球が勝負の外に野球という大きなスポーツの枠内にあるというところを、改めて悟った事だろう。

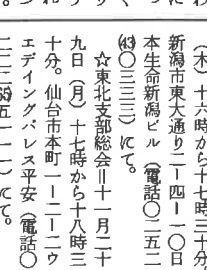
日曜日が休みだったら

鈴木 宗

ぼくのおとうさんは、今、きどろたいに行っています。その前は玉川けいさつしょに行っていました。ぼくが一年の春休みの時に横浜に引っこしました。横浜に引っこしてからは、おとうさんは朝早くしごとに行きようになりなりました。ぼくや弟のいさむがねている間にしごとに行きます。まいじごと七時ごろに帰ってきます。ときどきおそろく帰ってくる時があるのでたいへんだと思ひます。それから四日に一回とまりがあつて、ちよつとしかねむれないので、かわいそうだと思ひます。

非番の日は、つかれている時には「グーグー」ねむっています。おきてもねむっている時があります。つかれている時はうそを見たり、水をあげたり、しょうどくをしなしたりします。ぼくといさむは、おとうさんがつかれていては、おとうさんがおそんで、家の中でしずかにあそんでいます。

おとうさんの休みは、日曜日でないのでもしうろくありません。日曜日には、ぼくの友だちはおとうさんとどつかに行って、家に行かないのであまりおそぶ人がいません。おとうさん



家が休むときは、キャッチボールや野球をしてくれたら、べん強や弱をくれるので大すきです。ふだんはやさしいけど、非番でつかれているときは、きげんがある時があります。ぼくがおとうさんをさるときは、ぼくがおとうさんをさるときは、ぼくがおとうさんをさるときは……

が日曜日にお休みする時は、つりや海やアスレチックやマリナーなど、どこかにつれて行ってください。だから日曜日にお休みが、たくさんあつたほうがいいです。

訂正

本誌九月号各地のたよりで、全国警察柔剣道大会・剣道部門の準備勝が岡山県機動隊となつてしまつたが、「秋田県伊藤忠善五段」の誤りです。

- 米えある任務
- 頼もしい機動隊
- 鈴木 実
- 杉尾 栄俊
- 谷本 隆夫
- (株)スチールセンター
- 大東港運 (株)
- 高周波熱錬 (株)
- 木村 政次
- 黒田 一
- 村上 益一
- 川淵 長一
- 丸定産業 (株)
- 明鋼材 (株)
- 田島鋼材 (株)
- 伊勢湾海運 (株)
- 中村 是一
- 三和鉄構建設 (株)
- 高橋 重廣
- 飯田産業 (株)
- 中条鋼材 (株)
- 新潟鋼機 (株)
- 三福商事 (株)

今月の言葉

私事で恐縮だが、数年前の私の体重は七十四キロ(身長百六十三センチ)だった。ある人から「自分の体重がコントロールできない人が、会社の経営をするのはムリだよ」と注意され、一念発起した。

一月二十一日単位(千六百八十カロリー)に固執して、目のくらむような空腹時は、生野菜をつめ込んで耐えた。

一週間ぐらいすると、胃袋がむちむちとしてわかるようになった。一月もすると、ゴルフの球は飛ぶなくなり、マージャンは連敗という状態が続いたが、体重は確実に

空腹のたのしみ

減りはじめた。当分、私の顔をみて、「おまえ死んでしまうぞ」と説教されるほどになり、量ってみたら、いまからもう三十余年も昔のこと

た、十カ月間で約十キロも減量していた。目の力がなくなり、皮膚がたるみ、歯ぐきがやせて、歯に水が沁みるようになった。然し、血液の

減りが新鮮になり、さわやかな感じがしてきた。

その当時の苦しみを思えば、有り余るものを食べないようにするのだから、余程である。

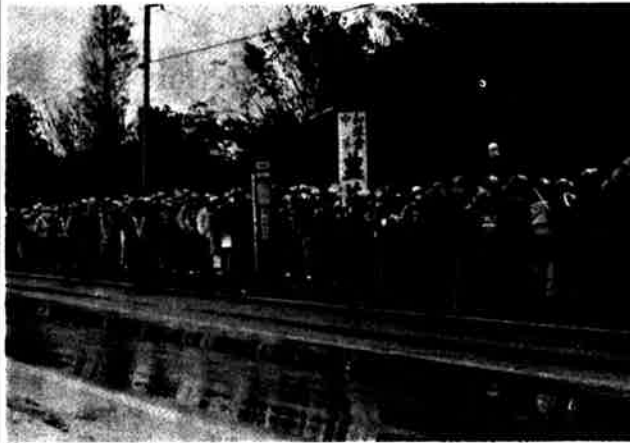
体が軽くなったから、心もかろやかにになり、生きること自信がわき、なににともなう気楽に迎えられるようになった。

山田一好著「血液健康法」のなかで、「一口五十回噛みしめることが健康増進の秘訣と記されているが、十二分に噛みしめることも大切のよう

日本の今日の繁栄と平和に感謝し、空腹のたのしみをしみじみ噛みしめている。

治安の万全を期す

忍の警備も盤石



成田現地闘争での検問状況

このため常に緊張した警備力が要求される。見えざる敵との対決だけに、むしろ従前の「動」の警備活動にも増して厳しく、辛い場面も多い。

警備心得五則

これに対して機動隊員は素早く訓練で汗を流せば現場



国際反戦デーのデモ規制(夜9時)

で血を流さずにすむ」と自分自身を厳しく律している。

また「自信を持って警備にあたる。心はいつもゆとりを、隊列を離れるな、出陣の支持を、ケガ人を出さな」と、警備心得五則とされているが、よくに集会デモ警備では相手の挑発に屈しないことを隊員それぞれが自戒するものだ。

治安の万全を期すためには、こうした日頃からの心身の鍛錬、装備器材の改善費用における創意工夫等が要求されるが、隊員達はきょうも目標へ向けて精進している。

はげまし

プロ意識の徹底

10・11成田現地闘争、10・21 国際反戦デー、続いている反核集、会等秋の重要な警備活動は、特

こうした警備は「守り、静

発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都中央区八重洲2-4-14
 千104 ミツヤビル3階
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(272)2050
 購読料 年間1200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

各地のたより

大銀座まつり を無事終了

警視庁機動隊 祭りは一般大衆の楽しみである。その祭りを滞りなく、最高潮に盛り上げるためにも警備活動は欠かせず、これがまた機動隊の任務のひとつである。

大東京祭、花の銀座で第十五回大銀座まつりが去る十月三日から十一日までの九日間催されたが、八日の音と光のパレードでの人出は一日で延七十万五千七百名にものぼった。

この祭りの裏方として、警視庁は今年も主要道路の交通規制、沿道の雑踏警備等に、機動隊員等を出動させ、祭りは無事終了した。

警視庁機動隊

山口県警機動隊

台風接近に伴う各種警報発令という想定で、山口県警が総合同防訓練を実施した。

特に一級河川の吉敷郡小郡町上郷の榎野川流域では、この台風により被害が出始めたという状況を想定し、本部長を統率官に迎え、県機、管機隊員及び小郡署員等を招集して現地訓練を実施した。

訓練では、非常電線の確保、孤立者の救出、流出家屋からの救出、倒壊家屋からの救出、応急水防工法、漂流者・水没者の捜索、崖壁への負傷者の吊り上げ、避難広報・通訳訓練、炊飯訓練等数多の訓練種目で、平素この種訓練の経験の少ない管機隊員を中心にして、県機隊員を指導する部隊編成された。

毎月実施する合同訓練の結果が、各隊の連携もよく実のある防災訓練であった。

世耕公安委員長が視察

警視庁機動隊

国家公安委員会 世耕政隆委員長が去る十月十日警視庁機動隊を視察した。

機じよ隊による表敬、機動隊概要説明、警備器材の展示、説明に続いて治安警備合同訓練を企画したが、世界に誇る精強部隊が、いついかなる場合でも都の治安の担い手となっていく

岩手県警機動隊

「防災の日」に、県、遠野市が共催で実施した「昭和五十七年度県総合防災訓練」に全隊員が参加した。

この訓練は、県中央部を震源地とする大規模地震災害を想定し、二十一機関、全市民が参加し、真剣に繰り広げられた。

同隊は、「地震により立木、電柱等が倒れ走行中の車両が下敷きになり、運転者が自力脱出出来ずに救助を求めている」との想定で、チェンソー・エンジンカッター・エアカッター・ヘルメット等の警備器材を用いた、道路障害物除去及び車両からの負傷者救出訓練を大勢の市民の見守る中、手際よく実施、日頃の訓練ぶりをみごとに発揮した。

岩手県警機動隊

「防災の日」に、県、遠野市が共催で実施した「昭和五十七年度県総合防災訓練」に全隊員が参加した。

この訓練は、県中央部を震源地とする大規模地震災害を想定し、二十一機関、全市民が参加し、真剣に繰り広げられた。

同隊は、「地震により立木、電柱等が倒れ走行中の車両が下敷きになり、運転者が自力脱出出来ずに救助を求めている」との想定で、チェンソー・エンジンカッター・エアカッター・ヘルメット等の警備器材を用いた、道路障害物除去及び車両からの負傷者救出訓練を大勢の市民の見守る中、手際よく実施、日頃の訓練ぶりをみごとに発揮した。

岩手県警機動隊

「防災の日」に、県、遠野市が共催で実施した「昭和五十七年度県総合防災訓練」に全隊員が参加した。

この訓練は、県中央部を震源地とする大規模地震災害を想定し、二十一機関、全市民が参加し、真剣に繰り広げられた。

同隊は、「地震により立木、電柱等が倒れ走行中の車両が下敷きになり、運転者が自力脱出出来ずに救助を求めている」との想定で、チェンソー・エンジンカッター・エアカッター・ヘルメット等の警備器材を用いた、道路障害物除去及び車両からの負傷者救出訓練を大勢の市民の見守る中、手際よく実施、日頃の訓練ぶりをみごとに発揮した。

岩手県警機動隊

「防災の日」に、県、遠野市が共催で実施した「昭和五十七年度県総合防災訓練」に全隊員が参加した。

この訓練は、県中央部を震源地とする大規模地震災害を想定し、二十一機関、全市民が参加し、真剣に繰り広げられた。

同隊は、「地震により立木、電柱等が倒れ走行中の車両が下敷きになり、運転者が自力脱出出来ずに救助を求めている」との想定で、チェンソー・エンジンカッター・エアカッター・ヘルメット等の警備器材を用いた、道路障害物除去及び車両からの負傷者救出訓練を大勢の市民の見守る中、手際よく実施、日頃の訓練ぶりをみごとに発揮した。

野球部がAクラス入り果たす

沖縄県機動隊野球部は、このほど結成以来十一年目に於いてAクラス入りを果たした。ちなみに沖縄県機動隊野球の仕組みについて紹介すると、チーム編成はA・B・Cクラスに分けられ、Cクラスは単一戦場チームによるもの。B・Aクラスは戦場、同好会いずれもクラスとするものであり、それだけのクラスで優勝、進歩勝ちなど好成績をおさめたチームが連覇から上位クラスへと昇格させられる。したがって、Aクラスが県内戦場野球の頂点となっている。

そして大会は、参加チームが多いため、県内を七地区に分けて地区予選を行ない、各地区の上位四チームが中央大会へ出場し、弱を競うという方法で運営されている。

沖縄県機動隊野球部も、隊員の士気高揚と融和団結を図るとともに、戦場・異なる参加者との親睦を図ることを目的として、これまで数々の大会に参加してきた。

夏季戦式野球大会では、Bクラスの部に出場して地区予選で優勝し、中央大会出場権を獲得。そこで準決勝で敗れたものの、ベスト四に残るという好成績をおさめ、連覇からAクラス入りを推挙され、秋季大会ではAクラス初出場ながら地区大会ベスト八入りを果たした。

結成時は、ユニホームもなく、柔道着のズボンにトレンジャーという貧弱な姿で参加していた野球部も、今日では県内屈指のチームとして名を轟かせている。

機動隊の隊士である融和・団結を推進する上においても、特に野球は大いに役立っており、隊員、副隊長からも激励されている。

部員一同はこれからも日課終了後、非習、週休、あるいは一泊二日の時間差訓練の合い間はフルに活用して訓練を積み重ね、Aクラス制覇を目標に気合を入れて頑張っている。

北海道 青森 岩手 秋田

福島 宮城 山形

山形 宮城 福島

わがふるさと

埼玉県警察機動隊

秋田 岩手 青森 北海道



柳本 明 係 警 備 二 本

私の故郷は、北海道の玄関といわれる函館市から東北東にある小さな漁村である。そして函館は私の故郷でもある。

世界三大夜景といわれ、牛が寝そべっているような函館山(三三〇)から見る夕景は最高である。牛の頭部に位置する外人墓地を散歩し、函館港を出港する連絡船を見ていると、丁度、蜃が飛遊しているように見える。

そして中世を思わせるレンガ作りのローマ・カトリック教会

花狭く垣根に囲まれた白壁のハリストス教会、ヨーロッパ風で異國情緒を醸しだす公会堂等があり、教会の鐘が黄昏に鳴り響く元町界隈はロマンチックな中世時代にいるような気分にしてくれる。

また、牛の尾に位置する立待岬は太平洋の荒波にもまれ、自殺で有名な所で、潮の流れが激しく夜になると何処からとなく死者の音が聞こえて来るのである。

明治時代の函館戦争の名残りがあふ五角形をした五稜郭は、現在、公園として人々の憩いの場で、城跡には博物館、外堀にはボートが浮かび、中央には園内を一望できる五稜郭タワーがある。他にもトリスチオ男子修道院、トリスチオ女子修道院



私の生れた所は、山形の寒河江(さがえ)という所で将棋の駒で有名な天童の隣りの市である。寒河江と言えば「さくらんぼ」など名物がある。

さくらんぼの季節になると月山の夏スキーや旅行客がさくらんぼ狩りに熱中し、一番華やかな時である。

また、名所では、冬スキーの蔵王、そして樹氷、春夏スキーの月山、登山で有名な虫羽三山



川賢 二 係 務 庶 布

我が故郷「秋田」は、名物が多くある。中でも米と酒、特に美人が多いのも全国的に有名なである。独身者の皆さん、嫁さんでもらうなら気が優しく力持の秋田美人を。

私が生れた所は、秋田の中で最も秘境と言われた秋田県南秋田郡井川町八田大倉字八田郷手内二五番地で、この付近を紹介しよう。

また、家の周りは一面のたんぼで、真は山で大自然に囲まれている。春は小鳥がさえずり、緑がいっぱい。夏はたんぼでカエルの大合唱。秋は嵐山からキツネの鳴き声や虫の音が聞え、冬は一面に白いヘルと覆われ、まさに大自然のロマンとボエムの世界である。このように大自然の中で育った私は野獣のような本能と肉体を兼ね備えた人間として誕生したのである。

この埼玉の治安を守るためには出る出稼ぎに来たのである。



日出書 久保 主任 特務

私の故郷である岩手県宮古市を紹介する。宮古市は陸中海岸の「みやこ」の地名の由来は平安時代に天皇から「都」と同じ呼び名を許されたと言伝えられている。

宮古を中心とする中部陸中海岸は断崖絶壁の豪快さといひ、川風がたれりながら釣りを楽しむ、田舎料理で面白い色白の山形美人を前にして酒を酌み交わすコースをおすすめする。きつと満足いく旅になるだろう。

最近、宮古港に外国の貨物船が多く入港するようになった。私が、私が年々よくなったように、私が小学生の頃、先生の「この町に何があったら」という質問に「子供達ばかり」と答えたことが、今になってその子供の言っていたことが分かるような気がする。自然はあくまでも自然な美であることが大切なのだ。私はその美しさを持つ宮古を誇りに思っている。



明 善 係 術 技 濱 谷

私の故郷は、東北一の大都市宮城県仙台市である。人口約六十七万人。仙台の起源はその昔「独眼竜」伊達正宗公が東北の城を移し、無人の荒野に六十二万石の城下町を建設したのが始まりである。

正宗公の築いた城を仙台城別



敏 峰 係 務 庶 外 崎

急流下りの最上川、将棋の天童温泉の上ノ山と四季を通じて観光の場がたつさんである。

そんな名所に囲まれた中、我が故郷、寒河江がある。私の家の正面には、国宝の三重の塔があり、見た目は田舎といいた感じだが、都会の荒波にもまれている人々にはこうた「いいこの場」を求めて年々、訪れる人が増えている。

大宮駅から特急に乗って四時間、間歇「シマガタラシ、シマガタラシ」というアナウンスを聞き、心も山形になってしまふほど不思議な土地柄である。

登山やスキーをやった疲れ、川風がたれりながら釣りを楽しむ、田舎料理で面白い色白の山形美人を前にして酒を酌み交わすコースをおすすめする。きつと満足いく旅になるだろう。



中村 一紀 中分隊長 一

名青葉城といひ、青葉山丘陵の先端、広瀬川を望み建てられたが、城の古い建造物は明治維新に焼失し、大手門も戦災で消失して広石を石垣を残すだけとなったが、その後、調楼の建物が復興し、また、本丸跡は市街を一望でき観光客も多く、市民からは天守台として親しまれ、現在、正宗公の騎乗の銅像が建てられている。

街路形態は、基盤の目の組合せでできており、明治以来、道幅を拡げ、市街中心部では狭い道は少なく、したがって、戦災で市街中心部を焼失した後、現在の道幅を作り、防火の意義をもたせた交通路で、高級舗装が行われた市街中心部の景観は一変した。

戦災を受けなかった周辺部では古い町屋の形や武家屋敷の門などが残っていて、樹木も多く「杜の都」と言われた頃の面影が残っている。

その他には、日本三景の一つである松島見物、蔵王登山の基地で一時間以内の距離には温泉もある。最も有名は夏祭りといえは東北四大祭りの「仙台七夕まつり」だ。毎年、八月六、七、八日の三日間行われ商店街の中心である一番町、オールドアイランド街の中央通りにはみごとな竹飾りが並ぶ。

五月の連休には街の緑を見物、夏には七夕見物、冬には蔵王にスキー旅行、日本で一番おいしい米ササニシキ、酒のつまみに



公 賀 芳 三 中 分 隊 長

笹かまぼこを食べに仙台へどうぞ。

根性のクマフ活動

大阪府警第一機動隊

陸上 第二中隊 小松原 和 志

我々陸上部は、防犯部長を部長として、監督・コーチを含め、総員二十一名で活動をしている。毎日の練習は、城下運河ランニングコースや鶴見緑地を中心に行っているが、時には淀川堤防まで足をのばし、非番や休休を

利用して長居公園や万博競技場等へも出ていく。最近の成績は、短距離選手が少数にもかかわらず毎年関西実業団大会で好成績を取め、全日本実業団大会への出場権を獲得している。長距離選手も傑出した選手こそないが、今年の大阪市長杯伝大会の優勝をはじめとして各種駅伝大会を中心に活躍している。



特に今年二月に行われた第一回近畿管区駅伝大会では、大阪府チームの中心メンバーとなり圧倒的な強さを発揮した。現在の我々の目標は、十一月二十日大阪知事杯で開かれる第一回全国警察駅伝大会の優勝旗を大阪府チームにもたらすことだ。

そのために「限界への挑戦」を合言葉に、毎日の厳しい練習を取り組んでいる。今後とも御声援をよろしく願います。

スナイパーズ

第三中隊

近藤 豊

わが三中隊には、クラブ活動として駅式野球チームスナイパーズがある。このチームは五十二年四月に中隊の野球愛好者が相互の親睦を図り、野球を通じて広く交流を求め、またチームの力量をためすために結成された。

府下の駅式野球連盟には四十七の支部があり、我がスナイパーズは、東支部に所属している。東支部には、A級二十五チーム、B級四十チーム、C級三十五チームが参加している。先輩達の野球にかけた情熱と汗を流しての練習により、五十五年念願のA級に昇格、昨年支部秋季大会に優勝した。



現在監督以下十七名で、ほとんどの者が野球経験者だが、中には経験のない選手もいる。現在、秋季大会三年連続優勝を目指し、チーム全員が一丸となって、非番日等寸暇を惜しんで汗にまみれ白球を追い回している。

今後更にチームワークを高め、全員野球に徹し、一步一歩高い目標に挑戦する決意だ。

ウエイトリフティング部は、昭和五十五年四月、第一機動隊内に練習場開設と同時に発足した。

現在、監督以下七名で活躍している。団体成績は、大阪春季大会、大阪国体予選、大阪選手権については常に優勝している。また、全日本社会人大会においては、昨年四位、一昨年六位という成績だった。今年こそ、三位入賞を目指している。

個人成績は、一〇〇kg大川克弘が五十四年から団体三連勝し、今年の国体も、もちろん優勝するだろう。アジア大会昨年四位、一昨年二位、現在一〇〇kg級日本記録保持者である。

一〇〇kg級安田幹雄は二年連続して優勝している。



続て近畿社会人大会に優勝、今年団体に出場する。八二・五kg級根来清は今年、大阪春季大会に優勝、近畿社会人大会は二位という成績であった。

その他、九〇kg級大川晃尚、八二・五kg級横井経信、七五kg級今野日佐男が自己の記録に挑戦すべく毎日厳しい練習をしている。

現在監督以下十七名で、ほとんどの者が野球経験者だが、中には経験のない選手もいる。現在、秋季大会三年連続優勝を目指し、チーム全員が一丸となって、非番日等寸暇を惜しんで汗にまみれ白球を追い回している。

今後更にチームワークを高め、全員野球に徹し、一步一歩高い目標に挑戦する決意だ。

ウエイトリフティング部は、昭和五十五年四月、第一機動隊内に練習場開設と同時に発足した。

現在、監督以下七名で活躍している。団体成績は、大阪春季大会、大阪国体予選、大阪選手権については常に優勝している。また、全日本社会人大会においては、昨年四位、一昨年六位という成績だった。今年こそ、三位入賞を目指している。

個人成績は、一〇〇kg大川克弘が五十四年から団体三連勝し、今年の国体も、もちろん優勝するだろう。アジア大会昨年四位、一昨年二位、現在一〇〇kg級日本記録保持者である。

一〇〇kg級安田幹雄は二年連続して優勝している。

今年、当チームは一部リーグに昇格し、ようやく検舞台に立つことができ、さらに一部リーグの一戦一戦から多くものるを学ぶことができた。特に松下電工・大阪市役所等、いわゆる名門チームとの対戦は、若い選手に大きな期待と緊張感を与え、今後の奮闘の原動力になるものと確信している。

今はただ、いつか必ず訪れる関西リーグへの夢を後援に託すべく、「一部残留」を合言葉にこれを「正念場」に戦い抜くだけである。

警察犬訓練士に合格して

山口県警機動隊

第三分隊

地頭所 徹 郎

今年の三月七日、宇部市において行われた日本警察大協会の三級公認訓練士試験に挑戦し、半年あまりたった今、合格証等と次のような目標を持っていてる。

「警察犬訓練士」、一言で言うなら犬特有の臭覚等の特徴をうまく引き出し、目的に沿って捜索、選別等社会に貢献できる犬を作る先生である。

この公認訓練士になるためには、公認訓練士のもとで三年以上の修業、訓練実績六頭以上の条件が必要である。

犬に関する生理学、歴史、骨格、競技会規則、動物に関する諸法令等勉強しなくてはならず、私の愛犬「デリカ号」の訓練はもとより、本屋に行っては犬に関する専門書を買って勉強した。

日本警察大協会主催の内閣総理大臣杯等かけた警察犬競技大会が毎年開催されているが、「デリカ号」の先代「ハイノ号」(じいさま)は、この大会で優勝して日本チャンピオンになっている。「デリカ号」は、

今年、当チームは一部リーグに昇格し、ようやく検舞台に立つことができ、さらに一部リーグの一戦一戦から多くものるを学ぶことができた。特に松下電工・大阪市役所等、いわゆる名門チームとの対戦は、若い選手に大きな期待と緊張感を与え、今後の奮闘の原動力になるものと確信している。

今はただ、いつか必ず訪れる関西リーグへの夢を後援に託すべく、「一部残留」を合言葉にこれを「正念場」に戦い抜くだけである。

今年、当チームは一部リーグに昇格し、ようやく検舞台に立つことができ、さらに一部リーグの一戦一戦から多くものるを学ぶことができた。特に松下電工・大阪市役所等、いわゆる名門チームとの対戦は、若い選手に大きな期待と緊張感を与え、今後の奮闘の原動力になるものと確信している。

今はただ、いつか必ず訪れる関西リーグへの夢を後援に託すべく、「一部残留」を合言葉にこれを「正念場」に戦い抜くだけである。

わたくしのお父さんは、きょうだいとしてお話をしています。きょうだいとしての話は、よくわかたないけれど、朝早くでかけた夜、わたしたちがねている時に、帰って来るともありません。たまたま、二日か三日ぐらいい、帰ってこないこともあってさびしくてたいへんな仕事だなぁと思っています。

「あそぼうあそぼう」といって、お父さんをねかせてあげません。お父さんはねむいのに、わたしたちとあそんでくれたら、わたしをさびしめて、おへやをかたずけるのがとてもすきです。わたしの休みと、お父さんのお休みが、あわなくてさんねんが、あう日には、すもうや、体をそわしたり、ツイズを出したり、自動車などでかへつていって帰ります。

ほんたいに、勉強のしせいと食事のしせい、あいさつとれいぎなど、悪いときはとてもうるさくおどります。これは、わたしたちのなにかしらうらやましてくれるのだと思って、妹も弟も「はい」と、へんじをしております。

そしてさんぽをしたたり、出かける時は交通事ごにあわないよう、どうもひょうしきやあぶないといひだし、正しいおだんぼどうのわた方について、よく教えてくれます。

今年、当チームは一部リーグに昇格し、ようやく検舞台に立つことができ、さらに一部リーグの一戦一戦から多くものるを学ぶことができた。特に松下電工・大阪市役所等、いわゆる名門チームとの対戦は、若い選手に大きな期待と緊張感を与え、今後の奮闘の原動力になるものと確信している。

今はただ、いつか必ず訪れる関西リーグへの夢を後援に託すべく、「一部残留」を合言葉にこれを「正念場」に戦い抜くだけである。

今年、当チームは一部リーグに昇格し、ようやく検舞台に立つことができ、さらに一部リーグの一戦一戦から多くものるを学ぶことができた。特に松下電工・大阪市役所等、いわゆる名門チームとの対戦は、若い選手に大きな期待と緊張感を与え、今後の奮闘の原動力になるものと確信している。

今はただ、いつか必ず訪れる関西リーグへの夢を後援に託すべく、「一部残留」を合言葉にこれを「正念場」に戦い抜くだけである。

今年、当チームは一部リーグに昇格し、ようやく検舞台に立つことができ、さらに一部リーグの一戦一戦から多くものるを学ぶことができた。特に松下電工・大阪市役所等、いわゆる名門チームとの対戦は、若い選手に大きな期待と緊張感を与え、今後の奮闘の原動力になるものと確信している。

今はただ、いつか必ず訪れる関西リーグへの夢を後援に託すべく、「一部残留」を合言葉にこれを「正念場」に戦い抜くだけである。

わたくしのお父さんは、きょうだいとしてお話をしています。きょうだいとしての話は、よくわかたないけれど、朝早くでかけた夜、わたしたちがねている時に、帰って来るともありません。たまたま、二日か三日ぐらいい、帰ってこないこともあってさびしくてたいへんな仕事だなぁと思っています。

「あそぼうあそぼう」といって、お父さんをねかせてあげません。お父さんはねむいのに、わたしたちとあそんでくれたら、わたしをさびしめて、おへやをかたずけるのがとてもすきです。わたしの休みと、お父さんのお休みが、あわなくてさんねんが、あう日には、すもうや、体をそわしたり、ツイズを出したり、自動車などでかへつていって帰ります。

ほんたいに、勉強のしせいと食事のしせい、あいさつとれいぎなど、悪いときはとてもうるさくおどります。これは、わたしたちのなにかしらうらやましてくれるのだと思って、妹も弟も「はい」と、へんじをしております。

そしてさんぽをしたたり、出かける時は交通事ごにあわないよう、どうもひょうしきやあぶないといひだし、正しいおだんぼどうのわた方について、よく教えてくれます。

今年、当チームは一部リーグに昇格し、ようやく検舞台に立つことができ、さらに一部リーグの一戦一戦から多くものるを学ぶことができた。特に松下電工・大阪市役所等、いわゆる名門チームとの対戦は、若い選手に大きな期待と緊張感を与え、今後の奮闘の原動力になるものと確信している。

今はただ、いつか必ず訪れる関西リーグへの夢を後援に託すべく、「一部残留」を合言葉にこれを「正念場」に戦い抜くだけである。

今年、当チームは一部リーグに昇格し、ようやく検舞台に立つことができ、さらに一部リーグの一戦一戦から多くものるを学ぶことができた。特に松下電工・大阪市役所等、いわゆる名門チームとの対戦は、若い選手に大きな期待と緊張感を与え、今後の奮闘の原動力になるものと確信している。

今はただ、いつか必ず訪れる関西リーグへの夢を後援に託すべく、「一部残留」を合言葉にこれを「正念場」に戦い抜くだけである。

今年、当チームは一部リーグに昇格し、ようやく検舞台に立つことができ、さらに一部リーグの一戦一戦から多くものるを学ぶことができた。特に松下電工・大阪市役所等、いわゆる名門チームとの対戦は、若い選手に大きな期待と緊張感を与え、今後の奮闘の原動力になるものと確信している。

今はただ、いつか必ず訪れる関西リーグへの夢を後援に託すべく、「一部残留」を合言葉にこれを「正念場」に戦い抜くだけである。

「紹介」 警視庁 災害活動

概要

- 一、江東アルタ地域

いわゆるゼロメートル地域は、東京湾沿いの防波堤と隅田川、荒川、江戸川の堤防が水門に囲まれた水面にコンクリートで造った大きな例をいくつも浮べたようなもので、その底は、東京湾満潮時の水位A・P二メートルより低位である。
- 二、河川

主要河川は整備されたものの、都市化の進展とともに都内のいたるところがコンクリート等で覆われ、雨水が地水に貯えられ、ことごとく石神川、目黒川等に一気に流れ込み、しばしば氾濫している。
- 三、コンビナート等

東京湾岸の大コンビナート地帯、林立する高層ビル、広がる地下街、高速道路等災害の危険性をきんしている。

訓練状況

- 一、風水害対策

機動隊創立以来毎年「機動隊風水害合同訓練」として実施している。また、区あるいは市主催の防災訓練にも積極的に参加し防災訓練を推進している。
- 二、震災対策

九月一日を「防災の日」として都民ぐるみの震災訓練を実施している。
- 三、各種突発対策

ガス爆発、飛行機墜落事故、コンビナート災害等に対処すべく計画的に訓練を推進している。

今年、当チームは一部リーグに昇格し、ようやく検舞台に立つことができ、さらに一部リーグの一戦一戦から多くものるを学ぶことができた。特に松下電工・大阪市役所等、いわゆる名門チームとの対戦は、若い選手に大きな期待と緊張感を与え、今後の奮闘の原動力になるものと確信している。

今はただ、いつか必ず訪れる関西リーグへの夢を後援に託すべく、「一部残留」を合言葉にこれを「正念場」に戦い抜くだけである。

今年、当チームは一部リーグに昇格し、ようやく検舞台に立つことができ、さらに一部リーグの一戦一戦から多くものるを学ぶことができた。特に松下電工・大阪市役所等、いわゆる名門チームとの対戦は、若い選手に大きな期待と緊張感を与え、今後の奮闘の原動力になるものと確信している。

今はただ、いつか必ず訪れる関西リーグへの夢を後援に託すべく、「一部残留」を合言葉にこれを「正念場」に戦い抜くだけである。



出動状況

昭和二十四年八月のキティー台風、三十二年台風十一号、三十二年、三十四年九月伊勢湾台風、三十七年五月国鉄常磐線三河島駅構内電線二重衝突事故、三十八年四月荒川警察署管内日暮里大火、三十八年八月池袋西武百貨店火災、三十八年七月大井宝組倉庫爆発事故、四十九年八月多摩川水害、五十二年一月地下鉄東西線脱線転落災害、そのほか、本年三月日航機墜落事故、ホテルニュージャパン火災等々に出動し、我が身もかえり少ない献身的な災害救助活動に對して関係者の賞賛をうけることも、に都民の信頼にたえて来た。



読者の広場



奇妙なフアッション

東京・H生

昨今の世相のように、複雑かつ多様化してくると可笑しなもので、何が正常で、何が間違っているか判らなくなってしまうことがある。

服を裏返しに着ている人がいたので、追いかけて行って親切に注意してあげたら、それが流行の着方らしく、反対にセンスがまるでない様に軽蔑されたという新聞記事を読んで笑ってしまった。自分も注意こそしなかつたが、それに近い経験をしたからである。「夜の衣をかえしてぞ寝る」なら、何となく悩ましくて好ましいが、なまじ町なかではどんなものだろうと思つたりする。

ファッションの世界では、非常に独創的であつた驚く様なものがいろいろある。何でも「アンノメトリ」とか言つて、イヤリングを片方だけしか付けないやつたり、本来、左右対称になつての衣服をデザイン的に完全に無視してしまつた、煙草の煙けごめみたいなのを沢山あけたりするものが、最新の流行らしい。

そう言えば、テレビに出て来る

タレントの中には、男でも女でもチンドン屋顔負けの衣裳や、へんてこりんなヘアスタイルで歌つたり踊つたりしている人がいる。そうした彼等を、多々の大衆が支持し応援しているのだから世の中面白。

確かに、既成の概念や習慣に囚われてばかりいたら、社会の進歩や人間の向上はあり得ない。常に新しい感覚と智恵で現状を打破して、より多くの可能性を見出し、いくとこそ、人間本来のあるべき姿であり、今日の私達の文明や文化も、先人達のおかげでいいだろう。特に芸術や文化における豊かさを創造性、私達の日々の暮らしに限りなく潤いと輝きを与えてくれる。

だが一方で、それと同じ様に重要なのは、私達の先祖が悠久の歴史の中で培ってきた、守つて来た、より良い伝統や習慣をそのまま後世に受け継いでいく義務が私達にはある、という事だろう。古き良きものが私達の暮らしから知らない間に少しずつ消えていくのを見るにつけ、つくづくそう思わざるを得ない。

通勤電車

中森 誠

首都圏で働く人の平均通勤時間

間は、八十九分が平均である

と聞いている。私も名古屋のN私鉄を、毎日片道一時間余、朝晩利用して三十年を経過した。利用上手な通勤者となるため、永年努力はしたものの未だ秘策はない。通勤電車に要した年間五百六十時間を無意味に過ごした現在、反省しきりである。

年々増加する通勤、通学者、通勤電車に要する消費エネルギーもさぞやと思う。私は一時、マイカー通勤も試みたが、通勤電車の利用が物心両面で得策である。通勤電車もひとつの社会であることの認識が固定化されてしまった。

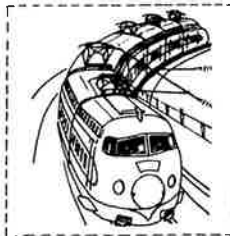
毎朝同時に家を出、同じ駅の改札口を通り、同じ乗車位置で、同じ車輪に乗る同じ顔、毎日同じことの繰返しが朝の通勤風景である。

私が出勤に利用する電車は、幸い早出のお蔭で座席の確保に恵まれているので、ゆっくりと車内で新聞等を読ませていた。性には止められない。立って通勤している人から見れば、うらやましい限りである。

ふと新聞から目を離すと、既に社内に混雑してきたが、別々を利用者は、吊皮又は共有の空間を利用して、新聞・雑誌・本、又はおしゃべりや何時もの車内風景が展開されている。

在常平常心

M・A 生



本紙第九十五号に機動隊の隊訓等について、馬場鋼太郎氏の一文が掲載されて居り、皆様の御記憶に残って居られることと思ふ。

座右の銘とか格言とかいう範疇の中で、常に平常心であれとか、常に戦場に在りとかいう詞は私の好きな訓である。だが実際に私は、なかなかこれのよくな心境には到達し難いことである。

小生も昭和十九年より二十年に亘る間召集され、千島の得促島等の警備に当たつたことがある。軍隊勤務を体験された方は、過番勤務と云うことは御理解頂けると、思ふが、所謂過番時間が終ると、過番司令より過番将校が不時の事態が生じた場合の指揮をとることになっている。準戦時態勢の場合でもこれに準拠する。

たまたま昭和二十年敵冬の二月、近くにある電探基地からの通信で、敵機動隊の軍船の集団がこの島に向かって接近中との通信情報が入り、過番司令は非常警報を発令し、警備地区は戦闘配置につき、私達司令部将校は司令部に軍装を整え集合した。

その頃の敵軍の攻撃は、事前偵察と空襲を充分行ない、守備隊の戦闘能力を撃破し、その上で上陸作戦を行なうのが一般的であつた。

ところが、この事前の砲撃がなれないにいきなり上陸作戦を行なつてくるのは不審である。歴戦の我が司令部(北支官及びキスカの経験のあつた司令官)は、情報将校を派遣し真偽の確認をしたところ、この機動隊の接近は、流水群が電探の映像に映つたもので誤報であることが判明し、警報は解除され平常に戻つた。

テレビ出演して

「新婚さんいらっしやい」に

山口県警機動隊 西山 由文

家内が内緒で出した一枚の出演希望書がきから、書類審査、一次、二次予選と、とんとん拍子に通過し、出演が決定。私の心中は不安、恥かしさ、そしてほんのちよびりの期待感が複雑に絡み合つてた。

実は、出演辞退も真剣に考えたのだが、家内の強い出演希望と私の野次馬根性がそれを押さへて、出演となった。

録音機が近づくと、興奮が不安と恥かしさのため、興奮が



徐々が高まり、前日の大阪アラザホテルでは興奮は頂点に達し、

「お知らせ」

☆当会が主催の大阪支部総会が下記のとおり開催されます。会員多数のご参加をお願いします。

一、日時 十二月二日(木) 十四時、

二、場所 大阪市内東区本町橋詰58 大阪商工会議所6F

TEL ニニ一 国際ホテル

(〇六) 九四四一六五五

☆当会が主催の大阪支部代表世話会市原澤次氏が去る十月二十三日逝去されました。氏はこれまで当会が主催の発展に大きく貢献され、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

眼れぬ夜を過ぎた。しかし、不思議なことに本番の時は開き直つたのか、数百人の大阪SABホールを観客の前でもあがることなく録音機が終り、ほっとした。

ところで、皆さん、この「新婚さんいらっしやい」という番組は、新婚のカップルが司会の桂三枝、片平なぎさと次から次へ話をしているようだが、実は「台本」がちゃんとしていて、それに沿って番組を作っているのである。それは、予選の時にディレクターがおもしろい話を聞き出し、それをもとに台本を作りあげた。

今回の出演に際し、私は、私なりに警察のイメージダウンにだけはならないよう努力したつもりだ。たゞは服装や言葉遣い等、案ずるよりも生むが易いので、朝日テレビの方も色々といきをつけてくれた。

放送日が近づくと、再び興奮が高まり、大変緊張した。それも、録音機で放送時間の二倍近く話していたので、どことが放送されるのか、変なことを言っているのでは、かなり恥かしい思いもしたが、誰もが体験できることではない、新婚生活の第一ページ、一生の思い出としてひとつの記念碑ができたと思ふ。

- 溢れる若さ 明るい機動隊
- ゴープー引越サービス(株)
 - (株)周東商会
 - (学)嘉悦学園
 - 岡 部 (株)
 - 光洋商事(株)
 - 日誠総業(株)
 - 東南貿易(株)
 - 高周波熱錬(株)
 - (株)市原商店
 - 高島浩一
 - 西戸栄一
 - 加納保成
 - 松田鉄鋼(株)
 - 三菱商事(株)名古屋支店
 - 大和重工(株)
 - 堀口海運(株)
 - 豊鋼材工業(株)
 - (株)大川鉄工所
 - 金森藤平商事(株)
 - (株)柴田鉄店
 - 北海鋼機(株)



皇居参賀

はげまし

発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都中央区八重洲2-4-14
 〒104 ミツヤビル3階
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(272)2050
 購読料 年間1200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

会員の皆様、明けましておめでとうございます。新年に当たり、機動隊員等に對し、平素から暖かいご激励を賜り、心から御礼を申し上げます。昨年、「一連の成田闘争」「原発闘争」等に激しい警備對應を迫られたが、皆様方のご理解とご支援を得て所期の目的を達することができました。本年も治安の底流をなす内外の諸情勢は、不透明な様相を呈しており、波乱含みの情勢展開になることが予想されます。国際的には、アンドロポフ新体制下のソ連の動向に米中の思惑が絡み、米中関係は複雑な展開をみせ、国際政局に各種の影響を与えるものと思われ、また、中東ではイスラエルのレバノン侵攻、パレスチナ・ゲリラのアラブ周辺国への退去等により、情勢は激動し混乱の度を深めており、パレスチナ・ゲリラ

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、御健勝のうちにお越年のことと心からお慶び申し上げます。昨年は、国内外ともに政治的な混迷、経済の低迷など、治安の背景となる社会の動きは激しくゆれ動き、治安面に様々な態様が、影の心あたらない動向により所期の目的を達することができませんでした。ここに深甚な敬意と感謝の意を表する次第であります。

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、御健勝のうちにお越年のことと心からお慶び申し上げます。昨年は、国内外ともに政治的な混迷、経済の低迷など、治安の背景となる社会の動きは激しくゆれ動き、治安面に様々な態様が、影の心あたらない動向により所期の目的を達することができませんでした。ここに深甚な敬意と感謝の意を表する次第であります。

皆さん、新年あけましておめでとうございます。今年は一玉の系、猪の年であります。猪のように、元気に猛進して頂きたいと思いますが、猪男とか猪武者とかいったような、前後を見ないで突進する向い目にならない程度で行きましょう。

さて、猪にちなんで、ひとつお話を致します。八掛の原典である易經に「豕の牙を齧す吉なり」といふ言句があります。この意味は、「猪の危害を防ぐには、その牙を抜くのが功少なくして功が大きい」、転じて「世を完全に治めるには、刑罰をもってするよりも、まず国民の良心を養い育てることを先に考えよ」ということであります。

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、御健勝のうちにお越年のことと心からお慶び申し上げます。昨年は、国内外ともに政治的な混迷、経済の低迷など、治安の背景となる社会の動きは激しくゆれ動き、治安面に様々な態様が、影の心あたらない動向により所期の目的を達することができませんでした。ここに深甚な敬意と感謝の意を表する次第であります。

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、御健勝のうちにお越年のことと心からお慶び申し上げます。昨年は、国内外ともに政治的な混迷、経済の低迷など、治安の背景となる社会の動きは激しくゆれ動き、治安面に様々な態様が、影の心あたらない動向により所期の目的を達することができませんでした。ここに深甚な敬意と感謝の意を表する次第であります。

現在の機動隊に言い換えれば、起こった犯罪をこらえ鎮めるよりも、犯罪が起らないために役立つことが本義であると申すことができません。

機動隊は治安の闘士として内外共に高く評価されていますが、一方で懸念を持つ声もみかれます。大きな犯罪が起った時、現在の機動隊員数だけでは

致しますとき、表裏的な立憲主義とは真逆で、底流には多くの不安定要素があり情勢は激しくゆれ動き、治安面に様々な態様が、影の心あたらない動向により所期の目的を達することができませんでした。ここに深甚な敬意と感謝の意を表する次第であります。

き出しかねない様々な要素が潜在しているの懸念は予断を許さぬものがあります。この動向には十分警戒を要するところであり、

理 事 長 大内 俊 司

当会の発足時は、過激派が横行して社会不安を起していた時代でありました。隊員も暴力の跳梁を前に、いろいろな非難を浴びて口惜しい思いをしたわけてです。それに対して、われわれ有志は口コミで隊員を応援してきました。現在社会情勢も落ち着いてきたようであり、隊員の方々も、隊員の皆さん

それと、それを支援する会員の皆さんの力も、大きな柱になったのと思えます。しかし一方潜在する暴力発生の危険性を、絶えず秘めて居るわけであり、そのために、さきほど述べたような、世間の懸念が寄せられる次第であります。

心あたたまる支援に感謝

警視総監 下稲葉 耕 吉

しているほか、対権闘争に向ける政府、左翼勢力との衝突を強め、極左の手法と真似たゲリラ行動の多発、彼等特有の個人テロ指向過激化の傾向を示しております。

国民の負託に応えるために

警察庁長官 三 井 脩

「直接行動」の発生も懸念されます。このような激しい情勢の中で、警察の諸活動は今後一層困難の度を増すと見られますが、全国一の機動隊員等は、治安維持の第一線にあることを誇りとし、国民の平穏な生活を守るため、今後ともたゆみなく研鑽を積み、高い士気を維持し、いかなる事態にも対応できる強靱な実力を養い、有事に際しては身を命を賭し、一致団結してその責務を全うし、国民の負託に応えてまいります。

それと、それを支援する会員の皆さんの力も、大きな柱になったのと思えます。しかし一方潜在する暴力発生の危険性を、絶えず秘めて居るわけであり、そのために、さきほど述べたような、世間の懸念が寄せられる次第であります。

それと、それを支援する会員の皆さんの力も、大きな柱になったのと思えます。しかし一方潜在する暴力発生の危険性を、絶えず秘めて居るわけであり、そのために、さきほど述べたような、世間の懸念が寄せられる次第であります。

心あたたまる支援に感謝

警視総監 下稲葉 耕 吉

しているほか、対権闘争に向ける政府、左翼勢力との衝突を強め、極左の手法と真似たゲリラ行動の多発、彼等特有の個人テロ指向過激化の傾向を示しております。

国民の負託に応えるために

警察庁長官 三 井 脩

「直接行動」の発生も懸念されます。このような激しい情勢の中で、警察の諸活動は今後一層困難の度を増すと見られますが、全国一の機動隊員等は、治安維持の第一線にあることを誇りとし、国民の平穏な生活を守るため、今後ともたゆみなく研鑽を積み、高い士気を維持し、いかなる事態にも対応できる強靱な実力を養い、有事に際しては身を命を賭し、一致団結してその責務を全うし、国民の負託に応えてまいります。

心 ○ 技 ○ 体

わが隊の誇る達人



ひと頃の「動」の警備からいまは「守り・静」の警備といわれている。しかし、表面上平穏に見えてもテロ・ゲリラがいつ仕掛けてくるかは分らない。見えざる敵に対処するには常に緊張した警戒力が要求されるが、それには強健な心身の鍛錬が欠かせない。治安の先兵となる機動隊員のほとんどが柔剣道の有段者であるが、猛者中のなかの猛者、全国各隊の誇る柔剣道の達人がここに揃いぶみした。

次の五項目についてアンケート方式で、各機動隊の精強に答えて頂いた。

- 一、階級、氏名、年齢
- 二、段位
- 三、柔剣道を始めた動機
- 四、これまでの戦歴
- 五、得意技

北海道警察機動隊



一、巡查部長 高橋 政男 二十七歳

二、柔道五段
三、昭和三十九年(小四)の時東京オリンピックの神永対ヘーリング戦をテレビで観戦し、これまで不敗を誇る日本柔道の敗戦を、子供ながらに胸を締めつけられ、同時に、やがて自分が日の丸をあげる事を夢見て、燃え上る闘志を柔道入門へと駆り立てた。

四、学生時代から、全日本体重別選手権優勝等その天分と才能を広く認められ、道警察官を拜命してからさらには技を磨き、昭和五十二年にソ連国際大会優勝、嘉納杯国際大会優勝、五十四年はパリ、イタリア両国際大会優勝、世界選手権第三位等。

五、豪快な一本勝負と独特の寝技は、国内はもとより広く国際的に注目を集め、現在は大会オリンピックロサンゼルス大会をめざして奮闘中である。

青森県警察機動隊



一、巡查部長 原子 勲 三十歳

二、剣道六段
三、中学校一年の時、新聞に「頭の良くなるスポーツ・剣道」という記事を見たのがきっかけである。

四、警察官を拜命して以来の戦歴は全国大会、管区大会での成績が三十八勝十四敗、勝率七割六分である。

五、二段技で相手を崩してから「小手」で一番ポイントを取っている。

岩手県警察機動隊



一、巡查長 日藤 暢年 二十六歳

二、柔道四段
三、太平洋に面した漁村に生まれ育った少年時代から、腕力の強さ、足腰の良さは抜群であった。中学入学と同時に、兄の影響もあって、柔道を始めそれ以来である。

四、アジア選手権七十八級優勝(五十六年)、日本国際大会七十八級優勝(五十六年)、全日本選手権大会第三位(五十七年)。

五、大外刈り、送り足払い、袖釣込腰、小外刈り等を得意とする。

宮城県警察機動隊



一、警備補 引地 貞利 三十六歳

二、剣道六段
三、中学時代先輩の剣道着の勇姿に憧れて以来、剣道ひとり八人である。

四、中学、高校と県下に敵がなく、高校三年には団体優勝を成し遂げるや、さらに剣道の道を進もうと警察官を拜命、昭和四十二年特別員に指名された。真面目で稽古熱心なことから着実に上達、各種大会では得意のメンが押え、ポイントゲッターとして活躍した。特に東北管区大会では優勝六回の原動力となつている。コチとして、旺盛な責任感から連日、早朝から夜間までトレーニングを激しい稽古の先頭に立ち、見事管区大会優勝に導き、部下の尊敬を一身に受けている。

五、剣道は「相手の先をとる」積極性と精神力の強さにあると、指導に一面の情熱を燃やし、県警全体の期待を集めている。

秋田県警察機動隊



一、巡查 伊藤 忠善 二十九歳

二、剣道五段
三、小学校四年から剣道を始め、県立秋田南高校、中央大学時代も修業に励んできた。

四、全国高校総体三位、関東学生選手権二位、全日本学生優勝大会三位、全日本都道府県対抗一位、また五十七年度全国警察剣道選手権大会二位、東北管区警察剣道大会で全勝賞獲得。

五、得意技は、どのような姿勢からも打ち込めるとび込み面であり、ここ一番の勝負強さには定評がある。

山形県警察機動隊

一、巡查部長 古山 和男 三十歳

二、剣道練士五段
三、五歳の頃、体が弱かったため、父のすゝめもあり、父の会社でやっていた剣道の練習に参加した。

福島県警察機動隊



一、巡查部長 郡 丹志 三十一歳

二、剣道練士六段
三、中学時代クラスバンド部に入学してトランペットを担当していたが、体育館で何か体を動かすことをしたいと思ひ、誰にも誘われることなく剣道部に入部した、という極めて単純な動機であり、以来ずっと続けている。

四、昭和四十一年福島県高校新人戦個人第三位、四十九年福島県三大道大会剣道の部優勝、五十年福島県三大道大会剣道の部優勝、五十二年東北管区内警察剣道大会優勝に貢献、五十三年東北管区警察剣道大会優勝に貢献、五十五年北管区内警察剣道選手権大会優勝、五十六年全日本剣道選手権大会出場、五十七年東北総合体育大会福島県チーム剣道優勝に貢献、東北管区内警察剣道大会優勝に貢献。

五、激しい動きの中からの「すり上げ面」を得意とする。

警視庁第一機動隊



一、巡查 菊池 巖 二十四歳

二、剣道四段
三、礼節の大切さを知り、また気力・体力を養い自分「自信」をつけるために始めた。

四、昭和五十六年警視庁署課隊団体試合準優勝、世田谷区大会一般の部個人優勝、同団体の部優勝、東京都道場対抗試合の部優勝、五十七年世田谷区大会一般の部個人優勝、同団体の部優勝、弥生廟奉納柔剣道大会四段以上の部個人準優勝、五、さし面、小手を合わせて面が得意である。

警視庁第二機動隊



一、巡查部長 西川 清紀 二十七歳

二、剣道五段
三、剣道を始めたのは小学校四年で、父がやっていた剣道に興味を持ったのがきっかけであった。

四、全国警察剣道選手権大会優勝一回・三位、全日本剣道選手権大会準優勝一回・三位、全日本警察剣道大会団体優勝一回、第五回世界剣道選手権大会団体優勝一回、国民体育大会団体優勝一回・三位、一回。

五、小手・小手頭が得意である。

警視庁第三機動隊

一、巡查 工藤 一夫 二十二歳

二、剣道四段
三、小さいころから身体が弱かったため、曾祖父が丹吾とい



り大男で、剣道の達人であったということから、曾祖父を志すように丹の一字をもらい命名されたという。正に曾祖父のような剣さばきをする偉丈夫である。

つたので、身体を丈夫にするため、小学校四年生から始めた。

四、昭和五十四年第二一回青森国体出場(団体戦)、全道大会出場(個人戦)、五十七年国体東京都予選出場(個人戦優勝)、第三十七回根拠国体出場(団体戦)、関東警察剣道大会出場(団体戦)。

警視庁第四機動隊



一、巡查 新井 和彦 三十歳

二、警視庁五段、全剣道五段
三、小学校の頃、体育館で行われた剣道の試合を見に行った時、烈しい気合で試合する選手の姿を見て深く感銘を受け、自分もやってみたいと思ひよりになった。

四、昭和四十一年埼玉県中学生体育連盟試合個人優勝、四十九年全日本学生剣道大会出場、五十二年警視庁第三方面区内剣道大会個人優勝、五十五年警視庁署課隊剣道試合優勝、警視庁新行金落成記念剣道大会優勝、また五十二年と五十三年の機動隊対抗剣道試合に優勝した。

五、小手返し面、今後は、小手の二段打ちを得意技に出来るよう努力、精進する。

警視庁第五機動隊



一、警備補 大野 裕治 三十三歳

二、剣道六段
三、中学校の時、剣道部があり

入部した。

四、(一)第四回世界剣道選手権大会団体優勝。(二)全国警察選手権大会四回出場。昭和四十八年三位・五十二年一位・五十二年一位・五十二年一位。(三)全剣連創立三十周年記念選手権者選抜優勝大会二位。四その他全国警察大会。関東警察剣道大会に昭和四十五年から連続出場し優勝回数十六回。

五、得意技は面。



警視庁第六機動隊

一、巡査 日高純徳 二十六歳

二、剣道四段
三、実兄が剣道をやっていたので、高校一年から始めた。

四、昭和五十五年警備部武道始創大会優勝・品川剣道大会個人部の優勝。五十六年全国青年勤労者剣道大会優勝。五十七年警備部武道始創大会準優勝・警視庁剣道大会準優勝。いずれも当隊の大将として活躍している。

五、面技が得意。

警視庁第七機動隊



一、巡査 今村光志 二十七歳

二、柔道五段
三、体が細かったため、横に筋肉をつけるために始めた。

四、昭和四十八年インターハイ団体優勝。四十八年国民体育大会団体優勝。五十二年日本学生柔道大会団体優勝。五十二年全日本警察柔道大会団体優勝。

五、大外刈、大内刈、内股を得意とする。

警視庁第八機動隊

一、巡査 田中文雄 二十七歳

二、剣道四段
三、次兄の影響で中学一年生から剣道を始め。兄は剣道五段。郷里鹿児島県で青少年の剣道を指導している。

四、過去五年間で、警視庁機動隊対抗試合で団体優勝四回、ベスト四位一回、個人通算成績十二勝四敗、個人全勝一回。

五、得意技は「小手」と「面」。



警視庁第九機動隊

一、巡査 渡辺 栄 二十六歳

二、柔道四段
三、柔道を始めた動機は小学生の頃身体が弱く、強たくましくなりたいから。中学一年、柔道をやっていた伯父にすすめられて始めた。

四、二十五歳十五勝五敗五分引。

五、内股、払腰が得意技である。

警視庁特科車両隊



一、巡査部長 中田 勇士 三十四歳

二、剣道六段
三、小学校五年の時、父に勧められて始めた。

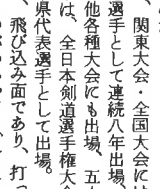
四、全日本剣道選手権大会三回出場(第二十九回大会優勝)、第五回世界剣道選手権大会出場。全国警察柔道・剣道選手権大会に警視庁の代表として七回連続出場。二回の優勝に貢献。

五、攻め込んでのコテ面の連続技と起り面を得意とする。

群馬県警察機動隊

一、巡査部長 池田 伊一 三十一歳

二、剣道五段
三、中学時代に六歳上の兄が剣道をしており、始めは野球でもしようと思っていたのが、兄の強い勧めにより剣道を始め。四、学生時代には全国大会へ出場した経験は一度もなかったが、警察に入ってから団体出場一回、全日本剣道選手権大会三回。



茨城県警察機動隊

一、巡査部長 梶井 重雄 三十三歳

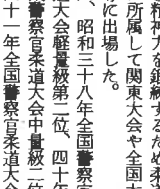
一、警部補 石嶋 巧 四十二歳

二、柔道六段
三、真岡高等学校入学生後、身体と精神力を鍛練するため柔道部に所属して関東大会や全国大会等に出場した。

四、昭和三十八年全国警察官柔道大会最優秀賞第一位、四十年関東警察官柔道大会中量級二位、四十二年全日本警察官柔道大会中量級三位、全日本東西対抗柔道大会や団体等各種大会に選手や監督として出場。特に三十五年栃の葉団体では成年の部監督として準優勝に導いた。

五、背負い投げ、払い腰が得意技。

千葉県警察第一機動隊



一、巡査部長 柿原 直人 二十六歳

二、剣道五段
三、七浦小学校六年の夏、地元千倉中学校が全国練成大会で優勝。この時の剣道チームに刺激を受け、以来通一回中学校での練習を始め。その後中学、高校、大学を通じて剣道を続け、現在は第一機動隊に所属。人間形成と全国大会優勝を目標に、県警の剣道特科員として修業中。

四、個人戦は全日本剣道選手権大会(二回出場)、全国警察剣道選手権大会(一回出場)。団体戦では団体(七回出場して優勝二位・三位各一回)、全国警察剣道大会(三回出場)、関東警察剣道大会(四回出場して優勝一回)、日光剣道大会(二回出場)の五回優勝。二位各一回、関東七県対抗(六回出場して優勝二位各一回)。

五、得意技は面打ちである。

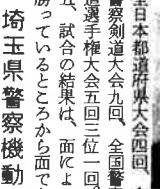
新東京国際空港警備隊

一、巡査部長 佐々木 清和 四十一歳

二、剣道五段
三、柔道をはじめた動機は中学の頃、人よりも体が大きかったため体格を生かせるスポーツとして始めた。

四、学生時代に全日本学生優勝大会及び東京都学生団体別大会等に出場。昭和五十二年に警察官を拝命してからは特科員の指定を受け、全国警察柔道大会、関東警察柔道大会及び関東選手権大会に四回、全国警察選手権大会に二回、国民体育大会に三回、さらに各種大会等に出場して優勝・準優勝を果した。

五、背負い投げ、払い腰が得意技。



千葉県警察第二機動隊

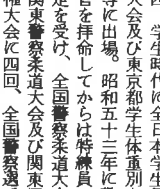
一、巡査部長 新井 俊明 二十六歳

二、剣道五段
三、武道の盛んな房州の土地柄と父の影響を受け、中学生から本格的に取組み始め、安房高校時代には関東大会で団体優勝する等活躍した。

四、隊では技術主任として若い隊員の指導等にあたり、ともにこの三年、毎日夕方六時から七時まで、地域少年を集めて剣道指導を行い、約八十人の中学生から、お兄さん、と親しまれる。少年の健全育成にも貢献している。

五、小柄な体ながら得意の「出頭面」と「甲手すり上げ面」に更に磨きをかけ、県警を代表する選手として活躍している。

神奈川警察第一機動隊



一、巡査部長 久我 正作 三十一歳

二、剣道五段
三、通っていた中学校は片田舎で、これといった運動部もなからず、剣道部だけは県内有数の伝統校として県大会、東日本大会で優勝する等、輝かしい戦歴を誇っていた。子供心にも、各種大会で好成绩をあげる剣道部に憧れを抱いていた。また、体育の授業で剣道をやっていたこともあって、それまでの野球部をやめ剣道の道を選んだ。中学二年生の時である。

四、学生時代は新潟県高校剣道大会(個人)、関東管区警察剣道大会(個人)、A班優勝、北信越高校剣道大会(個人)、個人優勝、国民総合体育大会、東部日本剣道大会(団体)優勝。

五、得意技は上段からの出合い面。

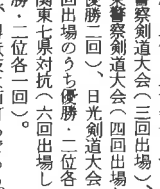
山梨県警察機動隊

一、巡査部長 奥脇 勝美 二十五歳

二、剣道五段
三、父が身体が大きかった本人に柔道をすすめ、安三郎に憧れていることから始めた。

四、学生時代は昭和五十二年全日本学生選手権の無差別級において、当時三強と言われた東海大実力、筑波大松井、中大吉岡が主力で他をひき離しており、準々決勝において僅差の判定で破れてベスト八。警察官になってからは昭和五十五年度管区大会において、一部入りを目指す埼玉県警との対戦で大将となり、大外返しで有効を取り全勝。賞思いの試合。昭和五十五年六月団体ベスト。

五、得意技は内股、大外刈り。



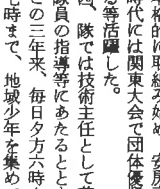
神奈川警察第二機動隊

一、巡査部長 三宅 三十二歳

二、剣道五段
三、両親の勧めで、小学校四年生の時から剣道を始め。「余りにも腕白であったので剣道でなければ落ちていくのではなか」ということで、自分からというよりも両親の勧めが第一の動機である。現在は、両親に感謝するとともに剣道を続けて良かったというのが実感である。

四、国民体育大会団体優勝(昭和五十年)他三回出場。全国警察大会団体優勝(昭和五十四年)他六回出場。全日本選手権大会二回出場。警察選手権大会三回出場。都道府県対抗剣道大会一回出場。警察管区大会八回出場。五、面・甲手を得意とする。

山梨県警察機動隊



一、巡査部長 高橋 幸雄 三十一歳

二、剣道五段
三、幼い頃より父の剣道の姿を見て高校、いつしか心をひかれて高校入学と同時に剣道部に入門。竹刀を握ったのがこの道に入ったきっかけである。

四、関東警察剣道大会九回出場(B組優勝一回・三位一回)、全日本警察剣道大会七回出場、全日本剣道選手権大会一回出場、全団体(剣道)一回出場、全

山梨県警察機動隊

一、巡査部長 奥脇 勝美 二十五歳

読者の 広場



「軟教育」を排す

東京 K・M

戦後、わが国で一番変わったものの一つで概嘆に堪えないのは先輩と後輩の間に、昔のような「教える熱意」と「教わる謙虚さ」が全く見られなくなった事だ。

まず家庭では、親は子に教えず、小学校では、教師が生徒に体罰でも加えようものなら、すぐき親がねじ込んでくる。また中学校となると、今度は逆に先生の方が、生徒の集団暴力に怯えなければならなくなる。勢い、先生の方は当らず、触らず叱言(ごこと)すらも控える事勿れ主義になる。その結果、生徒は我儘で、そのくせ根性のない「甘ったれ子」になって行く。昔なら、学校で先生に叩かれ、と家に帰って報告などしようものなら「お前が悪いからだ」と、オヤジからも一度どつかれるのが落ちであった。しかも学校できびしかったのは先生だけではなかった。

旧制中学などでは、下級生は何かにつけて、上級生の鉄拳制裁に怯えたものだ。尤もこれはかつての軍隊で、古兵が新兵に加えたりシテに似て、順送り報復型でもいうべく、些か剛真性に欠けるが、結構それなりの慣行価値はあったものだ。それに引き換え、今では、指導する立場にある教師や先輩たちの熱意欠乏症に加え、生徒、後輩の方も、きびしい鍛練など



真つ平御免と拒否体勢を固めているように見える。鍛える方、鍛えられる側のどちらにも、土性骨が一本も二本も欠けてしまつたやうな気がしてならない。こんな事を引き合いに出して恐縮だが、筆者はその昔、年齢三十を過ぎて陸軍二等兵として召集され、以後五年間、その殆んどをビルマ、タイの山奥で過ごした。その間幾度も敵弾をかいくぐり、悪役を免れ、何とか恙無く帰還できたのだが、それ、偏に古兵、上官の罵声、叱咤に堪え、果てはビンタに泣いた御座であった。と当時を想い出すたびに感謝の念がこみあがってくる。いまは時世も変わって、昔の軍隊など思ひも及ばないが、それにしても昨今の「超」軟教育の風潮は嘆かわしい限り。さらには一段と「硬教育」でなければいけないのではないかと無性矢張り「昔」が恋しくなってくる。

明治生まれの老いの一徹石頭、上笑い給うことなれ。

冬枯れの季節に想う

柳本 武一

今年も余すところ僅かになりました。野や山は冬枯れて、われわれ風流を解しないものには何の風情もありませんが、やがて年が変り、春が来れば、枯草の中からみずみずしい若葉が萌え出して来るでしょう。思えば、四季の移り変り……大自然というものは偉大なものです。

我々人間として、生を受ける者として春夏秋冬の季節の変化は、大自然のもたらす力であり、進歩した科学や技術をもつても、これをくつがえすことは出来ません。冬枯れの季節を迎えた今日此の頃、何となく淋しい気がしてなりません。しかし、これらの樹木も、やがて春に備えて、大地に大きく根をおろし、暖かい春の来るまで待っていることでしょう。

日本の経済も、長い冬の中に閉ざされ、冷え切つた景気は、いつ回復するかも分らない状況です。今日では、世界経済の中の日本であり、日本のみの経済社会でないことは十分裏証されています。



中し連帯の輪を広げる必要がありません。美しい紅葉もやがては落葉してゆき、続いては厳しい寒さの季節がやって来る。落葉の心ばやがて地下に暖かい根をもつて春の来るをじつと待っている。我々の現在の社会経済環境も、現在はこの季節の如く、寒い季節の忍の時期でもあります。

たゞ此のような社会の中で失格はならない日本人の心、冬枯れのような季節であっても、常に暖かい根は絶えていません。やがて来るであろう暖かい春をじつと待ち続けるために社会の

パリの裏道散歩

M・K 生

パリもたゞ重なる、日本でも知られた有名な名所・旧跡・レストラン等もあきまじつたので、今回は裏通りを見て歩いた次第である。観光ルートのノートルダム寺院のあるシテ島の裏にあるサンルイ島(こは歩いてまわつても十分あれば一巡りしてしまふセーヌ河の中の小島)にいった。

島を真横に二分するような薄汚れた細い路地の西側に、ピツシリレストランが並んでいる。表側からだけ見ると、こんな汚ない場所がレストランとはとも思えないし、レストランとわかっても、入るのをためらう気のする感じの店はかりである。

ところが、思いきって入って見て驚いた。外見とはうって違って、内部は重厚な雰囲気をかもし出す作りで、装飾品は豪華な高級品ばかりである。お客はというと、正装をしていて二度ピツクリ。本当にこの園は見てくれよりも、内面を重視する徹底した合理主義の園だと感じさせられた。

次は、現存する最も古い建物群のあるマレー地区に行つてみた。なる程、よく倒れないで建っている感心できる建物ばかりで、一人一人が通るのがやつとこいう狭い階段をあがってみる。腐つたやうな板ばりの階段がギンギンと音をたて、今にも落ちるのではないかと心配になる。

この地区は、ユダヤ人レストラン街やユダヤ教の教会があり、頭に小さな帽子をのせたユダヤ人達がたむろしている。パリの中心に、イスラエルが突然出現した様子を感ぜさせられたが、次の訪問地区ではもっと驚きを受けた。

サクレクール寺院のあるモンマルトルの丘の裏側にあると一瞬ここはパリかと目を疑つてしまう。道行く人達の顔つきや色が、まったく違ってしまふからだ。アラブ人と黒人ばかりになり、フランスの裏面を見せられた思いがする。



昔の植民地政策のついでが、今まわつてきた感じで、彼らのフランス国内への流入を防ぐ事が出来ないばかりか、道路掃除・ゴミ収集等の下働きは、彼らに追いかまれているという事である。

彼らがある場所に住みつくるとまわりのフランス人が逃げ出す。自然にアラブ人・黒人地区ができてしまふ、今では19区・20区は完全に彼らの地区になつてしまつたのである。

観光コースだけではわからない、きどつたイメージのパリとは、まったくかけ離れた面を見つけて、驚かされた裏道散歩であつた。

お知らせ

☆十一月二十四日付で匿名氏より、また十二月十日付で橋山和正氏より当協賛会宛りにそれぞれ五十万円の寄付がありまして、会の充実強化に有効に活用させていただきます。紙上にて厚く御礼申し上げます。

☆当協賛会第8回名古屋支部総会が下記の通り開催されます。会員の方をお誘い合わせの上、奮つてご参加をお待ちしております。

一、日時 五十八年二月十日(木) 午後五時~六時三十分。
二、場所 名古屋市中区東区東横一 144-133 (東新町交差点北百米) 名古屋郵便貯金会館にて。電話 (〇五一) 九五一一七六一。

新年の御慶を 申上げます

- 大内俊司 (株)上野百貨店
- 鈴木 實 廣 慶太郎
- 谷本隆夫 石原幸男
- 杉尾栄俊 西野公庸
- 村山文雄 竹之上誠剛
- 奥村武正 宮崎精鋼(株)
- 芝本龍平 丸定産業(株)
- 大洋製鋼(株) 広畑海運(株)
- (株)周東商会 豊田通商(株)
- 東 鋼業(株) 和田 弘
- 小川運輸(株) 自見産業(株)
- 津田鋼材(株) 不動鋼板工業(株)
- ソーゴ引越(株) 大和重工(株)
- 岡 部(株) 丸橋 正彦
- 山大鉄商(株) 内外運輸(株)
- 関東銑鐵(株) 藤田金属(株)
- 大野興業(株) 早達運送(株)
- 高周波熱錬(株) 北越メタル(株)
- 大東港運(株) (株)佐藤製線所
- 東南貿易(株) 北海鋼機(株)
- 日誠総業(株)





発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都中央区八重洲2-4-14
 〒104 ミツヤビル3階
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(272)2050
 購読料 年間1200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

災害・遭難救助に活躍

警察庁がレインジャー訓練



警察庁主催の五十七年度全国レインジャー訓練が終了した。綱に命を託した救助訓練、とくに冬山登山シーズンを迎えるこの訓練が、われわれ市民の安全を守ることに役立って行くことはいふまでもない。

昭和四十六年に始まった警察庁主催によるレインジャー訓練は、今回で第十二回目を数え、受講生も延べ二千三百六十九名となった。

全国機動隊員のなかから身体的条件、体的条件、精神的条件をパスした身心・知能ともに最も均衡のとれた隊員が、今回は二百九名選抜され、ハードなスケジュールに挑戦した。

去る九月の関東(松本・習志野)を皮切りに、十二月の四国(香川)を最後に、全国を七ブロックに分けて実施された。この受講者が各都道府県警察における指導者として、各機動隊

レインジャー部隊の強化訓練にあたっていくが、大分県警察機動隊では、早速これを山岳訓練に取入れた。

大分県警察機動隊が冬山遭難救助訓練

大分県警察機動隊レインジャー部隊は十二月中旬、大分市の高崎山中腹の岩場で救助訓練をした。大分県警察本部長の指図、荒波機動隊長の指揮で、隊員二十三人が日頃の訓練の成果を披露した。

地上二十メートルの高さに上下二本のロープを張り、下のロープに立つて上のロープを伝いながら歩く「セーラー渡り」、ロープに腹ばいになって前進する「モンキー渡り」のほか、三十メートルの岩場からロープを伝って負傷者を担架に乗せて運ぶ「担架搬送」などの技術を見せた。

同県のレインジャー部隊は四十七年に発足、災害や遭難の現場に迅速に出動して救助するのが目的であるが、これからは技術を向上させ、県民の期待に応えていく決意をそれぞれの隊員が語っている。

また、五十七年度の警察レインジャー訓練に参加した隊員を代表して、佐賀県警の本田隆司隊員は、次のような感想を述べている。

第十二期警察庁レインジャー訓練に参加して
 本田隆司(佐賀県)

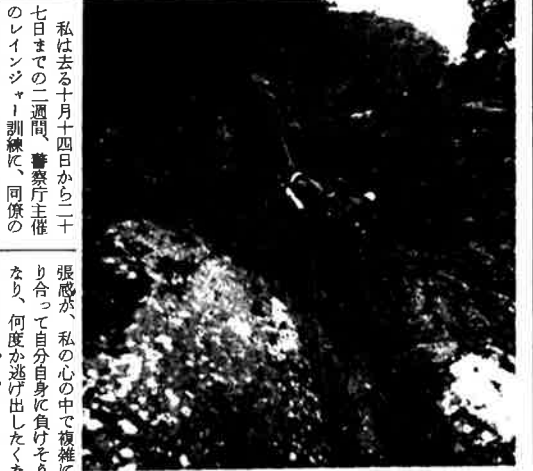
私は去る十月十四日から二十七日までの二週間、警察庁主催のレインジャー訓練に、同僚の今村隊員とともに参加した。

ここで訓練は規律が特に厳しく、服装の乱れやひげのそり残し、靴の汚れやひげの掛け忘れ等、ひとつをとっても厳しい罰則が待っていた。なぜかこのように厳しい規律があるのかというと、レインジャー隊員として一番必要な細心の注意、緊張感を養うためである。レインジャー隊は、ちょっとしたミスにより死に結びつく大変危険な職務であるからだ。

私は建築部馬場という断崖絶壁の谷間にロープを張り、谷間を渡ったり、ロープを使って谷間を駆け降りる訓練等を実施した。

この訓練は、一つ間違えば確実に死ぬという恐怖心と緊張感で、私の心の中で複雑に交り合って自分自身に負けそうになり、何度か逃げ出したくなることがあった。

しかし、その度に機動隊でのどんなに苦しい訓練にも耐えて来たんだ、これくらいで負けてたまるか、と思うと同時に「レインジャー」と大声を出していた。その瞬間、自然に体が動き出し、無事谷間を渡ったことを今でもはっきり覚えていて、短いようで長かった、私にとっては初体験の厳しいこの訓練で、レインジャー技術の習得は、もちろんのこと、いろいろな面で大変有意義な勉強になった。これからもレインジャー隊員として、訓練に参加した誇りを忘れず、レインジャー技術の向上に努力していく所存である。



大分県の冬山遭難救助訓練

機動隊三十年のあゆみ
 福井県警察機動隊
 小林達夫(機動隊長)

金言で三十年を迎えた機動隊が多い。三分の一世紀と心から敬意と感謝を表したい。

昭和二十七年に発足終戦以来、全国各地で多発化した被災者救済や集団不正事案を予防・鎮圧するとともに、大規模災害事案の救助にあたる警察部隊として、昭和二十七年、思想堅固、成績優秀な青年警察官を選出して「福井県警察特別機動隊」を創設し、以来今日まで三十年を歩んできた。

その任務は、
 一、内乱鎮圧その他集団不正事案の警備
 二、災害救助活動
 三、警備・警護
 四、機動警ら活動

で県下の活動を展開した。その後、治安警備および災害救助活動等の訓練を積み重ねるとともに、各種の警察活動に動し、多大の成果をおけている。中でも冠山における福井銀行登山パーティの山岳遭難救助活動や若狭地方を襲った台風十三号による水難者救助活動は、顕著な功績として県民の信頼を高めた。

災害警備活動で活躍
 昭和三十六年四月には、機動隊の組織が改正され、機動隊の名称も現在の「機動隊」となると今日に至っているが、機動隊の諸活動も昭和四十一年頃までは、台風による風水害、集中豪雨による水難、豪雪による遭難および山岳遭難等、そのほとんどが災害警備活動であった。

しかし、昭和四十一年頃から治安警備実施に当たる機会が多くなってきた。当時の主要な出動事案は、四十三年の国鉄合理化反対闘争を皮切りに、四十四年の沖野闘争、国際反戦闘争、四十五年の第一次反安保闘争、四十五年の第二次反安保闘争、四十五年の第一次反安保闘争などの治安警備活動が続いた。

現隊舎に移転このようなかで、昭和四十六年四月には、福井市内に独自身現隊舎が新築落成し、広大な田園地帯に引き越してきて新たな環境のもと警備諸活動に取り組んできたのである。現在隊舎前にも泉木付庭園は、当時の隊員の手作りによるものであり、今でも厳しい訓練の中にあっても心安まる憩いの場所となっている。

昭和四十八年四月には、隊に「誠実、融和、忍耐」の隊訓が制定され、さらに昭和四十九年七月には、県警察施行二十周年を記念して福井県警察機動隊が制定された。この隊歌は、警備出動、帰隊時や懇親会、さらには隊員の結婚披露宴まで歌われるほど出番が多く、隊員の融和・団結のよりどころとなっている。

警備技術の向上
 さて、昭和五十年代に入ると警備対象事案も成田空港閉鎖阻止闘争、原水爆禁止闘争、対闘争等に原水爆禁止闘争、国際化、大規模化、広域化し、これに伴って警備技術の向上が叫ばれ、訓練の強化による機動隊の向上をはかってきた。

玉龍のごとく
 最近の治安情勢は、一応平穏に推移しているかのように思えるが、激動と混沌の政治、経済情勢を反映して底流では必ずしも平穏を許さない要素がうっすらと見えている。

我々は、治りにて乱を忘れず、先訓に学び「訓練に泣き実戦で笑え」を合言葉に、本県機動隊シンボルマークの玉龍のごとく、強しんでたたく。しかもいかなる事案にも迅速的確に対応できる頼もしい機動隊づくりに隊員一丸となって励んでいるところである。

自浄作用で解決できぬ問題

アメリカの文化を混雑の文化と名付けた人がいる。ニューヨークで一日五件の殺人事件が発生するとか聞かされても、世界一の治安を誇る日本に住んでいる我々にはピンとこないが、盗る方より盗られる方が悪いのだという言葉が通用する状況を知ると、何となく真実味を感じてくる。アメリカ留学から帰国してきたある学校の先生が次のような話をして

「アメリカでは、日本以上に自転車は愛用されているが、乗っている人はたいてい「メートルくらい鎖を肩にかけたり腰にまいて走っている時は二重の関所を通らねばならぬ。まず乗物の入口で訪問相手やインターホンで呼びだすと、その間だけ入口のドアが開く。次に部屋まで

行つてやっと会えるという段取りになっている。とにかく治安の悪さには驚くほかなかった。しかし、昨今の日本の世相の痛ましい事件を聞きみると、日本人も「水と生命の安全はただで得られる」とばかり言っているではないか。病巣が連鎖反動的に拡がった日には、この社会はどういうことになるだろう

東京・江東区の通り魔事件はまだ記憶に新しいが、最近のように相次いで起ると、これは現代社会の新しい病的現象と言わねばなるまい。

病巣がまだ小さいうちに病根を除く手だてを一刻も早く立てなければ、病巣が連鎖反動的に拡がった日には、この社会はどういうことになるだろう

うか。こころの犯人の多くは、寛量刑常用者で精神病者であると言われるが、こうした犯罪が起るたびに問題とされるのは、保護処分の規制を加えるべしとする論と、その名を借りて行われる人権侵害の危険を指摘する声である。

もちろん犯罪者の人権を無視するわけではないが、一般市民の生命が脅かされている現状をみると、どちらがよいのか悪いのか議論している場合ではないかと思える。もはや社会の自浄作用のみを期待している時ではない。

昭和二十七年に発足終戦以来、全国各地で多発化した被災者救済や集団不正事案を予防・鎮圧するとともに、大規模災害事案の救助にあたる警察部隊として、昭和二十七年、思想堅固、成績優秀な青年警察官を選出して「福井県警察特別機動隊」を創設し、以来今日まで三十年を歩んできた。

その任務は、
 一、内乱鎮圧その他集団不正事案の警備
 二、災害救助活動
 三、警備・警護
 四、機動警ら活動

で県下の活動を展開した。その後、治安警備および災害救助活動等の訓練を積み重ねるとともに、各種の警察活動に動し、多大の成果をおけている。中でも冠山における福井銀行登山パーティの山岳遭難救助活動や若狭地方を襲った台風十三号による水難者救助活動は、顕著な功績として県民の信頼を高めた。

災害警備活動で活躍
 昭和三十六年四月には、機動隊の組織が改正され、機動隊の名称も現在の「機動隊」となると今日に至っているが、機動隊の諸活動も昭和四十一年頃までは、台風による風水害、集中豪雨による水難、豪雪による遭難および山岳遭難等、そのほとんどが災害警備活動であった。

しかし、昭和四十一年頃から治安警備実施に当たる機会が多くなってきた。当時の主要な出動事案は、四十三年の国鉄合理化反対闘争を皮切りに、四十四年の沖野闘争、国際反戦闘争、四十五年の第一次反安保闘争、四十五年の第二次反安保闘争、四十五年の第一次反安保闘争などの治安警備活動が続いた。

現隊舎に移転このようなかで、昭和四十六年四月には、福井市内に独自身現隊舎が新築落成し、広大な田園地帯に引き越してきて新たな環境のもと警備諸活動に取り組んできたのである。現在隊舎前にも泉木付庭園は、当時の隊員の手作りによるものであり、今でも厳しい訓練の中にあっても心安まる憩いの場所となっている。

昭和四十八年四月には、隊に「誠実、融和、忍耐」の隊訓が制定され、さらに昭和四十九年七月には、県警察施行二十周年を記念して福井県警察機動隊が制定された。この隊歌は、警備出動、帰隊時や懇親会、さらには隊員の結婚披露宴まで歌われるほど出番が多く、隊員の融和・団結のよりどころとなっている。

警備技術の向上
 さて、昭和五十年代に入ると警備対象事案も成田空港閉鎖阻止闘争、原水爆禁止闘争、対闘争等に原水爆禁止闘争、国際化、大規模化、広域化し、これに伴って警備技術の向上が叫ばれ、訓練の強化による機動隊の向上をはかってきた。

玉龍のごとく
 最近の治安情勢は、一応平穏に推移しているかのように思えるが、激動と混沌の政治、経済情勢を反映して底流では必ずしも平穏を許さない要素がうっすらと見えている。

我々は、治りにて乱を忘れず、先訓に学び「訓練に泣き実戦で笑え」を合言葉に、本県機動隊シンボルマークの玉龍のごとく、強しんでたたく。しかもいかなる事案にも迅速的確に対応できる頼もしい機動隊づくりに隊員一丸となって励んでいるところである。

寒さとの対決

警視庁機動隊



行けるおけるが、続対
女におけるが、続対
善男院に落ちかると流儀
社寺一段落は寒さの
神なく警備は各々
各地の味は違々
ぬけなく、隊員は
けられず、隊員は
も滞りなく、隊員は
全国警備は各々
気分は、隊員は
正月交り、隊員は
き交り、隊員は
雑踏の下、隊員は
緑の隊員は各々
これを克服している。

本部を守る誇り (庁警)

一機 中川洋香

私が始めて警視庁の顔とも言える本部警備勤務についた日は、忘れもしない新隊員訓練が終った翌日の昭和五十六年十一月七日、土曜日であった。確かに空で、時折、小雨がはらつていて、寒い。

は、警視庁警察官にとって、とても名誉であり、誇り高いことである。そして、とても責任重大な勤務である。私は、この世界に誇る警視庁の本部を寒さを吹き飛ばしてこれからは愛し、死守せねばならないと思っ

人命救助の使命 (水難救助)

二機 野尻昭二

昭和五十一年十一月、秋冷えの厳しい頃であった。穏やかな第二機動隊の隊員に、突如けたたましい非常ベルの音。リリーオン、リリーオン、リリーオンと連続三回鳴り響いた。警視庁水難救助隊出動の合図である。一瞬、隊内は緊張した空気に包まれ、続いて隊内放送は、「水難現場は蒲田署管内、多摩川六郷橋付近に子供が落ちた。二機水難救助隊出動。一と簡潔に事実の内容を伝えた。私達水難救助隊員は、直ちに水難救助車に及び乗り現場へ緊急出動した。現場到着。すでに二十分が過ぎ、子供は発見され、どこにも見えない。先輩隊員の顔がこわばり、「もうだめかもしれないな」とつぶやく。

現場の所轄署責任者と連絡をして、いた水難救助隊長、小隊長が駆け足でもどって来た。早速潜水捜索の範囲、潜水地帯などの指示をうけ、潜水隊員五名と一緒に捜索が開始された。しかし、川幅二百メートル、水深五メートル、水底ヘドロ、視界ゼロ、予想どおり手さぐりだけの捜索である。

労働も増してきた。引き続き二回目の捜索が行なわれた。時間が経過すると二十十分、川の中央部、六郷橋から下流五十メートルの地点に潜水隊員が突然浮上してきた。隊員の一人から「要救助者発見」との第一声がこえた。しかし、誰もか、生き続けていると信ずるものはなかった。

千磨必死の稽古 (剣道)

四機 中村直幸

「やったあ、優勝だ！」私は、優勝決定の瞬間、握りしめた拳を振り上げ、まわりを見回すと、敵しい顔をして、喜びの表情が体中に溢れ出ている。これも、先生活はじめ選手一同一丸となって試合に臨んだチームワークの結果だと思ふ。それは、全勝者が三十名中四名ということに顕著に現れている。

わが第三機動隊は、五十六年の十二月からアメリカ大使館の常駐警備を任じている。静岡県出雲町の私にあっては、アメリカ大使館周辺を吹きぬぐ寒風は身にしみることが、寒さのききに雪ダルマの様な程厚着をしてきたのだ。いざという時、動きがとれないし、今、流行のカイロ等を使ってはいたのでは、暖かくなるには全身に五六個前後使用する事となってしま

一步前の精神 (重防)

三機 金田昌直

私が第三機動隊は、五十六年の十二月からアメリカ大使館の常駐警備を任じている。静岡県出雲町の私にあっては、アメリカ大使館周辺を吹きぬぐ寒風は身にしみることが、寒さのききに雪ダルマの様な程厚着をしてきたのだ。いざという時、動きがとれないし、今、流行のカイロ等を使ってはいたのでは、暖かくなるには全身に五六個前後使用する事となってしま

を大切にしている。一步前に出ていけば、あたりまえのことだが、不審者、不審車両の早期発見につながる。重防を完了する上で大いに役立ち、警備隊の万全につながる。

常にかげろ (重防)

六機 波戸憲昭

冬冬到来である。私は、機動隊勤務となって初めての官邸警備に従事している。五十六年四

月に入隊して、重防警備をはじめ各種の警備の体験をした。冬の官邸警備は初体験であり、警戒中は寒さとの戦いでもある。私の出身は南国鹿児島である。南国育ちの私は、夏の暑さには強いが、寒さには勝てない。強いが、寒さには勝てない。強いが、寒さには勝てない。強いが、寒さには勝てない。

それに、冬場は筋肉がよくほぐされるまで時間がかかり、けがをしやすく、また、けがをするとなかなか治りづらい。それだけに準備運動だけはしっかり行ない、大事に至ることのないよう自分自身で十分に気を付けなければならぬ。

常にかげろ (重防)

六機 波戸憲昭

冬冬到来である。私は、機動隊勤務となって初めての官邸警備に従事している。五十六年四

月に入隊して、重防警備をはじめ各種の警備の体験をした。冬の官邸警備は初体験であり、警戒中は寒さとの戦いでもある。私の出身は南国鹿児島である。南国育ちの私は、夏の暑さには強いが、寒さには勝てない。強いが、寒さには勝てない。強いが、寒さには勝てない。

この感激を味わうには、冬山の寒さに耐えなければならぬ。冬山の装備はもちろんのこと、普段から真冬でもコートを着ず下着は半袖等と寒さに慣れるようにしている。

常にかげろ (重防)

六機 波戸憲昭

冬冬到来である。私は、機動隊勤務となって初めての官邸警備に従事している。五十六年四

月に入隊して、重防警備をはじめ各種の警備の体験をした。冬の官邸警備は初体験であり、警戒中は寒さとの戦いでもある。私の出身は南国鹿児島である。南国育ちの私は、夏の暑さには強いが、寒さには勝てない。強いが、寒さには勝てない。

この感激を味わうには、冬山の寒さに耐えなければならぬ。冬山の装備はもちろんのこと、普段から真冬でもコートを着ず下着は半袖等と寒さに慣れるようにしている。

常にかげろ (重防)

六機 波戸憲昭

冬冬到来である。私は、機動隊勤務となって初めての官邸警備に従事している。五十六年四

月に入隊して、重防警備をはじめ各種の警備の体験をした。冬の官邸警備は初体験であり、警戒中は寒さとの戦いでもある。私の出身は南国鹿児島である。南国育ちの私は、夏の暑さには強いが、寒さには勝てない。強いが、寒さには勝てない。

やる気

(水難救助)

七機 近藤誠次

私の出身は九州の熊本である。九州といえど誰かが、南国に雪など降らないと思ってしまう。しかし、私の田舎は二月、三月ともなると、あたり一面真っ白になることもある。その中で、雪た

ぶつかり稽古の気力 (相撲小隊)

八機 中島宗史郎

「よっしゃ、もう一番」「さあ、まだまだ」頭の先から足の先まで泥だらけ。ヒジはスリムキ、立っているのもやつかると、体が勝手に前に進む。ただだ前へ、ひたすら押して。相手が土俵から出るまで当たって行く。全く経験のない私にとって、この相撲というスポーツは決して楽なものではない。当番勤務を終え、同僚がコートに立ってながら帰る後姿を横目にマワ

かけ足と乾布摩擦 (寮員)

九機 求 厚志

私は、鹿児島出身である。鹿児島は冬は、東京と比べてみれば比較にならないほど暖かである。高校時代から柔道をやっており、そのころも寒くても朝早くから練習をやっていたが、鹿児島の朝は寒いと言ったことさへ苦にならず、特にこれといって寒さに対しての過し方などは覚えていなかった。

愛車精神 (冬場の洗車)

特車 森 義弘

季節の変化の中で驚愕に当たっている。春は満開の桜のもとで夏はキラキラと容赦なく照りつける太陽の下、秋には紅葉の落葉で黄色いゆりたんを敷きつめたような国会並木通りで、そして冬、我々機動隊員にとっては最も厳しい季節の到来である。

沿革

紹介

人の生命、身体等に危険がおよぶ災害または事故等が発生した場合、特殊な装備を使用して被災者又は事故者を迅速・的確に救助するため、昭和四十七年八月三十日「機動救助隊等の編成および運用要綱の制定について」(通達甲(備、備、維)第五号)を制定し、各機動隊および特科車両隊に機動救助隊を第二機動隊と第七機動隊に水難救助隊を編成し、それぞれ「レスキュー110」として発足した。



機動隊に転動して始めての冬、今まで同様、厚着をしてコタツに入っている寒さの生きた生活かと思っていた。しかし、武道小隊員となつてその生活は一変した。機動隊には毎日の朝朝古がひかえている。当初は寒くても稽古に行くのが辛く、このまま布団の中にくるまっていた日が続いた。そんなある日のことである。同じ寮に居る武道小隊の先輩から「おい、かけ足に行こう」と誘われ、仕方なくその先輩と一緒に、寒い冬の朝、かけ足に出かけた。その先輩は、寒さなどもとせず、むしろ楽しむようにかけ足し、終わった後は寮に帰ってすぐさま乾布摩擦。そして私にもそれをすすめた。はじめのうちは辛くて止めてしまいたいと思っていたが、毎日続けるうちに、一月余りたつと早朝のかけ足と乾布摩擦をしない日は、何か気持ちが落ち着かないようになってきた。「耐寒法」としてはいいか、昨年の冬にはこんな思い出がある。洗車をした翌朝、ふとんの中で何気なく自分の手を見たら、手の皮がぼろぼろにむけており、びっくりしてしまった。しかし、我々の車に対する愛情は誰にも負けない。各担当車両の洗車を終り、所定の位置に車を置くとき、自分の車をまじまじと見つめ、何か自分の彼女を自慢するかのよう、「どうだ俺の車の方がきれいだよ」と言わんばかりに胸を張って見せるのである。そして冬、我々の姿を見てみると、今までの苦労はどこかに吹き飛んでしまっている。我々特科車両隊の顔である警備車には、先輩方の血と汗で染みこんだ伝統がしみついている。特別車両隊の要である各種の警備車も自分たちの手で管理をし、そして出動時の風塵をたらし、たどきの感謝は言葉では言い表わせないものである。これから警備車一台一台に、我々隊員の思いを刻みこみながら前進していく。

警視庁 機動救助隊 紹介

活動状況

マンモス、過密化した東京に発生する交通事故、火災、エンベーター事故、ガス爆発事故など各種の災害に動員し、特殊な装備と高度な技術を駆使して救助活動にあたり、都民の生命と安全を守っている。

創設以来十年、この間の出動件数は四、四六五件で九二五名もの尊い人命を救助している。特に五十七年二月八日の「ホテルニュージャン」火災現場における救助、二月九日の「西新小岩」における交通事故現場における救助、五月十五日の「西新小岩」における交通事故現場における救助、十月十日の「奥多摩湖」畔における崖崩れ現場における救助(一等テレビ、新聞報道されるなど)警視庁機動隊の威信を高めた。

訓練状況

毎日の機動救助技術研究会、機動救助隊員集合訓練を実施する他、毎年三月に実施している機動隊対抗レスキュー競技会及び十二月に実施している機動救助隊総監査開等を通じて救助技術の向上に努めている。

- 機動隊の皆様 本年も宜しく
- 大内俊司
- 東鋼業(株)
- 株式会社三榮商会
- 奥村武正
- 村山文雄
- 大洋製鋼(株)
- 高周波熱錬(株)
- 株上野百貨店
- 石原幸男
- 木村利秋
- 橋山和正
- 東海レベラー工業(株)
- 中京製線(株)
- 東海鋼材工業(株)
- 森 英二
- 広島シーリング工業(株)
- 石田工業(株)
- 東海鋼業(株)
- 藤田金属(株)
- 近藤与助工業(株)
- 株小山田工業所

今月の言葉

近ごろ痛感することだが、どうも世の中、上手な文字を書く人が極めて少なくなった。先づ思いがどうだろう。どちらかといえば、とくに男性側この傾向が強いようで、中には上手、下手などを判る以前にも断定できる代物が、オフビジュアルな文書にさき、堂々とまかり通っているのだから恐ろしい。

実は、かく申す小生自身にしても、字を書くという点については、まったく自信がないのであって、こんなことを話題にすれば、天に唾することになるであろうことは先刻承知なのである。にもかかわらず、厚かましくも、おこがましき、このよ

文字の乱れをいかにせん

の知性と教養を如実に現わす、だから習字は大切である、と親にも、先生にも機会あることに訓されたものである。

その教訓が未だに脳裡に残っているせいか、極端にきれいな字を書く人を見ると、ついついその人の人となり自体を疑ってしまうのである。

だが文字の巧拙で、人格を云々するのは行き過ぎであることは熟知しているもの、げに固定観念というものは恐ろしいものである。社会には、まだこういう頑固な考えを堅持している人が意外に多いのである。このよ

ところが、近ごろの若い人の中に、字の上手、下手などまったく判らぬ人が、字なんか判ればいいのであって、上手、下手など判らぬという方々なのだろう。そういう人間にはうまい字を書けといつては、しょうがないのであるが、しかし、そういう人たちがあつても、好

きな女性から、みるからに金鈿流の付け文を貰うより、水くきあとも鮮やかなラブレター(恋文といつた方がピッタリするが…)を貰った方がはるかに嬉しいに違いないのである。

同程度の成績であれば入学、入社試験などに際しても、当然、字の上手な人間が勝つことが多いし、社会人になつても文字の巧拙は、その人の人生軌跡に大きな影響を与えずにはおかないだろう。

と云ふが、今からでも決して遅くないので、若い人は折を見て習字に励んでほしい。日本語の乱れについて載っている向きが多いが、文字の乱れも、また再認識すべきではないかと感ずる次第だが、いかがなものだろうか。

晩学の窓にいきり火 天の川

心の輪が広がる

第八回名古屋支部総会



当機動隊員等を励ます会は、今年で満九年目を迎える。昭和四十九年三月に任意団体として大阪支部に続いてスタートした名古屋支部の第八回支部総会が二月十日、名古屋郵便貯金会館で婦人警官を含めた機動隊員百八十名を招き、会員二百名の出席を得て、今年も盛大に行われた。

国歌斉唱で始まり、加納保成・名古屋支部世話人代表は「内外情勢ともに厳しいなか、機動隊員等が治安の要となつて、今後ともこれを支援していく」と励ました。

上野滋・中部管区警察局長と四方修・愛知県警本部長がそれぞれ「治居て乱を忘れる」との精神で、有事に備えて精進している」「隊員達は心のつながり、また体力の練磨、団結の向上等で引続き頑張っていく」と力強く決意のほどを語った。

鈴木實・励ます会副理事長による乾杯の音頭を契機に懇親会に移り、青島忠夫・愛知県機動隊長の謝辞、橋山和正・大阪世話人の万歳三唱で幕を閉じた。

初めは、強健な体力が必要であることはいままでの通り。この大会は従来の柔剣道、速捕術等の訓練に加えて、広く警察官がその走力・持久力の向上に努め、もつて国民の負託にこたえる警察活動を展開することができようにつくべく実施されたものである。

警察官がその職務を遂行するためには、強健な体力が必要であることはいままでの通り。この大会は従来の柔剣道、速捕術等の訓練に加えて、広く警察官がその走力・持久力の向上に努め、もつて国民の負託にこたえる警察活動を展開することができようにつくべく実施されたものである。

警視庁が優勝飾る

結果は優勝旗を手に入れたのが警視庁、区間賞も四人が二総合タイム(一時間三十七分二十秒)の差をつけ、三位が埼玉県警であった。

優勝飾った警視庁の代表選手は補欠を入れた七人がいずれも機動隊員、大阪府警は七人のうち五人が、また埼玉県警選手は二人がそれぞれ機動隊員という内訳であり、平素の厳しき訓練を乗り越え、勝利をかち取った。

非常招集訓練とロードレース

ライン、ライン、…けたたましい電話のベルの音、寝ぼけてまなこで受話器をとる。「当直の〇〇です。隊舎において火災発生直らに応召して下さい」。当直勤務員からの電話指令を受理した隊員の全身がビリンと引き締まる。

島根県警機動隊はこのほど、大変なものであった。

会場の大会本部前には、金糸で彩られた真新しい紫紺の優勝旗が、冬空に照り映えていたがこの優勝旗を手にするの

降雪について隊員の元気がかけ声が島根路の山あいにこだまする。

寒さで凍りそうな体も、時間の経過につれて汗がにじみ、その汗が額から揚がり、おぼろげに流れ落ちる。急勾配の起伏に富んだ難コースへの挑戦であったが、全員が元気に完走した。

隊員でもある有事即応体制の確立と強靱な精神力、強健な体力・気力を培い、かつチームワークを醸成する意味からも非常に有意義な訓練で、所期の目的を達成することが出来た。

はげまし

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

十二年からは社団法人の認可を受けて公的な組織となり、九年目を迎えるいま、励ます会はずっとその成果をあげてきて、会員数の拡大のみならず、発足当初の会員数三百八十五名から、現在は一万二千名を超え、全国に東京本部と八つの支部を持つに至った。

大阪支部に続いてスタートした名古屋支部の第八回支部総会が二月十日、名古屋郵便貯金会館で婦人警官を含めた機動隊員百八十名を招き、会員二百名の出席を得て、今年も盛大に行われた。

初めの全国警察駅伝競争大会が開催された。全国各都道府県警察の中から選ばれた三百三十六人の代表選手、そのうち約三分の一が機動隊員で占められ、また上位入賞がほとんど機動隊員であった。職務執行の基礎となる体力と気力の充実が如実に示されたのだ。

強健な体力づくり

警察庁主催による初めての全国警察駅伝競争大会が、昨年末愛知県・愛知青少年公園で実施された。

警察官がその職務を遂行するためには、強健な体力が必要であることはいままでの通り。この大会は従来の柔剣道、速捕術等の訓練に加えて、広く警察官がその走力・持久力の向上に努め、もつて国民の負託にこたえる警察活動を展開することができようにつくべく実施されたものである。

非常招集訓練とロードレース

ライン、ライン、…けたたましい電話のベルの音、寝ぼけてまなこで受話器をとる。「当直の〇〇です。隊舎において火災発生直らに応召して下さい」。当直勤務員からの電話指令を受理した隊員の全身がビリンと引き締まる。

島根県警機動隊はこのほど、大変なものであった。

会場の大会本部前には、金糸で彩られた真新しい紫紺の優勝旗が、冬空に照り映えていたがこの優勝旗を手にするの

降雪について隊員の元気がかけ声が島根路の山あいにこだまする。

寒さで凍りそうな体も、時間の経過につれて汗がにじみ、その汗が額から揚がり、おぼろげに流れ落ちる。急勾配の起伏に富んだ難コースへの挑戦であったが、全員が元気に完走した。

隊員でもある有事即応体制の確立と強靱な精神力、強健な体力・気力を培い、かつチームワークを醸成する意味からも非常に有意義な訓練で、所期の目的を達成することが出来た。

地域住民招いてもちつき大会

全国各機動隊とも年末年始にかけて恒例のもちつき大会を行つて、これは奈良県警察機動隊に焦点をあててみた。

同隊は地域住民との親睦を深めるために、恒例の第六回機動隊もちつき大会を、鷺崎本部以下各幹部のほか地元自治会、子供会及び福祉施設児童等約三百名を招待した。

奈良県警察機動隊

第一部のもちつき大会では、機動隊員と子供達が力を合わせて二百キロのもちつき上げて舌鼓を打ち、第一部の演奏会においては手品、機動隊長の居合、婦人交通巡視員による交通安全クイズ、県警音楽隊の演奏による歌合戦等盛況のうちに幕を閉じ、地域住民の好評を得た。

私の体力増強法

大阪府警察第二機動隊

面て努力している。今回は、厳しい訓練の余暇に各人がどういった体力増強をはかっているか、とくに大阪府警に登場して頂いた。

青春は単なる人生の花盛りではなく、秋への準備の季節である、といった人がいる。若人の集団機動隊は、それぞれの隊員が明日の収穫のために質的向上を目指して、きょうもあらゆる



いことである。登山もよい。ゴルフもよい。そこで私は「走る」ということと「身体を動かして汗をかく」ということで、体力の維持・増強をはかっています。今後も健康体である限り、年齢と体力に合った方法、続けていきたいと思っていますが、体力と老化の関係については、体力と

同年代の人でも、若さを感じる人と、そうでない人がいる。それは年をとっても身体を動かしたり、汗をかいたりすることをお忘れしないで、実行していただくか、か、違いたくないだろうか。また、いわゆる燃えている人は、「目」が生きており、身体から熱気を感じるものである。そして常に物事を考えたり、本を読んだりして脳に刺激を与えていることが脳の防止策となり、老化防止につながるのではあるまいかと思っております。

反対に身体を動かさず、汗を流さず、考えることもしない意識のない人は、体力も気力も衰え、老化もそれだけ早いのではないだろうか。そこで治安最後の岩である我々機動隊員には、各種出動事案からもわかるように、「強じんな体力」が必須条件である。体力の向上を図ることは、仕事そのものであると思っております。

五中隊 地頭所 司

私はこの単の二機に比べても、なく三年にわたって、皆さんに紹介するよりも特別な事は無いが、ただ私は少々肥り気

味で、それを少しも改善しようとして現在ジョギングに励んでいる。小学校から中学校にかけて、私は両足の踵と膝を悪くし、体育の授業はほとんど見学。一時は歩行が困難な時期があった。その頃からアブクと肥りだし、警察学校入校時は、体重が七十五キロもあった。入校中の夏には、一時七十七キロまで減ったが、体質は変わらずに赴任する頃には再び七十五キロに戻ってしまった。

そして二年半後に機動隊に赴任したが、その頃は七十八キロに増えていた。機動隊の訓練で瘦せられると思つたのも束の間、反対にアブクアブクになり、ヘルニアを再発してしまい、コルセットのお世話になり、体重は八十キロの大台に乗ってしまった。そして昨年の一月にはついに八十四キロになり、洋服などを買い替える必要がなくなった。

そのため私は、昨年の四月に新隊員が入隊したのを機会に、少しづつでも体重を減らそうと、ジョギングを始めることにした。最初は、やはり三日坊主で終わってしまった。一日休むと次に始めるまでに二週間かかってしまった。それでも徐々に走る日がふえて行き、三日が四日に、四日が一週間に、体重が減ってきいていくことが分かるようになった。だんだん病みつきになってきた。今では距離を延ばしたり、途中ダッシュを入れてみたり、ジョギング後は補強運動をしている。

無理やりではなく、自ら進んで走っているので精神的にもいよいよ、今では走れない日が

あると何となく落ちつかない位だ。現在は体重が七十キロを割ることもあり、なによりもスポーツのサイズは八十八センチがきつ位だったのが、八十二センチでも少しゆるい位になった事に満足している。

久しぶりに会った友人に、「おまえ、どこか悪い」と言われるくらいに瘦せて、「よく言われるが、身体は至って健康で、ブクブクの体形が少しだが、筋力質は意識して食事の量を減らしてはいたが、今は以前の八分目位でも充分満腹感を得られるように胃も慣れてしまった。今後どうなるか分からないが、できるだけ続けていくつもりだ。ただ復縁を為さなく健康の為に

ここで私たちが勘違いしやすいのは、スバル的練習イコール体力づくりと考えることである。無理に無理を重ねての体力づくりは、決して良いとは思わない。個人の年齢や体力に合った計画的のあるものが、大切ではないだろうか。

限られた時間を最大限に活用して練習する。その積み重ねが不可能と思われるものを可能にしていく。加えて、平素の職場を通じて培われて、「機動不屈」の信念が相乗して、「精進な体力」づくりが実を結ぶのである。むしろ、「精進な体力」は強い信念から成ると言っても間違いではないと私は思っている。

今日この機動隊にあって、「精進な体力」は必要不可欠なものとなつてはいる。もちろん体力だけではいけない。もちろん心も強いが、これが前提になる。

精進な体力と簡単にいうが、そこまで鍛錬するには大変な努力を必要とする。人間が成長していく過程において、努力が長くして人一倍の体力を得ることは不可能に近づくことである。

私の体力増強法と私の体力増強観を述べてみたい。まずは、平素何処でも出来ることをやるということである。それは、走る、腕立て伏せをする、腹筋や背筋を鍛えることである。

これをやることによって、体力は間違いなくつくと思つた。しかし、それも毎日の積み重ねが大切で、それによって老化を防ぐこともできる。筋力というものは、脳の老化と同じもので、年をとるにつれて衰えていく。人は、文字を書かなくても、いくら難しい本を読んでも、老化現象を防ぐことは出来ず、筋力も使わずに放っておけば、衰えが著しくなってくる。その為には、あらゆる筋力を使うことが好ましい。

しか他に方法はなかった。これといった方法も知らず自分なりに考え出したのが、「つま先歩き」であった。学校では普通に歩く時はもちろんのこと、階段の昇り降り、トイレにおいても実行した。大変な味な方法であるが、着実にジャンプ力では、「もう一センチ」という言葉を目標に頑張った。

実際に効果が現れたのは、三年後の高校一年の頃だったと記憶している。

体力とは何だろうか。高校の時に考えた事がある。私は、体力とは「強い筋力の保持である」と考え、各部分の筋肉に力をつけるように努力した。その為には「走り」ということであつた。

例をあげると、重い荷物を持ち上げる時には「よいしょ」と一気あげるのではなく、まず膝をわり、しゃがんでその形のまま、つま先から順次力を入れていき、持ち上げるというように分らないが、事実それを行つてからは大脚部が太くなり、力がついたようである。

私は、スポーツ理念やスポーツ学については、これといった知識もないが、各人が自分の為に色々工夫し、その上で体力増強に最も効果があると思える手段で行うのが一番だと思つた。これからは、自分の為に自分に合った方法を体で鍛えるためにも、バレーボールを続けて行きたい。

ゴルフをする前は、週休といえは、自宅をゆっくり寝ているか、パチンコをやるか、映画を観に行くぐらいであつた。そのうち折角の休みに、自宅でゴロゴロ寝ているのが非常につまらない様に思えてきた。

走る・汗をかく
丸尾保之
課題と内容が一致するかどうかは別にして、「体力増強」ということについて私の考えていること、実行していることを述べてみたいと思つた。

人間の体力というものは、普通の人であれば二十歳前後を頂点として衰えて行くのではないかと、健康が保持され、ひいては体力増強につながるのだから、思つたに実施していることは「汗をかく」ことである。

走ることは体力増強の基本である。毎日の早朝ランニングというように朝ランニングと、夕方ランニングと、午後のランニングと、いろいろな場合、暇をみつけて走るように努めている。老化は足からくると言われる。従つて走って足を鍛えることにより、若い人には体力が増強され、そうでない人であっても体力低下の防止につながることは間違いないと思つた。

走ること以外でも、身体を動かして汗をかくことを惜しまないことである。登山もよい。ゴルフもよい。そこで私は「走る」ということと「身体を動かして汗をかく」ということで、体力の維持・増強をはかっています。今後も健康体である限り、年齢と体力に合った方法、続けていきたいと思っていますが、体力と老化の関係については、体力と

同年代の人でも、若さを感じる人と、そうでない人がいる。それは年をとっても身体を動かしたり、汗をかいたりすることをお忘れしないで、実行していただくか、か、違いたくないだろうか。また、いわゆる燃えている人は、「目」が生きており、身体から熱気を感じるものである。そして常に物事を考えたり、本を読んだりして脳に刺激を与えていることが脳の防止策となり、老化防止につながるのではあるまいかと思っております。

反対に身体を動かさず、汗を流さず、考えることもしない意識のない人は、体力も気力も衰え、老化もそれだけ早いのではないだろうか。そこで治安最後の岩である我々機動隊員には、各種出動事案からもわかるように、「強じんな体力」が必須条件である。体力の向上を図ることは、仕事そのものであると思っております。

私はこの単の二機に比べても、なく三年にわたって、皆さんに紹介するよりも特別な事は無いが、ただ私は少々肥り気

味で、それを少しも改善しようとして現在ジョギングに励んでいる。小学校から中学校にかけて、私は両足の踵と膝を悪くし、体育の授業はほとんど見学。一時は歩行が困難な時期があった。その頃からアブクと肥りだし、警察学校入校時は、体重が七十五キロもあった。入校中の夏には、一時七十七キロまで減ったが、体質は変わらずに赴任する頃には再び七十五キロに戻ってしまった。



2中隊巡査部長 中島 健 蔵

洋上大学に参加

埼玉県警察機動隊

洋上大学は、船の上での共同生活を通じて自己を啓発、次代を担う者としての自覚を持ち、青少年活動の促進を図るリーダーとして養成することを目的とする。短い船旅ではあるが、新しい

体験をし、新しい考え方に接することの驚きや感激を味わう。そして周囲のものを見直し考え直すきっかけが得られる。「他国を見れば見るほど、私はいいよ私の祖国を愛する」といった言葉も分かってこよう。

足腰の強化にはもってこいだ。まして初心者のうちは、ボールが落ちたに飛ぶので走り廻らなければならぬ。体力に自信がある者でも、三ホール位廻ったところで息切れする位である。ゴルフをして得られたものは、マナー、友人、忍耐、そして何よりも夏バテをしなくなられたことである。

私は毎年、夏になると夏バテをして体重が普段より四五キロ減って風邪をひくような事もあった。しかし、ゴルフを始めからは、病氣等一切からなってきた。

これからは休みだからといって自宅に閉じこもらないで、体を動かす事を積極的にやって行きたいと考えている。



を動かす事を積極的にやって行きたいと考えている。

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

感謝するにたいである。洋上大学に参加できて、一番良かったことは、多くの同世代の若者四百人と十日間同じ船に乗り、同じ環境で過ごし、多少の船酔いがあったものの大いに語り合えることができ、多くの友を得ることができたことであつた。

十日間の生活の中でゲーム、サイパンまでの行き帰りの船内士で議題を設定し、討論会等々、始めの内は堅苦しく思っていたが、やがていつの間にか段々めり込んできて、とても有意義であつた。

参加者は、十八歳以上二十五歳以下(四月一日現在の)埼玉県在住の男女約四百名、男女の割合は、半々くらい。この十日間で数多くのカッパルが誕生した。十日間は長いような短いような……。人それぞれ感じ方の違いはあるが、船にゆられて深まった友情をつまみつつも、大いに楽しめたと思つていい。

船内の売店には、免税品(洋酒等)が置かれてある。昼間は討論会等が多く、酒は飲めないが、夕食を済ませると親しい(宴会)が、連日連夜行われ、日頃、口に入れたことのない酒が潤滑油となり、無口である私にさえも心ゆくまで仲間と語り合ふことができ、充実した日々を送ることができた。

「百聞は一見に如かず。百聞は一体験に如かず。我と思われ方、来年はあなただけの番だ。ものおしせよ。参加してほしい。青春の良き思い出を一杯残すことができたら。」

集団(共同)生活をするとは何と云つても、自分自身が驚くような気がしてならない。そして、他人に対して「思いやりの気持ち」が培われる。「思いやりの気持ち」が培われる。この洋上大学に参加したことにより多くの友を得て、「切磋琢磨」の言葉の意味が体験できたような気がした。

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

十日間の洋上大学を振り返って本心に参加して良かったと思つてみる。

第一に、私の出身は宮城県なので親戚が果内にはいない。まして果内は友達となく職場以外にはほとんどいない。そんな中で多くの人と知り合いになり、友達が出来たことは大変に意義のあるものだ。

第二に、この船旅において十日間という長い船旅ができると思つてもよくなかつた。俗に船旅は「暇と金」がなければできないと言われているがまさにその通りで、私の長い人生における、今回のような旅行はもう二度とないと思つた。

最初は一回の事前研修会で同じ班の人達を見るにつれて、果たして十日間、一般の人達とまじり行くのだろうか。また、話が合わないのではないかと気が配れた。

出発の日、みんな知らない顔を持ち乗船した。日がたつにつれて研修中の一つの課題が決まるとそれに向けて、みんなが真剣に議論をかわし、自分の意見を出すにつれて、「みんな同じ考えを持っていくんだなあ」と思つた。

私は、心を大きく開くことが一番大切な事ではないかと思つた。案の定、私から問いかけることになった。その話題に対して、真剣に答えてくれた。それからの中に入り込めた。

また、私の職業について話してみるとみんなは、警察の立場の難しさを話してくれ、研修が終わり、別れの日、知り合つた人達に涙を今後とも忘れず、よく協力者として交際して行きたいと思つている。

青春は二度とこない。良い機会なので是非洋上大学に参加してみたい。どうだろうか。「何か大切なもの」を持って帰れることを確信している。



会計係巡査部長 千 葉 治

昨年、洋上大学に参加した人の感想を聞いて、「よし、私も参加してやろう」と思ひ、申し込んだ。私の手元に参加決定の通知が届いた時は、宝くじに当たつたやうな感じがした。

参加者のほとんどは、何らかの青少年活動を現に行っている人達ばかりで、同じ班員に、「どのような活動をしているのですか」と尋ねられると、「開いた事はありますが……」と答えるだけで私の手は汗が冷たかす。当然のことだが、合うはずもなし。「場違いなところに来てしまった。先が思いやられるなあ」と思っているうちに出航の日が来てしまった。

いざ乗船すると思えるのは広大な空と海。それに水平線、海の雄大さに魅せられて、そんな気持ちとどこか飛んでいった。しばらくの間は海の広さと美しさに感動していたがそれも束の間、今度は船酔いのため二日はど寝込んでしまった。あの時は



2中隊巡査部長 田 治 誠

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

洋上大学参加の申し込みをしてから二か月後に突然、私の手元に決定通知書が届いた。嬉しい反面、不参加になる人がいると思うと、その人にすまないとも思った。

今回、洋上大学に行くことができ、まず上り、同僚に

目標にまっしぐら

警視庁機動隊



目標があるからこそ、人は生きがいを感じる。目標を持たない人は、やがては零落する。明治維新期の学者春日潜庵は「人生劈頭一個の事あり、立志これなり」と述べている。

若い機動隊員諸氏の中から年男にそれぞれの目標を語って頂いたが、「志有る者は事竟なる」で、各位のご健闘を切に祈っている。

試験と貯金

一機 筒井裕二

誰にでも目標というものがあろう。その目標は、人によって違い、人生のこと、仕事のこと、いろいろの目標に向って歩き、走り、つまずき、つこび、時に笑ったり、泣いたりして、つひつとつちかちかしていきのめだ。私は、昭和三十四年(安永)生まれの若者で、二十四回目の誕生日を迎えようとして、突進する動物で、その猪にあやかって、だれを見ても振りかえらず、前だけ見て突進していく、こんな気持をモットーに、これから自分の人生を悔いのないよう進んでいきたいと思っている。

当面の目標は、機動隊での巡

査部長試験合格とある程度の預金額である。

試験は第一に「自分は絶対に合格する」という気持ちを持つという前からの弱気では、とうてい合格はあつたかならぬ。

第二にシートアンサーなどの練習問題をくり返してやる。過去試験に出た問題及び出題の問題をくり返してやることにより、試験の傾向を知ること。第三にシートアンサーに合わせ警察法合集を徹底的にやる。警察法合集は関係法令と運用規定が詳しくのっているため、これを勉強したい。

つぎに貯金の方だが、これはどうしても独身だといふお金を使ってしまう、貯まらぬのでしっかりと生活設計を立て、出納帳をつけるなどして浪費を

四つの願い

二機 渡辺一夫

僕も、将来のためにまっしぐらに努力する。目標が達成できるような年男にならなみ前進、突進していく覚悟だ。

間もなく二十四歳になるという二十歳の頃、子供達から「おじさん」と呼ばれた時、「私はおじさんではない、おじさん」と呼ばれると、心よく返事をしようとなつてしまつた。

俗に言う「一年男」の私の夢を抱負を述べさせていたたくと、第一に夜間大学を卒業すること、現在、国士館大学二回生である。勤務時間の関係で出席回数あまり思わしくないが、己にやる気があれば必ず卒業できると信じている。そのために少しでも時間があれば学校に行っている。学友のなかには途中で断念する者も少なくないが、私は卒業できるようにやりぬ。

第二に貯金だが、現在の額は自分の目標に程遠い。しかし、心掛けた貯蓄で走れるはずなので、うさぎと競走する鳥のようになり、あせらずコツコツと貯めていくほかはな。

第三に昇任試験合格である。これは隊員全員の願望であると思ふが、努力せずして成功は無し、といわれるように、勉強しないで合格したいという者は、いつまでたってもたまたまの願望で終つてしまふ。機動隊に在籍中に合格できるよう努力したい。

第四に結婚問題であるが、これは身を含めて若し独身隊員として生活してはならない。男ばかりの職場で、女性と接するチャンスが少ないため、自分にあふさむ女性を得ることは容易なことではないと思ふ。私は、

我がラグビー人生

三機 林 敏則

マスクがさほどよい方ではない。しかし、性格は人並み以上に上といふ思っている。これを生かして二十六歳までは必ずや理想の女性を見つけたらと思つている。

以上四つが私の夢、抱負である。人間は誰でもそれぞれその夢を持っている。だからその生き甲斐のある人生を送れるのはなからうか。現在、私は第二機動隊の一員として、一日一日に生き甲斐を感じながら、また四つこの夢を抱きながら、一度とない若さの特権を大に活かしながら、猪にあやかって目標にまっしぐら突進したいと思つている。

昔から支年の人は、猪突猛進型の性格の者が多いといふ。私もどちらかといえば猪突猛進型の方である。現在、私は警視庁ラグビー部マネージャー兼コーチとしてあり、今年で社会人としてのラグビー歴は通算十六年目を迎えようとしている。ラグビーは激しいスポーツだけに猪突猛進型の私にはピッタリのスポーツといえるかもしれない。ラグビーは広いグラウンドで、双方十五名づつ選手が入り乱れて一個のボールを追う。このラグビーには常に「平常心」

「犠牲心」が必要である。なぜならボールを持った時の選手の一瞬の判断の良し悪しで即チ相手の攻防を逆転する結果となり、その一瞬の判断をより「ベター」なものにするためには、「平常心」が最も大事であり、かつチームの勝利に不動のものにするためは、時に犠牲的精神を発揮しなければならぬ。そこで、

一 平常心を養う
私は趣味として書道愛好している。心を紙の上で上げ、筆一筆、心をこめて書き上げていく。半紙に向つたときは心を無にして、書くことに全力を傾け集中できるように心がけている。それは思ひがけのないディフェンスと相対したとき、また体力の限界のとき等より困難な状況下において、いかに早く早く正



確な状況判断で対処できるかを養う最もよい方法であると思ふ。

二 犠牲心を養う
ラグビーは一人でプレーするスポーツではない。十五人のプレイヤーが心を一つにして連携を密にしながらトライを取る。一つのトライを取るためには、誰かが犠牲になり、チャンスを作り、同僚にバントタッチをトライに結びつけていくのである。このように犠牲心はチームが勝つために必要不可欠なものである。

最後に、今年も我々ラグビーにとつて、また苦しい長い一年が始まることになっている。妻帯者は家庭を犠牲にして、単身者は遊びたいであろう休日や返上し、ラグビーボールを追い続け、青春の一時を燃焼し、ラグビー訓練からいらいらすることを学ぶ毎日である。

精進して颯爽たり、省りみる時の微笑み

知的な猪

四機 飯村幸夫

去年の「一猪」は「猪」と同意語で、「猪」といふは「猪武者」(猪突猛進)などの言葉に使われ、無欲飽で思慮のない者の代名詞となつてゐる。しかし、私は自らのために、猪という言葉を利用して、猪といふ言葉を「情熱」を表わす言葉ではないかと考えている。

その一つは、巡査部長昇任試験に合格することだ。今までのように自分に甘えていたのでは、絶対に部長試験合格という目標を達成出来ぬと思ひ、心機一新、機動隊を希望し、昨年十月に第四機動隊に着隊した。ところが機動隊は三年間という時間しか与えてくれない。この短い期間で目標を達成するには、毎日自分が自分に対する戦いである。これによって自分自身を歩みを進め、人生の歩みを進め、どんなに苦しいときも歩かなければならぬ。背水の陣、自分には後がないのだと肝に銘じ、日々勉学の努力を怠らざ頭張っていききたい。

次に、私は機動隊生活を通じ、自分という人間を大きくしたいと思ふ。わが第四機動隊は「鬼の四機」と異名を持つほど訓練等も激しいところだが、反面「仏の四機」ともいわれ、強い中にも優しさがあり、私も誇りに思っている。この栄えある四機隊員として、恥ずかしくない人間性を養ってみたい。元来引つ込ん思想の私であったが、機動隊生活に慣れるに従い、自分から積極的に入ることになり、自分と違つた考えを持つた人、自分と違つた考えを持つてゐる様々な人と接し、語り合ひ、その中から自分の心の糧となるものを取取っていききたいと思つている。しかし、得ることばかりを望んでいたので、人は離れていってしまう。どんな小さなことでも人に感謝を与えることが出来るよう人間となるため、私は苦学をいとわず、自分と与えられた任務を確実に果たし、難關を乗り越え、人間として成長していききたい。

私はこれらの努力が、ただ単に猪の如く猛進するだけではなく、豊かな人間性と知識をバックボーンとして、知的な猪になつたいと思ひ、精進していく覚悟だ。

機動隊の中堅として

五機 佐藤良一

今年で二十四歳になる。この年になるまで特別に目標というものを立てることもなく、毎日

だらだらとした生活を通じてきたように思う。今年、年男にしようと思ひ、気持ちを新たにしようと思ひ、目標を立て、頭張る覚悟である。具体的な実践方策として、

一 気力・体力の練習と健康管理
機動隊員として、気力・体力がないうことほど恥ずかしいことはない。週休等の余暇を利用して、マラソン・柔剣道などを取り入れ、機動隊員として恥ずかしくない気力・体力を養いたい。怪我・病気をすると自分だけではなく、他人にも迷惑をかけてはならない。普段から暴飲暴食を慎み、規律正しい生活をし、健康管理に注意していききたい。また各種警備にあつては常に真剣に取組み、受傷事故防止に努めていききたい。

二 貯蓄の励行
社会人として貯金がないというこは恥ずかしいことではない。人間としての信用がなく、辛惨である。これから、計画的な貯蓄を行い、無駄使いを慎み、貯金に励んでいききたい。

三 巡査部長昇任試験合格
これは私の着眼当初からの目標である。機動隊は勉強する環境に恵まれてゐる。この環境の中で計画を立て、毎日継続して勉強を行い、必ず巡査部長昇任試験に合格し、胸を張って退隊したい。

四 機動隊中堅としての自覚を持つ
機動隊は、組長がまとめ役、中堅がみんなを盛り上げ、引つぱつていくものだと思つている。これを実行するためには、自ら手本となり、積極的に仕事に取り組んでいかなければならぬ。また、組長の意向を後輩らに伝え、後輩の意見や、要望を組長に伝えるパイプ役としても頭張つていききたい。

残された隊期間を目標に向つて精いっぱい頑張ら、そして「学」の五機、精進の五機」の伝統を後輩に引継いでいききたい。

裏方に徹する

六機 佐々木孝明

「さる、馬を出せ、さるよ、太刀を持って」ご存知のように豊臣秀吉が織田信長の草履とりをやつていっかりした目標をたて、私はこの豊臣秀吉を最も尊敬する。秀吉は人に仕える時代が長かつたためか次のことを言つてゐた。

まずはよく働き、よく学べ。人からやれといわれたら快く動く。知らないときはよく聞き、教えてくれないときはよく方法を盗め。そして自分の頭を最大限に使え。次に主人より決して目立ってはいけない。最後に失敗を恐れず進め。人間には失敗が氣にしないようには人間として使ひものにはならない。

秀吉は自分の肌で感じ学び、つたものと入れ、とうとう天下を手にして英雄になった。百姓から天下人になつた秀吉、その過程には我々が想像も出来ない苦勞があつたはずだ。

さて、我々警察官は天下人とまではいれないが、都民の平和と幸福を願ひ気持ちは秀吉と少しも変らぬと思ふ。

三 巡査部長昇任試験合格
これは私の着眼当初からの目標である。機動隊は勉強する環境に恵まれてゐる。この環境の中で計画を立て、毎日継続して勉強を行い、必ず巡査部長昇任試験に合格し、胸を張って退隊したい。

四 機動隊中堅としての自覚を持つ
機動隊は、組長がまとめ役、中堅がみんなを盛り上げ、引つぱつていくものだと思つている。これを実行するためには、自ら手本となり、積極的に仕事に取り組んでいかなければならぬ。また、組長の意向を後輩らに伝え、後輩の意見や、要望を組長に伝えるパイプ役としても頭張つていききたい。

残された隊期間を目標に向つて精いっぱい頑張ら、そして「学」の五機、精進の五機」の伝統を後輩に引継いでいききたい。

年男の意気込み

七機 池田行夫

私がふと思いつくことがある。それは祖父である。一人の一生で男は二十五歳、四十二歳、六十歳、女は十九歳、三十三歳が厄年だ、といわれたことがある。

厄年、前厄、年男等、特に何の影響もないのだと軽い気持ちでいた私であったが、この頃いろいろと考えさせられる。警察官を拜命してから四年近く、過去を振り返ると、今までに私は「これだ」と自信を持って答えられるか、また努力が果たかどうかが、反省すべき点が多い。

そこで、私の目標はやはり第一に巡査部長昇任試験という壁を突き破ることである。人の数倍の努力をし、苦しみ抜いた末に最後に合格の喜びを味わえるものだと思う。

先日「ロッキード」の映画を鑑賞した。主人公がボクシングのヘビー級チャンピオンに挑戦するため、挑戦を相手が極度に強いため、挑戦をやめようかと悩んだ。しかし出場を決めて猛特訓を開始した。主人公は栄光を掴むのではなく、自分自身のために汗を流し、そして勝利を掴む。やれば出来るという一シーンを見せられた。

これはあくまでも映画のひとつコマにすぎないが、私は巡査部長昇任試験にチャレンジして誰のためにもなく、自分自身のために勝利を掴みたいと決意を新たにしている。



後ずさりしない

八機 梁木幸司

昭和五十六年十月に第八機動隊に着隊して、二年目に入った。今までを振り返ると、一人前の機動隊員になるべく頑張ってきたが、その目標到達まではまだ遠い。その目標としては、猪のうらに、がむしゃらに猛進して、仕事を流す自分なりに満足できる成果をあげることである。

仕事で汗を流すには、先輩として恥ずかしくない体力、気力を養い、後輩に対して、自信を持って指導できる立派な先輩になるべく警備訓練等に励みたい。そのためには、先輩に教えられた基本を一度思い出し、初れば応用はきかな。基本を知った上で基本理論を念頭に置き、応用訓練等を重ねるべきである。

勉強で汗を流すにあたっては、巡査部長昇任試験の合格を期したい。「勉強は王道なし」ということわざがある。毎日毎日積み木を重ねていくように、コツコツと勉強していくつもりで、猪のように後ずさりすることなく、目標に向けて前進するのみだ。一間でも多くのショートアナーを解き、ページでも多くの参考書を読みたい。

私生活で汗を流すには、猪突猛進するよりも、時々立ち止まり、自分の生活を見つめ、反省しながら生活を送っていく。迷った時、疲れた時、つらく苦しい時などは、いったん立ち止まり初心にかえってみよう。決して後ずさりはしない。

悔のない青春

九機 才原豊

二十四年の歳月の中で、私自身どのように成長したかを考えるときがある。同年代の友人の中には、結婚し家庭を持ち、父親や母親になつてきている者、巡査部長昇任試験に合格している者等さまざまだが、このように入道と自分自身を比較する時、ふ

文武両道

特車 武田幸夫

「昭和五十八年」は私の年生まれてから二年度の亥年である。人生の一つの節目として「本年は何かを成し遂げなければいけない」と考えている。今ここに決意と目標を掲げ、猪突猛進したい。

「何かを忘れていない」と考え、思いあてたのは「目標」ということであつた。警察学校を卒業して二年半、その時々の最善を尽くしていても、人生そのものの大きな目標も持たないまま過ぎてしまつた。たうと思える。本年は、私自身の生涯を左右する重要な年であるといつても過言ではない。何でもよい、何か少しでも自分をより高いところへ上げる努力をしたい。

「悔いのない青春を過ごせよう、青年、二十代、今何をなすべきか」と考えた時、思い浮かべたのはやはり「巡査部長昇任試験合格」ということだ。機動隊という十二分に恵まれている環境の中で、共に勤務する仲間と切磋琢磨し、巡査部長昇任試験合格と誇り、巡査部長昇任試験合格と目標に向けて努力していくことこそ今の私にとって最も重要なことである。

自分の人生は自分が主役であり、決して他人のせいではない。それなりに苦しい時もある。しかしそれに挫折してしまわない人間にはなりたくない。自分の納得の行く人生を生きたいのだ。そのためには、今年こそ自分がたてたこの目標に、少しでも近づこうと最善の努力をしたい。「猪突猛進」を見ては悪くとも、自分のたてた目標は悪くとも、突き進んで行くことこそ、私にとって悔いのない青春を過ごせることだと信じている。

文武両道

特車 武田幸夫

「昭和五十八年」は私の年生まれてから二年度の亥年である。人生の一つの節目として「本年は何かを成し遂げなければいけない」と考えている。今ここに決意と目標を掲げ、猪突猛進したい。

警備部隊視閲式を開催

岡山県警察機動隊

岡山県警察機動隊は寒風吹き荒む一月、県警察学校グラウンドで恒例の警備部隊年頭視閲式を開催した。

飯島警察本部長の視閲を受け、県公安委員の来賓、本部長、課長、各警署長の見守る中、黄江機動隊長の指揮の下、岡山県警の精鋭機動隊、管区機動隊等が大規模な遊撃隊活動要領等の気遣い満ちた訓練を次々に繰り広げた。

災害救助活動等に活躍するアクアラング、レンジャー、レスキュー等の機別を先頭に、各部隊の気概と自信にあふれる堂々の分列行進を行い、今年の出発姿勢に取組む決意を示した。

視閲官が「益々厳しさを増す警備要務に即応する警備部隊の中核として頑張ってもらいたい」と訓示、公安委員長は「治安維持に際しては、隊員一人ひとりの士気の高揚及び融和団結を図るため実施されたものである。同県では海がなれたためか、勇壮な冬の海をこの希望が多く三重県熊野市に決定した。

魚つり大会や鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

明日への士気高揚―熊野路巡り―

奈良県警察機動隊

奈良県警察機動隊は、土・日を利用してさきほど一泊二日の隊内レクリエーションを行った。

これは日頃警備訓練、出勤等に励む隊員の慰勞と明日への士気の高揚及び融和団結を図るため実施されたものである。同県では海がなれたためか、勇壮な冬の海をこの希望が多く三重県熊野市に決定した。

魚つり大会や鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

魚つり大会や鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

魚つり大会や鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

雑草ラグビー部が花開く

大阪府警察ラグビー部

機動隊は強くなつてはならない。「頭脳を体力、旺盛な闘闘をチームワーク」が培われる。

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部

大阪府警察ラグビー部

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部

大阪府警察ラグビー部

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

大阪府警察ラグビー部は、この冬の大会で鬼ヶ城・那智の滝等の名所を巡り、熊野路の自然風土を心ゆくまで楽しみ、小旅行を終えた。

読者の広場



ギリシヤ・ローマを旅して

高橋重廣

ワイフと初めて海外旅行に出かけた時、未知のものへの好奇心と、仕事からの解放感もあって大変楽しかった。それが病みつきとなって、爾來幾度も旅行を重ねてきた。

その思い出の中で、他の地方よりなんとなく西歐にひかれるものがあるのは、西歐文明を現地でたどる事ができるからであらうか。

幸せにもエーゲ海に旅する機会があった。エパソス御による所謂「千世紀の発見」によって、西歐文明発祥の地と確認された彼のクレタ島に行き事ができた。ミノラ文明遺跡の中心地クノッス宮殿は、折柄の朝日にひときわ映えて見事であった。斜面を利用して建てられた四階建のこの宮殿が、今を去る五〇〇〇年前のものであることは驚異である。わが弥生時代(紀元前三〇〇年)紀元後三〇〇年のもとは、既に天地の差があるし、壁面のバリジェニス又は現代的な水壁に於て、我々に強く迫るものを感じた。アトランテイス大陸をも陥没せしめたという巨大な地震によって大被害を受けたこの文明はギリシヤに継承されることになる。

我がギリシヤの歴史博物館に於て見たボセイダンの彫刻、戦車前の戦車手などは、ミクロのビーナス、サマトラケのニケとほぼ同時代の同一水準のものであって、その素晴らしさは想像



歴史の一大偉傑である。紀元前一世紀に至り、ギリシヤがローマの支配下に入るに及んで、このギリシヤ文明が次第にローマの文明に深刻な影響を与えたといわれる。

永遠の都ローマとは、何時の間にか、そして水の間私共の脳裏にしみついた言葉であるが、幸いに三度このあこがれの都を訪れる事ができた。

この日は、丁度ローマは休日であった。申し分のない好天気であった。ノミの市をゆくり見学して、テレベ河の上流に於けるポンテモルビオ橋を訪ね、その前の広場の茶屋で昼食をとった。すべての道はローマに通ず、というあの有名な言葉をふと思いついたが、この面白い形をした石橋は、きつとエジプト遠征に発する華々しいシーザーの行列を見送つたに違いない。

卵黄油と私

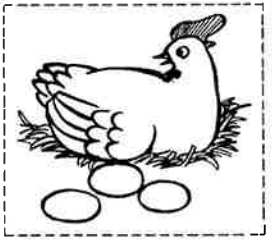
赤木郷八郎

「人間ドックの診断は、どうだった」「耳は、既に老化。鼻の軟骨と背骨は曲り、コレステロールは高まっている。しかし、腎臓はヘルテック時代の三〇年間のものである。思えばこの時代に、歴史士有名な賢人が一斉に輩出した事は、まことに不思議である。即ち哲人プラトン、ソクラテス、アリストテレス、数学者ピタゴラス、その他有名な劇作家など、正に

「君が心臓が弱い? それには医師の診察だよ」それは心臓(精神的)肉体的が弱いとは夢にも思つたことのない私は、成程、医師の診察と云うのは、こういう時に行うものか、妙に感心したものでした。

コレステロールを減らす薬は医師の指示通り飲んで、結果も褒められました。しかし、心臓は悪ければ、治療の必要もありません。心臓が弱い位では、どう仕度もないだろうと、一年位が過ぎました。

その後、上司から、卵の黄味の黒糖の油(卵黄油)が心臓に良いことを教えられ、二瓶いた



又数万軒、数百万軒の彼方からやって来た数多くの民族の使者を、じつと見つめていたに違いない。然し今や黙して住時の事を語ろうとしない。

この橋を渡り直ると、眼前に巨大な五階建のコロセオが屹立している。その右手にコンスタンチヌス大帝の凱旋門があり、更に右手遠くにカラカラの遺跡がある。更にゆるやかなスロープを登りハリアノス帝の凱旋門に至る。

こゝがパラティノの丘の中心腹であるが、こゝからカンピドリオの丘に至るならかなかな谷間があり、フオロロマーノの古代遺跡がある。草むらの中に立並ぶ列柱を眺めていると、これこそギリシヤ文明の延長線上にあると、胸に迫る実感がひしひしと湧いて来たのである。

ほんもの

佐々木一雄

今では講談や小説の世界にかたまりていないが、私たちの子供の頃には、まだまだ職人か技師の頃が、つまり良心的な仕事しかなかったのである。

しかし、良心的な仕事というのは、利益の追求とは相容れないことが多いのである。戦後の社会が、ヤミ屋が肥え太り、マトモな人達が世の中の隅に追いやられるようになった時代が続いて、いつの間にか、利益を得るこゝろだけが善であり、それが手段の如何などは二の次……という情ない風潮になってしまった。

そう考えているところで、たまたま日本清酒者連盟編者の『ほんもの酒をよめなればニセモノを飲んでは』という本を読ませてもらった。

それによると、キムラなどの砂糖の生産地では、砂糖糖ビを搾って砂糖分を取り除いたあとに、真黒いドロドロの「アールトル」状のカス(廃糖蜜)が残る。世界中で年に三千万トンもあって以前は使い道がなかった。日本はこの廃糖蜜の世界

した人に飲ませて、心臓の薬の薬として有名です。また切傷、火傷にも効きます。しかしこれを云うと、「がまの油」とひやかされるので、云わないことにしています。

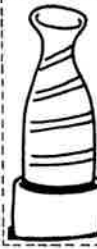
卵黄油は、造るとき悪臭がひどいのが欠点です。飲むときはカプセルに入れたり、冷蔵庫でかためて飲むと、楽に飲めます。鶏卵の黒糖については、静岡薬科大学の先生の論文があり、強心性、抗血栓物質のあること、心あたりの方は、是非卵黄油をおためし下さい。そして毎日、元気で楽しく、頑張ってください。御必要の方は御郵購もいたします。

という次第であるが、私の知り合いにも、ほんもの蔵元がある。とくに、その吟醸酒は一・八リットル当たり八千円以上するが、売れよと売れまいと、ここ二十年來頭を造り続けている。特定の米を六割がた醸造したものを数年以上寝かせてのだが、誰が口に含んでも、こういうほんものが残っていることに安堵する味と香りである。いつまでも続けて欲しいと思う。話をもとへ戻ると、酒ばかりでなく、ほんものは世の中からだんだん消えてゆき、合理性や経済性を追求して行くうちに、ほんものに近い類似品が出来、その類似品が、やがてはほんものを追放して、ほんものだと思われようになってしまう。

天井は貼り板、タイルはプラスチック、祭壇のローンは電燈、習字は墨汁、貼は筆類が当たり前になった。きれいな花を見るに造花だろうと思うのだから情ない。

ところが人間そのものはどうだろう。これも、うわべだけの表面的な人間が増えているように思う。便宜主義が進む結果、子供の教育も、受験テクニックに毒されているようだ。学習塾の繁昌も結構だが、中根さんの学制改革も、その辺に狙いどころがあつて欲しいものである。

『一九七五年に生産された清酒の総量は一四二万トン。そのうち三倍増醸酒は四九万トンで約三五%を占める。残る九三万トンは、その九割以上がアールトル添加(アル添)です。すなわち戦前では全ての酒屋が造っていた米と米麹だけの清酒(本来の清酒)を造る蔵元はいまや百軒ぐらゐに激減してしまつた。全国でも伝統的なほんもの酒をつくるのは三〇〇の酒蔵をこそこゝといわれる。アールトルを添加しない本来の製造法も、今や伝統があり技術のすくなくれた蔵元でないと造れなくなつてしまつたといふから、アールトル話ではないか。マガイモンが本物を減らす典型を見る思いがする。……』



お知らせ

- 当助ます会の第七回通常総会および懇親会が来る六月十四日(火)東京千代田区町一―半蔵町会館にて開催されます。昭和四十九年三月に任意団体団法人の認可を受けた昭和五十二年からは第七回目の総会になります。開催時間は次号の本誌でお知らせしますが、振るってご出席下さるようお願いいたします。
- 治安守る若人
 - 明るい機動隊
 - 新東運輸(株)
 - (株)周東商会
 - (学)嘉悦学園
 - 岡部(株)
 - 光洋商事(株)
 - 日誠総業(株)
 - 高周波熱錬(株)
 - 姫田清美
 - 高島浩一
 - 西戸栄一
 - 国見山(株)
 - 加納保成
 - 松田鉄鋼(株)
 - 伊勢湾海運(株)
 - 大和重工(株)
 - 堀口海運(株)
 - 豊鋼材工業(株)
 - 中条鋼材(株)
 - 金廣鋼材(株)
 - 北海鋼機(株)

今月の言葉

諸行無常は、仏教の教義の根本的なもの一つであるが、諸法無我、涅槃寂滅と共に、三法印と呼ばれる。この世にあるものはすべて刹那の間に転変推移して、常住不変なものはない。人の身も、世間も、草木、国家も事物も、みんな刹那に生滅し、死滅転変から逃がれる事出来ない。流転の中に住む人間は、目の現象に迷わされて煩惱を消すことは出来ないが、この三法印の理法を覚えれば迷いは消え、心身の動揺が止むという。これが悟りの世界で、早く迷いを捨てて悟りの世界に入ると説くのが仏教の根本の教えである。

この考えは仏教の特色であるが、これと似た考え方は西洋にもあり、ギリシアの哲学者ヘラクレスが提唱した言葉に、「パンダレー」という言葉があり、何事も有るのと

は常に成るのみで、万物は流れ「変動して」やまないという意味で、万物流転の言葉に相当する。ヘラクレスに依れば、すべての物は永遠の流れ、不断の運動と変転のうちにあり、その不変は実在そのままでなく、その似姿として考えられる対象にすぎず、何物も同じものとして滞りせず、増大し減少し他のものに変化し推移してゆく。すべてからすべてが生まれ、生かすものが生まれる、只、変転、生滅の過程だけが永遠であるとするのである。

諸

又、論語にも有名な「川上の嘆」で愛弟子の顔回が死んだ時、孔子は嘆くだけですべし、後継者に先立たれた天命でいかんがたいと、「子、川の辺に在りていづく、逝く者はかくの如きか、昼夜を舍かず」とあり、無常観と共通する思想は、洋の東西人類共通のものである。観念が一般民衆の常識にまで広が

行

諸行無常を言まふ言葉をもって敷衍したものである。この歌は同じ七文字を二度使わない歌であり、この性質が利用され、かえり、いろは順という様な整理の仕方も生まれた。諸行無常と云う様な観念が一般民衆の常識にまで広が

無

れはもとと寺より出て一般化したものであり、寺家の音楽声楽は、日本音楽史の中で有力な一つの流れをなしているが、根本に宗教を目的とし、一般市民もほとと化したものであった。

常

この様に底流の宗教家によって流布された唱導の音楽や声楽が、歌念、佛、祭文、説経、浄瑠璃等を生む温床となってきたといえる。

諸行無常といふ、万物流転といふ、この考え方が、現実否定から出発している。消極的な人生観や世界観に通じやうと思われるが、これらも、無常観の日本の特色ともいえる。時代を通して文学的作品の悲劇的アビールの醸成や今日に至るまでの民謡や流行歌の、一般民衆に最も喜ばれるものにも大きく影響を与えている事は見逃がせない事実である。

機動隊が真価を発揮

警備万全



エンタープライズ デモ平穩に

米原子力空母エンタープライズが随伴艦とともに三月二十一日から二十五日まで、佐世保港に寄港した。四十二年一月以来十五年ぶりの再寄港である。前回の初寄港にあたっては、佐世保市民球場に五万人を集め九反対運動で、衝突、流血騒ぎ等五百人近い負傷者を出しただけに、佐世保市民に十五年前の思い出をよみがえらせた。今回は前回の激しい攻防を繰り返したデモはなかったが、それでも三月二十一日には中核、第四インター、革マルなど過激派を含む約一万人が集結して「エンブラ寄港阻止」「佐世保軍港化反対」と終日騒音に包まれた。

一方で右翼団体も四十七団体、約三百四十人が車輦約七十台で「エンブラ歓迎」を叫んで市内を走り回った。もともとトラブルは少なく、



十五年前と違って、平穩な寄港に終ったが、これというのも徹底した警備の統制である。今回の警備に際して長崎県警は、ピークとなった二十一日には、県内から機動隊員等警察官千五百人、また近畿・中国・

四国・九州各管区機動隊および九州各県機動隊千五百人、合計三千人の出動による警備態勢をしいた結果、混乱がくい止められ、一般市民もほとと化したものであった。

警備隊は政治を敏感に反映するといわれるが、集団警備の中核である機動隊では、これらの事象に的確に対処していくことを最大課題としている。

わが国の治安を守り、社会安定のために、各隊員は治に居て乱を忘れる精神で厳しい訓練に耐えているが、その治安のプロの活躍が、三月のエンブラ寄港デモを完全に封じ込めた。

災害救助に備え

警視庁機動隊対抗レスキュー競技大会

警視庁主催による機動隊レスキュー技能競技大会が、去る三月東京都府中市の東京競馬場駐車場で行われた。

この大会は、過酷化したマンモス東京で日夜発生する火災、交通事故、ガス爆発及び水難事故等年間約三百三十件(出動人員三千五百人)の救助活動に活動しているレスキュー隊員の「気力・体力の錬磨」と、特殊な災害現場を迅速確実に駆使できる「高度な技術の向上」を図る目的で、毎年一回、警備部長杯をかけて、機動隊対抗の形式で実施されているもので、今回が第三回目である。

競技は、次の五種目の団体競技と個人競技で競われた。

一、ロープ結束競技 各隊選手八名が一組、二つのロープ(小綱)をパイプ欄に二廻り二結びなど指定された結び方で、しっかりと確実に結び、リレー形式で競うもの。

二、工作器具材操作競技 各隊選手四名がそれぞれ「エンジンカッター」「チェーンソー」「エアソー」「エアリッター」を操作し、確実に鉄板、角材などを切断してリレー形式で競うもの。

三、渡橋競技 各隊選手五名が三台の警備車の間に展開した長さ二十メートルのロープを「モンキー渡り」と「セーラー渡り」で復して、リレー形式で競うもの。

四、体力競技 各隊選手二名一組でスタートし、高さ三十メートルの障壁(飛び箱)を乗り越え、長さ十二メートルに展開したロープを「セーラー渡り」で渡り、次に、二名によりロープで結束した大型タイヤ二個を三メートル大引張つた後、一人が他の一名を三メートル「背負搬送」してゴールするという、まさに体力を競うもの。

五、登山競技 各隊選手七名が高さ八メートルの壁面をロープによりフットロックで結び、リレー形式で競うもの。

以上が団体競技だが、個人競技は各隊から代表二名が選出され、「ロープ結束」「工作器具材操作」「渡橋」「担架組立て」「背負搬送」のすべてを一人で、

新幹部が抱負語る 警視庁機動隊



今年も新旧交代、異動の時期を迎えた。貴重なベテランが借入れられる。除隊、そして新人が警務隊務に培われたいと希望する。新機動隊員が誕生する。指導する新幹部も、重責を果すべく初心に燃え、それぞれが語った。

治安の先兵を自覚

第四機動隊長 佐藤 隆雄

機動隊勤務は、昭和三十九年の東京オリンピック当時以來、すなわち二十二年振りになります。排気ガスに悩まされ、昔の幌付機動隊と比べると、現在のバス型機動隊の比較に示されるように、車輦も装備も二十年前とは比較になりません。この間、実戦の教訓を生かしながら開発、改良に努められ、先鋒の苦勞に深い敬意を表したいと思います。

反面、機動隊の機動隊たる所以のもの、すなわち若さで情熱と団結、そして治安の尖兵であることの自覚、誇り、いさよかも変わることを、脈々と引き継がれ続け、その眼のあたりにして、本心に身を引くべき思いです。

なまなまに活を入れ、初心

積み重ね、目をぶらぶらでも特種の機器を誤りなく操作でき、「音なきに聞き、姿なきに見る」心眼を得るよう、若い隊員と共に智慧を出し、汗を流して頑張りたいと思います。

自己の限界に挑戦

第一機動隊副隊長 高尾 弘

機動隊勤務は五年ぶり四回目であり、初心にかえって頭張りたたいと思えます。よく機動隊のことを、「修業の場」「道場」と言います。自己の限界に挑戦し、自己の可能性を引き出すには本心に燃えたいので、まさに「男の志士」を追求するところだと信じております。

やや衰えはじめた体力をもう一度鍛え直し、柔軟な思考力を培い、いざ鎌倉のとき真に役に立つ機動隊員をめざして、奮闘努力する覚悟です。

いよいよという時に

第二機動隊副隊長 伊東 尊司

機動隊に勤務させていただき、この日は四回目ですが、このうえない感激と反面、責任の重大さを痛感いたしました。

草木は小さな芽に植えられていたのでは大きく育たず、土壌が悪ければ成り育たず、土壌が肥えれば成り育ちます。大地にしっかりと根を張り、風雨に耐える草木を育てるためには、支え木を当て、不必要な芽を摘むなど、細かく気を配らなければなりません。

人間もおかれた環境や社会構造の違いによって育ち方も変わってくるのと同じです。機動隊は若さ、強さ、団結力が要求される男の戦場であると信じています。大地にしっかりと根を付け、気配をとり、隊員と共に汗を流し、手をとりあって「いざ」という時に、隊長を中心に真の強さが発揮できるように全力投球で任務を達成してゆく所存です。

SMARTで逞しく

第三機動隊副隊長 阿部 東伍

私にとって機動隊勤務は二十

年ぶりであり、当時を振り返って見ると、社会全般の情勢の変化もさることながら、機動隊の装備器材の充実には目を見はるものがあります。木製の防石板を持つて、モ味隊の投石に立ち向い、多くの同僚が傷つきながら連日奮闘出動したあのころを思い出します。共

誠心誠意の努力

第四機動隊副隊長 西沢 良仁

栄光と伝統に輝く機動隊に勤務させていただくことを栄光に思いつく同時に、責任の重大さに引き締まる思いをしております。

機動隊勤務は、四年ぶり三回目になりました。過去、第四機動隊で分隊長として第二次安保闘争警備、第九機動隊で中隊長として連年の成田空港開港警備と、それぞれ激闘を経験し、大変貴重な体験をさせていただきました。

警備のつとを、先鋒・同僚の皆さんから心暖まるご指導とご激励を賜り、育てていただきました。私にとって、機動隊は人間修業の場として忘れ得ない存在です。

今後、皆様のご指導をえながら、諸先輩の築かれた輝かしい歴史と伝統に誇り、誇り、誠心誠意努力してまいります。

共に汗を流す

第五機動隊副隊長 浅井 守

「殿長長官を思う」とい

して訓練に励み、確固たる自信を植えつけて、一朝ことあるに際し、万全を期すよう努める所存であります。

伝統を継承して

第六機動隊副隊長 菅原 克規

六機は発隊時、補給担当として勤務して以来二度目です。なつかしい当隊に副隊長として再び勤務できることは、まるで夢のような気がいたします。

このプレハブとは比べべくもない堂々たる隊舎、数々の戦績等を証す楯形、そして、若殿のごとくキビキビとした隊員の姿などに輝かした歴史と伝統を見、今更ながら、責任の重大さに身の引き締まる思いがいたします。

浅学非才の身で何のとりえもありませんが、隊長の意を体して一致団結し、「強い機動隊」、「力ある機動隊」を目指し、自らを厳しくムチ打ち、隊員諸兄ととも汗を流し、日々努力する覚悟であります。

表舞台に出た喜び

第七機動隊副隊長 馬場 義実

今が初めてであり、昭和四十八年から通算して八年間、警備第一課警備情報の仕事にさせていただきました。常に警備実施の裏方として機動隊の皆さんと行動を共にして参りました。このように関係で、やと表舞台に出してもらったというのが実感であり、喜びのあまりであります。

第一線の警察官におりますと、機動隊は誠に頼もしい存在であります。虎の威を借る狐、虎はありますが、機動隊の力をバックに思ひ切り仕事ができたと感謝しております。

有事に真価を発揮

第八機動隊副隊長 宮原 恒男

機動隊勤務は約十年ぶりですが、若さと活気のみならず機動隊で再度勤務できる感激が倍りつつ、また責任の重さをひしひしと感じているところでもあります。

最近の警備情勢は、複雑な社会の動きを反映して大変厳しくいものがあると思っております。このような状況下で、我々は、常に次に予想される事態を洞察し、如何なるにも対処できる力を備えおくなければならぬと思っております。

私は微力ではありますが若い隊員と共に、隊長を中心に一致団結し、有事に遺憾なく真価を発揮できる機動隊をめざして、努力したいと思います。

責任の重大さを痛感

第九機動隊副隊長 福島 和夫

若さと活気に溢れた機動隊員と共に、すばらしい庁舎で勤務させていただけることを心から感謝しております。その反面、責任の重大さを痛感して、この次第です。太めになった体を徹底的に鍛え直し、隊訓である至誠、真心、力を合わせて努める、(団結)を力に合わせた堅く結び合心を一つにしたいと、副健(屈せず強くたくましく前進する)を全力で実践していく所存であります。

先取の気概

特科車両隊副隊長 柄沢 栄

機動隊勤務は三回目です。一回目は約二十年前の強力ムカデ、鴻巻アモの時代、二回は約十年前で、投石、火炎ビン、爆発物等に当たる武闘時代をそれぞれ経験いたします。

いかなる事態にも的確に対処し、治安の要として頼りになる機動隊を目標に一層懸命努力いたします。

いづれ除隊する人のために

秋田県警察機動隊OBから



誇りと自信

秋田 工藤 忠男

機動隊を除隊したのは、ついでこの間だと思っていながら早いもので、八年にもなりました。除隊後は、本荘署に転勤となり、赴任先は、亀田駐在所のことであったが、上司の思いやりもあって赴任前日、機動隊に別れを告げられたのである。

本荘で機動隊四年、角箱で駐在所二年、機動隊一年、そして現在の新屋派出所勤務してきた。

いづれは現隊員の皆さんも、私と同じような経過を言われるだろう。私の経験を言わせて頂く、一線に出て仕事を早くマスターするためには、何事もおろそかにせず、腰を軽くし、分らないことは恥かかずに聞き切つて、どしどし聞くことが肝心である。そして一度聞いたことは、二度聞かないようには、そんな手間もかからず、人並に仕事をこなせるようになると思ふ。折角機動隊に入れた皆さん方である。

それは誇りと自信を持って、機動隊生活を有意義に過ごして頂きたいものである。

回想

通信司令室 小野 茂孝

私が機動隊に勤務したのは昭和五十三年三月から昭和五十三年三月までの三年間で、機動隊を出てから早くも五年になる。在隊中の三年間の各種訓練や勉強で、普通であればなかなか知ることの出来ない知識や技術

忘れ得ぬ思い出
交通企画課 保坂 康夫
昭和四十二年の春、同期生三人と共に警察学校からストレーナーで、恐怖の機動隊に配置された。一番怖しかったことは、昭和四十二年の全国柔道大会で決勝戦に進み、京都府警と対戦し、

読者の広場



校内暴力

木村 政次

過日ある中学校で起きた教師の生徒に対する刑罰事件を契機として、校内暴力問題が教育の根幹を問いつつあるとして各方面の論議を呼んでいる。

問題は長い時間をかけて醸成された複合的原因によるもので、根柢は深く、即効的対策は残念ながら見当たらないが、これは一時的な強さ、焦らさず一時的に辛抱強く解きほぐしてゆくよう、他に妙案はない。然し原因及び対策は徹底して検討する必要がある。

その原因及び対策として考えられるのは、
一、日教組の反省
今は余程静かになったが、以前の組合至上主義が現在の校内暴力の要因になっていないか。

教師である以前に労働者であるという独自の論理を押し立て、生徒には自習を押しつけ、組合運動に没頭し、又反権斗と称して政治運動に力を入れる一部、上り教師が徒党を組んで校長室に押しかけ、体力的弱者校長をつるし上げ、時に校長の小突き廻し、批判的教師を脅かし、肩で風をきって校内を闊歩した行動の軌跡の投影が、今日一部非行生徒の行動ではないか。

今頃になって、先進国共通の問題だ、高度成長のヒズミだというのには問題すり替えの悪質を責任逃れの言辭である。
二、受験勉強の廃止
探究する事の感動や喜びとは



結婚披露

馬場 綱太郎

ものだ。十二年制とは、一つの学校に十二年間在学し、四年毎に小学、中学、高校と教育を替えてゆく制度である。
四、大学入試制度の改革
大学に於ける試験は入学より進級に力点を置くべきである。所謂留年は認めず、想像を絶する平素の努力なくしては卒業が

陽春を迎えて今年もこれから秋にかけて、数十万組の新しいカップルが誕生することであろう。人間の一生を通じて結婚式を挙げる日こそ、男も女も最も明るく楽しいバラ色に輝く一日であることは間違いない。

そしてその喜びを親族や恩師や友人から祝福され、両人がこれから人生の旅立ちに最高の期待と決意を抱き合うのが披露宴の席であろう。

落語の春風亭柳昇師匠の「結婚披露宴」を聞いたら、両親の哀愁の風景や、新郎新婦の紹介を兼ねた媒人の挨拶や、来賓の祝福やテールズ・プリンチの長いを皮肉って、時間制限を設けて長いお話には刑罰を課するべきだ、おもしろおかし話語っていた。

私は先日、取引先の社長のご長男の結婚披露宴に招かれて出席したが、一流ホテルで延々三時間半に及んだ盛大な披露宴は、地方から出席された方は、帰りの新幹線の時刻を気にしつづつ落着かない人もおられた。この場合は単なる結婚披露宴であるばかりでなく、それらの「跡目相続披露」の方に、比重をかけた色彩が強くあつて、その意味において、時間と



不可能な制度の導入こそが、学歴だけを欲しがる無数の志望者を激減させる唯一の方法である。大学入試制度の改革
四、大学入試制度の改革
大学に於ける試験は入学より進級に力点を置くべきである。所謂留年は認めず、想像を絶する平素の努力なくしては卒業が

暴力団をぶつ潰せ

大阪 O・H 生

ある日本通のフランス人が、不思議そうに私に話したことがあつた。
『日本は世界でも稀にみる治安の行き届いた国である。これは、充実した国民教育と警察力の成果だと思ふのだが、にもにかかわらず、暴力団が大手を振って存在するのはどういふわけだろう。しかもその暴力団が、香港やフィリピンその他の国々へ海外に進出までしているという。日本の政府は、造船をはじめとする輸出産業と同じように、暴力団の育成強化をはかり、黄色い軍隊の一環としてのいるのだろか。一国内には、政府が予算不足から、盛り場の治安維持を暴力団に委嘱するといった互恵関係が存在するのではなからるか?』

これは念のため申し添えておくが、フランス人特有のジョークである。しかし、その国に住んでいるわれわれとしてみれば、あながち冗談とはしては言えないところがある。
そのフランス人は、そのあと私に声をひそめて言った。
『私がこんなことを言っているなんて、誰にも話さないで呉れよ。暴力団のお礼マイリがコワイからな。』

今度は半分真話である。つまり彼は、日本の優秀な治安力も暴力団に関する限り信用していないようである。
暴力団とは何か。警察白書によると、それは「カネのためならなんでもやる職業的犯罪者集団」が一応の定義付けとなつてゐる。

二十周年記念式典および祝賀会を行った。その際、来賓の方々から戴いた多くの激励の言葉を、部員一同肝に銘じ、さらに努力精進し、先輩方が築きあげた輝かしい歴史と伝統を、さらに高らかに努力する覚悟である。

事務局長より
親会が六月十四日(火)十五時から東京千代田区千代田一丁目半蔵門会館で開催することが決定しました。ご参加お待ち申し上げます。

一、五八年度委員未納の方は御多用のところ恐縮ですが、早目にお振込み下さるようお願いいたします。不明の点がありましたら事務局長へお問い合わせ下さい。
電話 03(2722)2050

この根柢を自指して警察は、人(構成員)、金(資金源)、物(武器)のすべてに対して徹底的な制作戦を展開して徹底的に打倒する。平素のサッカー練習を通じて、体力と技術を磨き、精強な機動隊員を育成することを基本方針として、同年十一月、日本サッカー協会関係者等の協力のもとに警視庁サッカー部が誕生した。

活躍状況
警視庁サッカー部は、現在東京社会人一部リーグに所属をもち、東京社会人リーグや天皇杯争奪戦等に出場している。昭和五十七年度のリーグ戦では七勝四敗三分の成績であったが、部員一同関東リーグ昇格をため、部員一一致意して練習に励んでいる。

サッカー部は、定まったグラウンドがなく日大、明大等のグラウンドを渡り歩くジャンプ練習である。勤務の特殊性から計画的な練習ができず、非番、週休等を利用して行っているが、ねむい時や出勤が続き疲れて体が動かない時も、部員一同励まし合つて警視庁の代表として恥じない試合をするため、また勝利をめざして頑張っている。

この世を花にする
頑張り機動隊

東鋼業(株)
株式会社三榮商會

奥村武正
村山文雄
村上野百貨店
大津製鋼(株)
栗田工業(株)
高周波熱錬(株)
石原幸男
木村利秋
橋山和正
浅田弥三郎
東海レーラー鋼業(株)
中京製線(株)
東海鋼材工業(株)
広島シャワー
リング工業(株)
石田工業(株)
東海鋼業(株)
金森藤平商事(株)
早達運送(株)
柴田鉄店

今月の言葉

最近の世相をみてみると、身体の大変さ、命の重みといったものが、若い世代になればなるほど、軽視されつつあるような気がする。

わざわざ指を切つて労災保険をもらったり、車への当たり屋をやつたり、試験に落ちたくらいで簡単に自殺したり、サラ金に追いかけられてそれなら刑務所に入れて貰おうと人を殺したり……こういう事件は、昔は少なかったように思う。

戦前の修身教育のことが持ち出すと、時代錯誤だと笑われそうだが、誰もが知つてゐる孔子のつぎの句があつた。

『身体髪膚 (しんたいはつ) は父母に受く。取てて毀傷 (きし) せしむる可からざる。』

一歩なのである。――
 体を大事にするのは、親への義理合ひだけではない。まず自分に對して、また自分の周囲のあらゆる人に対しての務めである。アメリカの政

生命の重み

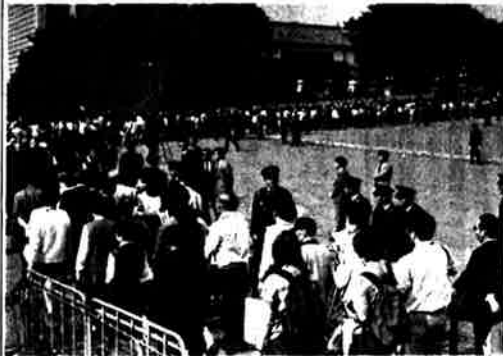
特攻隊に代表されるような、惜しげない生命の捨てかたをしたのではなかつたか」と反論するかも知れない。しかし、実際はそれだけではなかつた。

いさぎよくこれを捨てなければならぬ。――
 時の當時の人たちは、このことをよく心得てゐたと思ふ。
 出征兵士に贈るのは、千人針か、

日の丸の旗の寄せ書であつたが、寄せ書の中で、『不情身命且情身命 (ふしやくしんみん)』と、シャキーンと響くような響きがある。これは「公のため」という語句が好んで使われてゐる。公のため、公のため、公のため……
 ここで言つてゐるのは、公のためには命を惜しまないが、病氣や事故で命を失つたりすることがないようにならなければならない、である。
 さしずめ昨今の一部の若者ならば、『オトコバカ』と罵られて死んだら、公のため、公のために身を挺するなんて考えられない。『公のため』と聞くと、念のため申し上げるが、公のためなら命を懸けてもいいと言つてゐる訳ではない。

警衛・警備で活躍

有事即応の態勢



上：天皇誕生日警衛 下：メーデー警備



日本の治安のよさは定評がある。各種警備の中核となる機動隊員の自覚と誇り、そして任務達成のための切実な覚悟が治安の礎となつてゐるが、あまりにも

平穩に過ぎるといついその有り難さも忘れがちになる。しかし、平常時には空気のように一般市民にその必要性を感ずるに感せず、一旦有事の時

長野県警には、他の県に比べて特色ある活動として山岳遭難救助活動がある。通称「山岳救助隊」と呼ばれる一隊が機動隊に配置されてゐる。

長野県は四方を山に囲まれ、その山々も三千メートルを超えるものばかりがそびえ立っている。山は美しく、雄大さに魅せられた登山者が毎年押し寄せてくる。中には、不幸にも山で大切な命を落とされる人もあり、大衆化登山を単軌に喜んではいられない状況だ。

我々山岳救助隊は、登山者の安全を守るため救助技術の研究・体力の向上を目指して訓練を繰り返してゐる。春山、夏山、シーズンの最盛期には、穂高岳、峰頂沢カールへ常駐する。登山路のバトロールを行い、保護活動や救助活動に従事する。常駐期間も十一月二十日になる。昨年度の常駐で、一日に三件の遭難救助活動に従事したことがあつた。

穂高岳、岳沢で前日に山小屋まで収容された遭難者、朝一番の仕事としてヘリコプターに搬送して一服してゐると、遭難発

生もの知らせが入つた。その山小屋から道のりにして九キロ程離れた蝶ヶ岳で、単独行動の若い女性が動けなくなつてゐるとのことである。

隊員は、山小屋から上高地までの二、五キロを一気に駆け下り、そこから蝶ヶ岳をめぐらして登り頂上から一キロ程下つたところで両眼を負傷した女性を発見した。応急手当の後、その女性を背負い、今登つてきた道を再び上高地へと上る。自稱五十二キロのその女性は、私の背中でしきりに「すみません、すみません」と繰り返してゐた。

上高地の診療所へ収容したところ、今度は岳沢方面で遭難事故発生のお知らせだ。場所は奥明神沢で、二人の登山者が滑落したと聞いて、再び岳沢の山小屋まで急いで登り始めた。滑落者二人が生きていることを折りつつ、暗くなつた急坂道を登つて行つた。

山小屋へ戻つたのは夜の九時ごろ。この日は遭難現場から一キロ下の地点まで接近し、遭難者の物であるらしい懐中電灯のあたりを確認することができた。

愛知県警察機動隊では、隊員の体力・気力を増進し、チームワークの向上を図るため、去る二月二日ラグビー部を結成した。部員三十人のうち、全くラグビー経験のない者が大半であるが、平均年齢二十五歳、いずれも屈強な体力と旺盛な気力にあふれており、それだけに全員が一丸となつて激しいファイトを燃やしてゐる。

目下のところは、経験豊かな村田正文監督 (小隊長) の厳しい指導の下、勤務の合間をみて連日基本訓練に汗を流してゐる。将来は、ラグビー小隊として独立させる構想もあり、部員達の夢は全国大会出場へと大きくはばたいてゐる。

ラグビー部の結成

愛知県警察機動隊

はげまし

発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都中央区八重洲2-4-14
 千104 ミツヤビル3階
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(272)2050
 購読料 年間1200円(送料共)
 (但し金費の中には購読料を含む)

治安の礎の機動隊

長野県警には、他の県に比べて特色ある活動として山岳遭難救助活動がある。通称「山岳救助隊」と呼ばれる一隊が機動隊に配置されてゐる。

長野県は四方を山に囲まれ、その山々も三千メートルを超えるものばかりがそびえ立っている。山は美しく、雄大さに魅せられた登山者が毎年押し寄せてくる。中には、不幸にも山で大切な命を落とされる人もあり、大衆化登山を単軌に喜んではいられない状況だ。

北から南から

多忙な山岳救助隊

長野県警察機動隊

愛称名「リンクの勇者たち」道警機動隊アイスホッケー部は昭和五十七年六月、岩倉監督以下十三名の隊員によつて結成され、警察部内のチームとして、若くは警察署に次いで全国で二番目に誕生したクラブである。

現存する隊内クラブの中では一番新しいクラブだが、いまでは加入者が増えて二十二名が所属し、氷上練習に汗を流してゐる。

アイスホッケーは、近年人気が上昇中のスポーツで、男女を問わずファンも増えており、「氷上の格闘技」と感ぜられるように、激しくスピードと溢れる男らしさのスポーツである。そういった面では、まさに機動隊員にはとっておきのスポーツではないだろうか。

燃えるアイスホッケー部

北海道警察機動隊

このスポーツはT・Vで見ると、時々ラフプレーになりがちでない、相手とラッパルになりかねないが、そこは機動隊員として、冷静な態度と忍耐力を持ちプレーに徹してゐる。

アイスホッケーはテクニクも必要だが、何となくとも体力のあるチームでないとも勝つことができない。他チームにとって我がチームの誕生は恐ろしい存在となつてゐる。

結成以来の戦績は八戦四勝四敗とまずまずの出来であるが、若い隊員が着々と力を付けて来ているので、二、三年後はかなり強力なチームになるであろう。また、活動を通じ隊員の融和団結を図り、他チームとの試合を通じて、市民と警察の交流を深めていきたい。

警備のプロとしての
自覚を持つ
 『警備のプロ』、半人前の分隊長としてこんな題目を大上段に掲げるのは、よほど自信がひける。第二次羽田闘争、東大闘争等デモ警備華やかなりし、機動隊で活躍していた諸先輩にいわせたら、『今の機動隊は』等といわれそうである。

しかし、ほとんど荒れ場のなかつた泰平ムードの今日ほど機動隊の真価を問われる時ではないのだからと思う。『機動隊』というついでに『デモ警備』が思い浮かべられ、デモ警備は上手に出来さえすれば機動隊は良いではないかと考えがちである。たしかにデモ警備は、一時期の代表たる警備活動であることには違いないが、機動隊の任務はそれだけではない。

現在の警備の主力は重防警備維持隊に移行しているが、とりわけ重防警備は地味な仕事である。ただ立っているだけならガードマンや人形だつて十分である。自分の警備している場所が最後の砦だつて、気が配られて常に予想される事案を頭脳におき、いつでも対処出来るように万全の備えをしておかなければならない。デモ警備と違って拘束時間が長いので、ついマンネリに陥りがちである。『不逞の輩』はその寸分の隙をついて不法犯を敢行してくるのである。

犯罪は年々複雑多様化し、またスピード化したところがある。我々機動隊に負わされた任務は非常に厳しく、重要なものである。泰平ムードが漂っている今日、不法犯を起さしよつと、我々はそれに対処出来るだけの力を常に蓄えなければならぬ。『機動隊』という『鎮めの先鋒』にならなければならぬ。

分隊長としての役割と責任
 分隊長は現場の最前線指揮官として部下を指揮統率して見なければならぬが、それに加え合うだけの日課と判断力を身に

つけていなければならぬ。そのためには、日頃から自己啓発に努め、人格の向上を図らなければならぬ。『自分は、何をなすべきか』、『隊員に何をさせるべきか』を常に考え、自ら先頭に立つて行動し、隊員を牽引して行くよう努力のある分隊長を目指すべき努力をしていこう。

とがあるが、そのとおりだと思ふ。そして、その事を先輩達に身を挺して、私達に教えてくれたような気がする。現在の平和な治安が保たれている現在、私達機動隊の仕事は雑踏警備、重防警備等の守り、静の警備が主となっている。しかし、このように時だからこそ、『無事の日』をいかに有事の日とす。常に何が起きて、何の目的、根拠にもつて広報活動をしているのか、多種多様な臨機応変の広報が出来る様努力していきなさい。



有事即応の態勢
 七機中隊員
 正
 光陰矢の如しというように、月日の経つのは早いもので、私が第七機動隊に着隊してから既に四月初めが過ぎようとして、着隊当初の激しかった新隊員訓練も今は懐かしい思い出の一つとなつていく。雑踏警備、激戦中の重防警備等も少しづつ慣れてきて、機動隊員としてやっていく自信も備わってきた。

この四カ月間の隊生活を振り返りて知り得たことは、『警備の重み』というところである。これは警察官に在ることは知らなかつたことであり、警察官では知ることのできなかつたことだと思ふ。

『機動隊』という言葉で、先ず浮かぶのは第一次、第二次安保の頃、或いは幾回山荘事件での勇壮な機動隊の姿である。その当時は機動隊が華やかかつた時で、機動隊員の目覚ましい活躍が数多かつた。

しかし、ここで忘れてならないことの一つに、その活躍の裏に幾人かの犠牲者を出したというところである。『警備』が大事なことではあるが、その犠牲者も出さずにはなく、一人の犠牲者も出さずこの『警備』の目的を完遂することだ』というのを聞いたこと

広報訓練と関係法令の熟知
 基礎的広報の技術は、日常の会話から正しい言葉の使い方を発音、また人の話など大切なことはメモをとると、マイク広報のみでなく、『話』はことばに閉じて関心を持つことである。いつも問題点を考えながら研究し改善していく。そして一日一時間以上マイクを所持し訓練を実施する。また、各種広報に応じた関係法令を研究し習得する。

好感のもてる広報
 警察官は常に都民から注目されている。特に、広報マンは警備現場の矢面に立ち、事前又は発生時に正確な情報を都民に提供する立場にある。そのために、新報情報等を早く簡潔に知らせることが肝要である。あらかじめ現場広報のタイミング、必要情報と検討のうえ広報資料を収集整理し、事前の現場情報と量と質を研究しておく必要がある。これからは、いかに現場で接するに親切にいかかなければならぬ。

八機広報係員
 熊倉 正人
 第八機動隊広報係広報担当を命ぜられてから早いもので、一年八ヶ月になる。その間、治安・雑踏警備等、各種の広報活動に従事してきたが、常に感じていることは、『声の警備力』ということである。

部活動が通達で行われるためには、現場指揮官の代弁となる広報マンと部活動とが表裏一体の関係でなければならぬ。現代社会において、言葉による意思の伝達が必要かつ不可欠な要素であることはいうまでもない。

私は、各種広報活動の重要性や効果的推進を図るため、次の役割について項目を掲げ、自己の役割と責任について述べたいと思ふ。

広報係をまとめる班長として、自分に厳しく自分を磨き、あいつなら大丈夫といわれるほどの技術の向上に努め、警備のプロとして、情勢を的確に把握できる鋭敏な感覚を養うと共に、模範的な広報マンとなるため更に自己研鑽していく。

二次災害の防止
 鈴木 芳人
 墨東の地への庁舎移転に伴い、当該昨年七月一日、水難救助隊が発隊し、私も隊員の一員として指定を受けた。水難救助隊は、各種災害、事故現場に出勤し、要救助者を『迅速・安全・確実』に救助することをその使命としている。

このためには、一回でも多く現場を経験すると共に、有事に的確な活動ができるよう、平素から技術の向上に努め、より高度な救助技能を身につけなければならぬ。

発隊間もなく、まだまだ未熟な私達だが、この必要要件を念頭に、平素訓練を励んでいる。平素の訓練
 現在、私達隊には、潜水筒や『一機動隊』の施設を借用したり、東京湾に近い運河を利用して、潜水訓練に励んでいる。

その他、非番等を利用してロープ結索訓練、地上での機動訓練、図上訓練に励むと共に、特に二十五種、千二百五十点の水難関係係保備器材操作要領を反復実施し、習熟に努めている。

水難救助隊は、救助者のわずかなミスが思いがけない命取り者にもなる。救助者の生命までも奪ってしまうので、この基本訓練等に重点をおき訓練を推進している。

現場活動
 事故現場での活動経験が少なく、また未熟だが、現場関係者は、私達を『救助のプロ』として見てくれている。従って、現場活動に際しては万全を期し、救助を成し遂げなければならぬ。このため、私達は水難救助隊員としての勤務に就く際には、特に次の点に留意している。

最悪の事態
 特三小隊長 博
 機動隊の小隊長という立場で勤務して痛感することは、警備のプロでなければならぬというところである。

一つの警備を完遂するため、戦術会議に基づいて警備に従事する訳であるが、ある警備に従事したときのこと、学園紛争などで世の中が殺伐としていた時代、現場に到着し、各配置員への任務付与、資器材等の展張状況の確認を終了した。この段階で私は、『後は完全な任務遂行に向つて、全神経を傾ければよい』と思ひ、自信満々胸を張っていたのであるが、間もなく副隊長の巡視があった。その際、副隊長から突発時の態勢等について、『前にいる隊員との打ち合わせはどうなっている』の質問があり、私の自信ははるくも崩れさつてしまった。

一番重要なポイントを抜かしていたのである。常々現場の指揮官は、『最悪の事態を考えながら警備にあたり』といわれている。このことへの配慮がなかつた最たるものではなかつたかと考え、反省することになり、そこで小隊長と話し、隊員が勤務に専念し、細かい心配りを念頭に置いて、細かい環境作りをすること、警備に

つきりと言えぬムード作りをするところもあるのではないかと。隊員相互間において、わがまかりを作ることによつて人の和が崩れ、それがために機動隊の持味である集団協働力さえも、破壊されてしまうように感じられる。

小隊長の役割と責任というテーマで述べたが、私はまだまだ警備の専門家として未熟であり、色々学ぶべき点が多々ある。要は、首都治安を守る最後の砦として、自己の責任を自覚し、お互いに気持を一つにし、切磋琢磨しながら指揮指導にあたり、真の警備のプロを目指して、邁進すべく決意を新たにしていく。

また、ある警備の実施中、隊員から警備の方法について『小隊長、これはこのほうがいいように思いますが』との改善案が出され、その方法を採用したところ、スムーズな警備を実施することができた。このことから、小隊長に課せられた任務は、自分の思ったことをは

紹介
 足
 警視庁にスポーツクラブが統々と誕生したのは、昭和四十年の半ばのこと、学園紛争などで世の中が殺伐としていた時代、現況の警備のイメージ作りであった。パレール部は、八番目のスポーツクラブとして、昭和四十七年三月一日、各警署からパレール部の経験者を集めて発足した。そして同年五月八日、警視庁チームとして正式に警視庁チームと認められ、同時に日本パレール界の権威盛田博先生をコーチとして招き、監督藤原隆部(現東京空港署長)のもとに本格的なスタートを切った。

活動状況
 パレール部結成一年後、全日本実業団六人制パレール、全関東都予選大会で三位入賞、全国大会出場を果たす等、幸先よくスタートを切った。また四十九年六月には、同大会で優勝し、その実力を着実に伸ばしていった。

抱負
 地域リーグで優勝し、実業団リーグに昇進すべく、より高くジャンプ力をつけて空中プレイング幅を広げ、より広くプレイングの幅を広げてボールをつなぎ、全日本実業団リーグを燃やし、ハードな練習を積み重ねて、一歩一歩前進していく覚悟である。

パレール部協会の強化本部員、中村四郎先生をコーチに迎えて翌年四月、全日本都市対抗六人制パレール大会に東京代表として出場し、ベストエイトに進出した。この戦績はマスコミの目を引き、『平均身長一七九センチのチビ』とチームのベストエイト入りと大々的に報道され、警視庁パレール部の名を全国に轟かせた。

パレール部
 一、パレール部協会の強化本部員、中村四郎先生をコーチに迎えて翌年四月、全日本都市対抗六人制パレール大会に東京代表として出場し、ベストエイトに進出した。この戦績はマスコミの目を引き、『平均身長一七九センチのチビ』とチームのベストエイト入りと大々的に報道され、警視庁パレール部の名を全国に轟かせた。

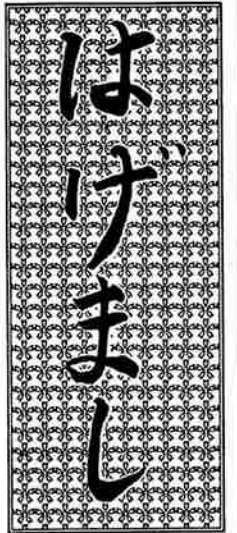
現在、日本パレール協会には、全国の実業団チームが約六百三十加団あり、日本パレールリーグ、実業団リーグ、東部地域リーグ、西部地域リーグがラングクされている。警視庁は東部地域リーグで活躍中で、加勢約六百三十チーム中十七番目に位置する。

抱負
 地域リーグで優勝し、実業団リーグに昇進すべく、より高くジャンプ力をつけて空中プレイング幅を広げ、より広くプレイングの幅を広げてボールをつなぎ、全日本実業団リーグを燃やし、ハードな練習を積み重ねて、一歩一歩前進していく覚悟である。

抱負
 地域リーグで優勝し、実業団リーグに昇進すべく、より高くジャンプ力をつけて空中プレイング幅を広げ、より広くプレイングの幅を広げてボールをつなぎ、全日本実業団リーグを燃やし、ハードな練習を積み重ねて、一歩一歩前進していく覚悟である。



警視庁
クラブ活動



発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都中央区八重洲2-4-14
 千104 ミツヤビル3階
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(272)2050
 購読料 年間1200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

花開く心の交流

第七回通常総会および懇親会



機動隊員等を励ます会の第七回通常総会および懇親会が六月十四日(十五日)から東京・半蔵門会館で盛大に開催された。昭和四十九年三月に任意団体として発足したが、三年後の昭和五十二年に社団法人の認可を受けて公的な組織となった。

新理事五氏を選出
 会員総数一万二〇六六名のうち、定款にされた過半数の六六、二九二名(委任状共)の出席を得たことで、鈴木實・副理事長が第七回通常総会の成立を報告。大内俊司・理事長を議長として三議案を審議した。

第一号議案、昭和五十七年度事業報告並びに収支決算書承認に関する件
 第二号議案、昭和五十八年度事業計画案並びに収支予算案承認に関する件
 第三号議案、任期満了に伴う理事並びに監事の選任に関する件

このうち第一号および第二号議案はいずれも異議なく承認され、第三号議案については、市原博次、和田弘の両氏が理事を退任、新九に理事として黒田一、高島浩一、西野公廣、橋山和正、堀口薫の五氏を選出、その他の理事および監事は全員留任となった。

理事長が励ます
 総会終了後、来賓と機動隊員代表等約百五十名を招いて、励ます会会員との懇親会に移ったが、立錫の余地もないほどの盛會であった。

鈴木實副理事長の開会の挨拶で始まった懇親会は、大内俊司理事長がこれまでの当励ます会の活動について経過を説明、機動隊員を力強く励ました。

「すでに満九年経過したが、これまで池間山花、安田講堂事件などを経て、最近では地味な警備へと変わってきた。当会会員は、一万二千名を超したが、いずれもロコモによる地道な活動で心が機動隊員等を励ます八員で構成されている。日夜訓練に精進している隊員を今後とも支援していく。」

続いて当励ます会の発展に貢献した行井栄、黒田一、樋浦忠、堀吉郎、松田武彦の五氏に表彰状と記念品がそれぞれ大内理事長より贈呈された。

長官と総監が祝辞
 来賓祝辞として警察庁三井脩長官(代理)福田勝一警務局長は「警院選挙の真只中で長官は若手へ視察出張しているが、当励ます会の支援は機動隊員のみならず、警察全般の心の支えとなっている。社会活動の根本は治安であり、機動隊員等はその責務を果たすべく日夜努力している。それを支援しているのが励ます会である」と、当励ます会の発展と隆盛を祈願して感謝の言葉を述べた。

警視庁下稲葉総監は招待の礼と共に「当励ます会の物心両面にわたる配属には感謝あるのみである。最近では治安警備のみならず、他県へも災害救助など応援活動をしている。明るい社会の建設に努力しているが、励ます会の心暖まる激励が隊員達のよりどころになっている」と挨拶した。

当励ます会村山文雄理事の乾杯の音頭をきっかけに種々なアトラクションが行われ、会は最高潮に盛り上がった。木村利秋理事の方威三唱で幕を閉じたが、心の交流は大きく花を咲かせた。



表彰された功績者

警視庁 機動隊創設三十五周年 記念観閲式

警視庁機動隊が今年で創設三十五周年を迎えた。昭和二十三年に発足したのが、今では治安の中核として、その充実した警備力は都民の信頼を全面的に受けている。

創設三十五周年を記念するとともに、機動隊の訓練成果を都民に示して理解と信頼を深め、さらに隊員の士気高揚と融和団結を図ることを目的とした記念観閲式が去る五月二十七日、午前六時五十分から明治神宮体育館前及び円周道路で行われた。

下稲葉警視総監を観閲官としてた式典には、東京都公安委員長ならびに委員、当励ます会世話人、各関係部、報道陣等が招かれた。

警備部長を総指揮官として一般部隊(含婦人警察官特別機動隊)、特別機動隊治安警備部隊さらにレンジャー・水難救助・機動救助・災害対策、婦人警察官災害対策・爆発物処理・特殊警備・特別警備隊などの特別部隊を含めた総人員三千三百名、これに車両八十二台、警備大十二頭による一糸乱れぬ分列行進であつた。

正義実現の治安プロ
 本年の特徴としては、車両部隊に新たにグリラ対策車二台を編成したが、隊員の気迫溢れる勇姿に接した参観者一同は、心から惜しまぬ声援を送つたのもだ。

査閲後、下稲葉総監は「先訓に学びながら、社会正義を実現する治安のプロとしての姿勢を買って欲しい」と大要次のとおり訓示した。

「警視庁機動隊は昭和二十三年五月二十五日に、警視庁予備隊として創設されて以来、常に身を挺して首都治安維持の重責を全うしてきた。国内外から高い評価を受けて

今月の言葉

「緑、心と和言葉である。目の回りにある緑の植物には、私たちに心理的・生理的に安らぎを与えてくれる効果がある。人は生活している環境が緑の少ない場所であればある程、緑を求めるといわれる。各地で行われる植木市にたくさんの方が集まり、また家庭で観葉植物に親しむ人が増えたのも、そんな緑に對する憧れの表われかもしれない。ところで、植物は光合成によって酸素を大量に発生することはよく知

は自然界では植物だけである。因みに、一人が一年間に吸い取る酸素の量は杉の大木、十六本分で賄われているといふことである。

み

人はもとより、酸素を吸って生活している生物は、全て植物の御陰で生きているのだということを改めて考えさせられる。

ど

植物による恩恵は、はかりしれない。空気の浄化作用、騒音防止、防風、土砂崩れ防止、水資源確保などのほか、最近ではフィトンチッドの山などへ行き、森林に一歩足を踏

り

込むと、空気が美味しく清々しく感じられるのもこれらの為である。外国では、心身の健康の為に森林の空気を胸いっぱい吸い、体いっぱい浸る「森林浴療法」が行われているところもあるという。私たちの生活上、まさに緑は緑の下の力持ちである。

それにしても、緑の大切さ、偉大さを感じると共に、あちこちで開発の為に伐採され放置されている山肌を見る時、自然のしつべ返しを受けなければ良いかと思うのである。

ああ結婚

—警視庁機動隊—



らない。仮綴じの本は、内容はともかく未完の作品である。構図を練り、いつかの結婚について夢を抱いていく。

適齢期の機動隊員も例に洩れない。とくに厳しい任務だけに家庭でのやすらぎが必要である。甘い楽しい果実が得られるよう祝福したい。

既婚者と独身者の区別は、ちょうど製本した本と仮綴じの本のようなものだ、とはフランスの作家ルナールの言葉である。製本された本の中には、よい本、悪い本、難解な本……といろいろあるが、どんな内容にせよ、結婚生活を乗切するために既婚者は努力していかなければ

お嫁においで

天使の囁き

一機中隊員 加藤昌行

結婚とは、既に結婚してしまつた人達には「悪魔の囁き」であり、これから結婚しようとしている私達にとっては「天使の囁き」だ。

おそらく独身者のほとんどが一人の黒い木綿糸(赤い糸と云う人もまれにいるが)が線でも半蔵門会館(明治記念館)までつこう(で堅い夫婦の架り)を結ぶが、何とドラマチックで信じがたい事案ではないか。私も、近い将来きっと素晴らしい伴侶を迎えたいと信じている。

そこで、独身男性の勝手な希望の普及、これから結婚しようとする「貴女」、また、既に結婚して「貴女」にも認識を新たにしていただくため是非読んでもらいたい。是非読んでもらいたい。私達は警察官である。そして私達の妻になる「貴女」は、警察官の妻になる。そのことを忘れずに肝に銘じてほしい。

一般的に警察官という、普通のサラリーマンと異なり、仕事に危険が伴う。勤務自体が精神的に、また肉体的にハードなものである。一日(時には二日にわたることもある)の勤務に全力を費やした私達が帰るときは、「貴女」のところへは、旅船やホテルに帰るのではなく、「家庭」に帰るのである。

休日を問わない勤務であり、

最近街を歩いていると、ひときわ目立つ女性が多くなってきた。食べ物や服装が、化粧がうまくなつたのか、ファッションが良くなったのかとふと考えることがある。現代は何でもあり、何でも叶う。その時代なので女性が美しくなろうと当然かたない。

二十代半ば過ぎた私にとって知人に会ったりますと、必ずともし「いじやないか」といふ言葉がふりかかってくる。そのたびに「もうすぐ結婚するよ」など

理想の家庭 吉岡隆生

私の結婚理想は、若くして

うとする「貴女」、また、既に結婚して「貴女」にも認識を新たにしていただくため是非読んでもらいたい。是非読んでもらいたい。私達は警察官である。そして私達の妻になる「貴女」は、警察官の妻になる。そのことを忘れずに肝に銘じてほしい。

一般的に警察官という、普通のサラリーマンと異なり、仕事に危険が伴う。勤務自体が精神的に、また肉体的にハードなものである。一日(時には二日にわたることもある)の勤務に全力を費やした私達が帰るときは、「貴女」のところへは、旅船やホテルに帰るのではなく、「家庭」に帰るのである。

休日を問わない勤務であり、

最近街を歩いていると、ひときわ目立つ女性が多くなってきた。食べ物や服装が、化粧がうまくなつたのか、ファッションが良くなったのかとふと考えることがある。現代は何でもあり、何でも叶う。その時代なので女性が美しくなろうと当然かたない。

二十代半ば過ぎた私にとって知人に会ったりますと、必ずともし「いじやないか」といふ言葉がふりかかってくる。そのたびに「もうすぐ結婚するよ」など

理想の家庭 吉岡隆生

私の結婚理想は、若くして

にはわかるだろう。後は細かくいふ必要はないと思ふ。間違つてもダンナ様を「月結」と感えないで。

生気あることを云つたようだが、総合的に判断して、結論をいへば「結婚はいいものだ」そうだ。私が持っている黒い木綿糸の片方を握って「貴女」が、その夢を打ち砕くことなく実現させてくださるよう願っているが、いつになることやら

優しいひと 高橋俊雄

各種警備活動に果敢と西走し、我を忘れて気が付いてみると、今年で二十七歳を迎えてしまつた。当然結婚という第二の人生を歩み、我が人生に花を咲かせ公私ともに充実した毎日を送つてもよい年頃である。独身貴族の気楽さと独りでやりたいこともあり、結婚について真剣に考えたことがなかった。しかし、私の同僚生が一入また一人と結婚するたびに、私も結婚について考えさせられるようになった。

理想の女性 井上直樹

理想の女性を歩いていると、ひときわ目立つ女性が多くなってきた。食べ物や服装が、化粧がうまくなつたのか、ファッションが良くなったのかとふと考えることがある。現代は何でもあり、何でも叶う。その時代なので女性が美しくなろうと当然かたない。

特別機動隊は、身体が資本であり平素健康に留意し、家庭は安らぎと明日への活力の場でもあるので、勤務を終えてゆっくりと心身ともに休める雰囲気をつくってくださる優しい女性が理想である。

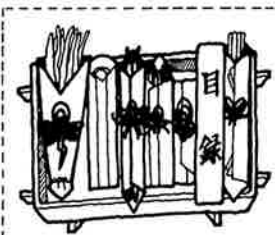
家庭内で大切なことは、話し合いたいと思ふ。二人で生活していく中で、多くの問題点に遭遇した場合は、気持ちを一つにし、共に助け合つて問題を解決していかねければならぬ。この点を告げ、私は家庭において何でも気軽に話し合える雰囲気を作つていくことが大切だと思つている。

将来は、小さくとも自分たちのマイホームを持ちたい。子供に対する養育、教育など多くの問題があると思ふ。それらを二人で話し合ひ、二人で決めていく。そんな家庭を作りたい。

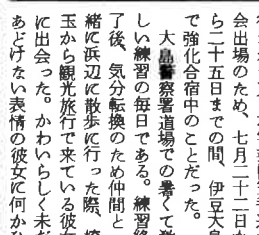
理想の家庭 吉岡隆生

私の結婚理想は、若くして

理想の家庭 吉岡隆生



木々の葉が色づき始めた九月下旬頃、つき合いはじめて二カ月しか経っていないが、お互いの気持が高まり、ついには彼女がプロポーズをした。彼女は「ハイ」と小さくうなづいた。はつきりと答えてしる顔を見ながら、



彼女の家はお寺で、父は住職、兼教師をしている。彼女は、一つの間に私をおいて「おにちゃん」と呼ぶようになった。私にとっても九歳年下の彼女は妹のような存在であった。しかし、デートを重ねるうちに彼女に対する私の感情が段々と愛情に変わっていくのが分つた。

大島での出会い 細谷義男

私と彼女との出会いは、青い空と広大な海に囲まれた伊豆大島での夏の日のことであった。それは、私が警視庁空手部の代表選手として、昨年の八月に行われた東日本実業団空手道大会出場のため、七月二十一日から二十五日までの間、伊豆大島で強化合宿中のことだった。

今、俺の嫁さんは 馬淵久善

家を出ては十年。やっと一人の生活に慣れてきたが、ふとまわりを耳をかたむけると「もうそろそろ結婚したらどうだ」という声が聞えてくる。サッカ、井上陽水、失恋、青春まっ只中であつた自分が懐かしと思えるようになった。

勇氣を出して彼女の家へ行き、両親に正式に結婚の承諾を求めたところ、快く許していただいた。今年の五月には、晴れて夫婦になった私達である。これから長い人生、いろいろなことがあると思うが、二人で力を合わせ、明るく誰でも気軽に遊びに来てもらえるような家庭を築いていきたいと思っている。

七機會計厚生係

上村敦志

私も当年として二十六歳、機動隊生活五年目を迎えた。周囲は先輩・後輩にかかわらず結婚ブームという始末。私の婚期が早いか遅いかについては定かではないが、言えることは警察社会において、七年間浮いた話もなく、今日まで大過なく過ぎてきたことは確かである。

そんな私に春がやって来たのは昨年の九月初旬のことだった。私の郷土、熊本知人の紹介により羽田空港において、同郷の彼女と十分間の忙しなく、そして短い出会いの機会を得た。その後、東京と熊本とを離れ、また適度に二回位の割合で文通をしながら、昨年十月熊本に帰省した際、彼女と再会した。

話はトントン進み、結婚の話はこびととなり、四月には独身生活にピリオドをうつというスピード結婚となった。うそのような本当の話で、私自身、「ああ結婚か」という気持ちでいっぱいだった。大変うれいことはいまでもない。

今までは一人者というよりもあって、自分勝手に他人の言に耳をかさないことも多々あった。これから一家の日課、いろいろ世間の仲間入りをしていかなければならぬ。

結婚という第一の出发点を突破し、仕事・家庭の公私両面にわたって、独身時代では培えなかった幅のある人間を目ざし頑張っていきたい。そのためには彼女の協力を得て明るい家庭を築き、家庭が私の仕事の原動力となるよう夫婦ともに協力し合うように、心掛けたらと思っています。

港の見える丘

天野信彦

去年のさわやかな初夏、私は彼女がうすうす汗を浮かべながら港の見える丘公園にたどりついた。公園から見ると、真夏のようなキラキラした輝きはなすが、初夏という季節だけが持つ人生の出路を思わせるようなさわやかな色をしていて。

二人並んで海を見つけた私たちは、どちらからともなく顔を合わせ、半日の散歩でうすうすらと赤く陽に焼けた顔に微笑が浮び、その微笑は、これから人生を対する「希望」が宿っているのをお互いに感じ合っていた。公園の片隅のベンチに腰を下ろし、彼女の持つてきてくれた弁当をひろげた。おかしな煮物であった。山梨の郷里を離れて寮生活をしての思い出としてはおふくろの味を思い出させてくれるなつかしいものであった。

「私、料理が苦手なんです」と日頃から口癖のように言っていた彼女であるが、港から吹いてくる潮風を吸いながら食べる煮物は、とてもおいしかった。おそろしく朝早く起きて慣れぬ手つきで奮闘したのだから。

朝日が差込む台所、白い湯気が立ちこめ、その中でかき回す動きが回っている彼女の姿を目に浮かべた時、私の心に勇気と決断が、まるで泉のごとく湧き上がった。

「俺は警察官だ。そして機動隊員だ。他のサラリーマンのように生活はできない。しかも、がんばって生きていくつもりだ。社会のために、自分のために、そして君のために。君には苦労だらけだ。」



春を待つ気持

垣内正三

厳しい冬を過ぎている時は、誰しも暖かい春を待ち焦がれる。私にあって、結婚はまさにこの「春を待つ気持」としかいえない。

結婚まで一月足らず、新居も構え、ハネムーン旅行も計画し、心の準備も七分、パーセント、将にムンムン気分なのである。思えば警察社会に入り、寮生活が六年余り及び、三丁路も近づく。悪友もいる。いつまでぞでくすくすしているんだ」とか「君の体に欠陥は」などと、叱咤激励され、「まだまだ独身生活を送るべきだ」とか「お父さん、娘さんをください」と彼女がプロポーズをするより先に結婚宣言をしてしまった。後でこの時を「突然で面くらった」と父親が話していたが、私は真剣、しかも無我夢中であった。「ふつつかな娘ですがよろしく」と言われた時の感激は、地球が静止する程の幸福と、安堵感の交錯した気持ちである。

男性は、やはり結婚に対しては強引でなければならぬ。このとき、「馬に乗ってみよ、人は添ってみよ」というではないか。

「見合い」の話である。それまでも何回か見合いの話を持ち込まれたが、あまり断わってばかりでは親不孝にもなりかねない。取りあえず親父の口車に乗ってと思ひ、帰省した。

彼女の出会いには、余り「見合い」というよりなものでなく、田舎では、寄り合いとい

をかけるかもしれないが、結婚して「カラカラ」にならぬ息にしゃべった。私の顔からは汗がたらたらと流れ、彼女を見つめて、「お料理はこの程度ですが、よろしくお願ひします」と、小さな声でつぶやいた。



いって、近所の香煙が舞って色々談義をする機会がある。私にその話に居合わせると、「ハッ」と驚く美人が出現した。どこかで一度見覚えのある顔を思案を巡らすと、なんとその女の子が、こんなにも美しく可愛く上がるなんて、「やはり女性に魅力を感じるほどの変りよう、そして話しているうちに、彼女の美しさと女性らしく、聡明な性格がどんどん魅かれていった。私もこの年齢、「これこそ何とかしなければ」と決意した。私にとっての「結婚」は、この瞬間から始まった。

私は、このチャンスに自分の運命をかけた。確固たる信念で彼女に相対するより努めた。そして一月後、彼女の家を訪問し彼女の父に、「お父さん、娘さんをください」と彼女がプロポーズをするより先に結婚宣言をしてしまった。後でこの時を「突然で面くらった」と父親が話していたが、私は真剣、しかも無我夢中であった。「ふつつかな娘ですがよろしく」と言われた時の感激は、地球が静止する程の幸福と、安堵感の交錯した気持ちである。

「突然で面くらった」と父親が話していたが、私は真剣、しかも無我夢中であった。「ふつつかな娘ですがよろしく」と言われた時の感激は、地球が静止する程の幸福と、安堵感の交錯した気持ちである。

「突然で面くらった」と父親が話していたが、私は真剣、しかも無我夢中であった。「ふつつかな娘ですがよろしく」と言われた時の感激は、地球が静止する程の幸福と、安堵感の交錯した気持ちである。

「突然で面くらった」と父親が話していたが、私は真剣、しかも無我夢中であった。「ふつつかな娘ですがよろしく」と言われた時の感激は、地球が静止する程の幸福と、安堵感の交錯した気持ちである。

北から南から

虎のマークに気をつける!!

岩手県警察機動隊により体制は整頓されている。

昭和二十三年九月に「国家地方警察官手帳本部警備機動隊」の名称が創設された。戦後の激動と変化の中で幾度かの変遷を経て昭和五十四年四月一日、所属早稲科に現在に至っている。

一、沿革
昭和二十三年九月に「国家地方警察官手帳本部警備機動隊」の名称が創設された。戦後の激動と変化の中で幾度かの変遷を経て昭和五十四年四月一日、所属早稲科に現在に至っている。

二、勤務と訓練状況
特務員主体の隊。治安警備の管轄が主であるが、各小隊単位に活動している。通常は、朝八時半から隊内において訓練場、点呼、体操、駆足(冬期間は除雪作業中心)など、交代期間中は除雪作業中心。交代期間中は除雪作業中心。交代期間中は除雪作業中心。

三、出動事例
警備の中核として、過去数々の大規模警備実施に際し幾多の成果を収めている。近年の主な出動は、成田空港関係警備、援出、東京サミット警備、昨年の鈴木前総理官邸入り警備等があげられる。

四、出動事例
機動隊発足以来二十二年目を迎へ、その間、成田空港関係警備、援出、東京サミット警備、昨年の鈴木前総理官邸入り警備等があげられる。

山形県警察機動隊

誠実・明朗・剛健のもとで

みなさん、こんにちは!! 山形県機動隊である。この度、機動隊の紹介をさせていただきます。機動隊は昭和四十四年四月に管区機動隊が発足したため、翌四十五年四月組織改革(警備機動隊)として機動隊の統合をはかり、その後も幾多の変遷を経たが、昭和五十四年四月から独立所属となり、現体制が出来上がった。

二、勤務及び訓練状況
機動隊は管轄の性格と任務がそれぞれ異なり、日常の勤務・訓練も若干の違いがあり、月一回の合同訓練を行っている。

三、出動事例
機動隊発足以来二十二年目を迎へ、その間、成田空港関係警備、援出、東京サミット警備、昨年の鈴木前総理官邸入り警備等があげられる。

四、出動事例
機動隊発足以来二十二年目を迎へ、その間、成田空港関係警備、援出、東京サミット警備、昨年の鈴木前総理官邸入り警備等があげられる。

五、出動事例
機動隊発足以来二十二年目を迎へ、その間、成田空港関係警備、援出、東京サミット警備、昨年の鈴木前総理官邸入り警備等があげられる。

六、出動事例
機動隊発足以来二十二年目を迎へ、その間、成田空港関係警備、援出、東京サミット警備、昨年の鈴木前総理官邸入り警備等があげられる。

岩手県警察機動隊

岩手県警察機動隊

機動隊発足以来二十二年目を迎へ、その間、成田空港関係警備、援出、東京サミット警備、昨年の鈴木前総理官邸入り警備等があげられる。

機動隊発足以来二十二年目を迎へ、その間、成田空港関係警備、援出、東京サミット警備、昨年の鈴木前総理官邸入り警備等があげられる。

機動隊発足以来二十二年目を迎へ、その間、成田空港関係警備、援出、東京サミット警備、昨年の鈴木前総理官邸入り警備等があげられる。

機動隊発足以来二十二年目を迎へ、その間、成田空港関係警備、援出、東京サミット警備、昨年の鈴木前総理官邸入り警備等があげられる。

機動隊発足以来二十二年目を迎へ、その間、成田空港関係警備、援出、東京サミット警備、昨年の鈴木前総理官邸入り警備等があげられる。

機動隊発足以来二十二年目を迎へ、その間、成田空港関係警備、援出、東京サミット警備、昨年の鈴木前総理官邸入り警備等があげられる。

読者の広場



いじめ・シゴキと愛の鞭

芥川準一

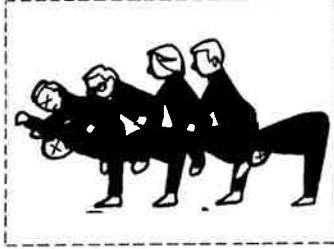
当世の流行は、「校内暴力」「いじめ」と「シゴキ」。「よい生命観のアニメに乗っかり、力て人を倒す短絡的思考回路がない対人関係。こればかりではなからうが、日本全国津々浦々、校内暴力の話題には事欠かない。

生徒が教師に暴力をふるったといっている。教師の指導力の無さを嘆き、教師が生徒を刺激したといっている教師の人格を云々し、果てはナイフが教師の自己防衛だつたりすると「ブラッ・ユーモア」を通り越す。

小学校流行の「いじめ」は、まさに「校内暴力予備軍」であり、自殺者が出るに至っては、「何で自殺なんかを……」の疑問を拭い切れぬ。大人が自殺するのにもそれ相当の苦痛が要るのに、それを小学生がするとすると、その「いじめ」方の何と陰惨なことが。

おまけに力の強者（ゴウ）なるものがガキ大将ではないが、衆を頼んで徹底的にやるとなれば子供遊びではない。もし万が一子供同志の単なる遊びだとすれば、これはもう「ハルマゲドン接近中」に近しい。

小生の知る小・中学校では、まだ教師がビンタを喰わせたし、竹の根で作った鞭の様なもので平気で腕白共狂愛の鞭を喰わせた。おまけに「斯く斯くの次第で先生に叱られた」と言わうものなり、親父の拳骨が飛んでき



の刑」といって、机と机を「ホーホケキョ」とうぐいすうろしく鳴きながら移るといふ。ここには「校内暴力」や「いじめ」などないだろう。ちなみに友人はこの「刑」のいずれも経験したこと。

閑話休題。先日ヨットスクールで正義の味方(?)が現われて、暴走族を梯子に連れて坊主にしては良かったが、「何処ともなく消えて行く」ことが出来ずに報復されたい。ここはスパルタ訓練で有名の



目は口ほどに物をいう

藤本知史

人間の体の中で、目ほどデリケートなものはないだろう。『目は心の住処(エマソン)』ともいいう。『目はいたるところで物を言う(ジョージ・ハーバート)』といわれている。たしかに、目は、その人が物を見るためのだけでなく、その人の内部を外に現わしている。

ところが、日本人特有と言われるものが「正視恐怖」であるという。ひとの視線と正対するのには気が弱いらしい。つまりは気が弱いということなのだろうか。あるいはまた、心に疚しいところがあるのだからか。『そいえば、ヤクザは黒眼鏡をかけているのが多い。ヤクザだから当然らしいところがあるだろうし、また、気が弱いからマツモト人間になれずヤクザになったかも知れない。テレビのマツモト人間が、黒眼鏡をかけているのは、毒舌家が多いため。やはり本当は気が弱い、黒眼鏡をかけているのは自分の眼を見られずに、他人が目を見られていた状態をつくり出すのだから、どだい卑怯である。

「目が口ほどに物をいう」藤本知史の文章は、読み進むにつれて、その奥行きが深くなる。人間の目には、見るだけでなく、語る力がある。それは、言葉よりも、もっとも深く、もっとも真実に語りかける。目を通して、人は自分の心を開き、他人の心にも通じる。それは、言葉では表現できない、目だけの力である。

「目を通して、眼み合のり、良いこと、自然に、さなか目目合っている」という状態がほしいものである。『第二面より続』

いが、スパルタ訓練にしても、なにかを見失うと、その目的自分とその周囲のレベルを見失うと「行き過ぎ」、「やり過ぎ」の結果となる。

「いじめ」についても、「いじめ」方や「シゴキ」方の問題で、大層な名分があっても、その目的を見失わず、「愛の鞭」をふるって欲しい。少なくとも「水戸黄門の印籠」を取り出したくなるような「いじめ」、「シゴキ」はごめんこうむりたい。

機動隊OB奮戦記

札幌方面浦河警察署 庶務主任 佐藤一郎

一年前には私は、浦河警察署庶務主任に在任中、浦河警察署に野警察官駐在所勤務の通知を受けた。まったく見知らぬ土地、しかも初めての駐在所勤務という点から、大きな不安を抱きながら、妻子と三人で赴任したのを思い出す。

この機動隊駐在所では、一つの仕事を集団で遂行し、仲間同士の連携が重要で、環境も仕事の内容も、まったく異なる。この大きな違いをどう受けとめるかが、まだ見ぬ苦闘であった。しかし、自分ごとく来たから背負ったような苦闘であった。しかし、自分ごとく来たから背負ったような苦闘であった。

赴任してからも、春の交通安全運動が始まり、小・中学校からの青空教室、交通安全法規講習会、講演の依頼を受け、口ベタの私は、頭を悩ませたこともあった。

この地域は、隣接する駐在所の管内に乗り出しがあること、夏の観光シーズンになると、車の交通量が増え、交通事故が多発するといった傾向がある。昨年八月のことであった。本

南阿波の治安維持の任に当たる徳島機動隊は、ポパイの異名をもつ力強い警備部隊として、その名を天下に轟かせている。

昭和二十七年八月に徳島警察予備隊として誕生、過去幾多の実績を経て昭和五十四年四月一日に外動隊に昇格された特別警備隊(管区機動隊)と統合され、警備部機動隊として、現在に至っている。

当隊の隊員は、一、隊員であり、自覚と誇りをもつ、「心身を鍛錬し業務技術の向上に努める」ことを目的とする。この隊員は、機動隊員は常に選ばれた者であるとの認識のもと、隊員である自覚と誇りを持ち、各種の厳しい訓練を通して、業務技術の向上に努める。もって隊員の期待に応える機動隊であるようにというのが、一丸となって隊員を受け継ぎ、伝統に誇りをもつべく日夜努力精進している。

当隊ならではの重要な警備実施活動は、阿波おどり、雑踏警備があげられる。一踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らば損な……で知られる阿波おどりは、八月十二日から十五日までの四日間、真夏の祭典として徳島市を中心に繰りひろげられる。この期間における出入は約百五十万人。この一大祭典の賑わいの力持となつて、この機動隊に当たる機動隊員を誇るべきである。

演舞場周辺の雑踏警備、主要幹線道路における交通規制等には、隊長以下全隊員が連日出動、スマートをスピーディーに、スマールをモニターに万全の警備実施活動を実施し、県民の信頼と期待に応えている。

事務局より

- ▼当励ます会千葉支部総会が七月十四日(水)十一時～十四時に、千葉ランドホテル(千葉市千葉港七番目、電話0472-41211)にて開催されます。
- 個別にご連絡致しませんがお問い合わせの上ご参加下さるようお願い申し上げます。
- 明日を創るため 頼もしい機動隊
 - 新東運輸(株)
 - (株)周東商会
 - (学)嘉悦学園
 - 岡部(株)
 - 光洋商事(株)
 - 日誠総業(株)
 - 東南貿易(株)
 - 高周波熱錬(株)
 - 高島浩一
 - 姫田清美
 - 西戸栄一
 - 加納保成
 - 松田鉄鋼(株)
 - 森 英二
 - 大和重工(株)
 - 堀口海運(株)
 - 豊鋼材工業(株)
 - 藤田金属(株)
 - 近藤与助工業(株)
 - (株)小山田工業所
 - 北海鋼機(株)

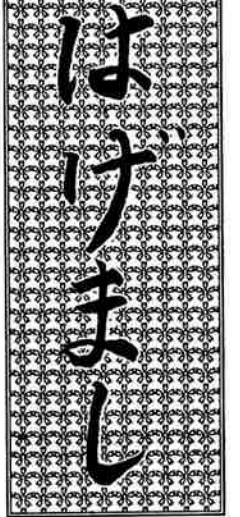
中国支部総会開催

隊員が心の支えと感激

当協賛会中国支部総会が、六月十七日十七時三十分から機動隊員等を含めて約三百名による五十八年度支部総会および懇親会が、広島県社会福祉会館で開催された。

石田武・中国支部世話人の開会の辞で始まった総会で、柳本武一・世話人代表は「増西春三・前代表の路線を受けて、今後ともしっかりと運営していく。隊員達は必ずしも精進されているが、これからも明るく強く逞しく頑張ってほしい」と励ました。

来賓挨拶として、鈴木善晴・中国警区警察局長が「協賛会も歴史を積み重ねてきており、隊員達はこの懇親会を契機として、治安情勢は一見早急だが不安要因が底流しているだけに、気を引締めて任務を遂行していく」と、また、郡敬太郎・広島県警察本部長は「福島のテロ指向、青少年の非行問題、記



発行所
社団法人 機動隊員等協賛会
東京都中央区八重洲2-4-14
〒104 ミツヤビル3階
発行人 鈴木 實
TEL 03(272)2050
購読料 年間1200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

かけ橋が太く長く

脚はさらに多角的になつてきたが、即対応できるような努力している」といふれも治安維持で決意のほどを語った。

自見真清・九州支部世話人代表の乾杯の音頭で懇親パーティーとなったが、前日までの梅雨もよりから一転しての青空となつた当日の天気のように、隊員と会員の交歓は熱気に包まれた。

松田武彦・名古屋支部世話人の万歳三唱で閉会となったが、この輪は一段と強化されよう。



宮城警察機動隊は、昭和二十九年七月警察制度改正に伴い、それまで国警の「特別機動隊」と仙台市警の「警ら方面隊」が発展的に解消して、新たに「宮城警察機動隊」として仙台市川内に発足した。

以後、三十年七月仙台市台の原に隊舎を移転し、さらに昭和五十七年十一月仙台市の中心部から十キロメートル余り西方の宮城郡宮城町に建設された鉄筋コンクリート造り三階建の近代化的庁舎に移転し現在に至っている。

日課は「強い機動隊」を合言葉に、柔道特種訓練による早期の自主トレーニング、点呼後の警備部隊編成とに由来する「三十分走」と汗を流すことから始まる。午前中の警備訓練は、一たん事あれば身を投じて対処でき、強い機動隊としての実力養成を中心としている。

北から南から

強い機動隊を合言葉に訓練
宮城警察機動隊

隊舎の周囲には、標高三百メートル前後の山々が峰を並べて、体力錬成の絶好の場となっており、午後には出勤事故など限り雨の日も風の日も登頂を続けている。その後、機動隊別の活動として、それぞれレンジャー・レスキュー・爆発物処理さらには特選分隊に別れ、迅速機敏で確実な事案処理能力の向上を図る訓練を行っている。

隊訓については、昭和三十八年に「明朗・団結・忍耐」と定め、以来二十年にわたり継承されている。当時のいわゆる第一級安夜闘争を頂点とする各種の激しい警備事象を乗り越えた自信を踏まえ、さらに益々厳しさを増す警備事象的確に対応できる警備部隊育成の指針として、全隊員の総意による「定められたものであり、誇りある隊訓として掲げている。

こうした救助活動の迅速・的確な措置は、地元市民と教育関係者等から感謝と強い信頼を得ており市長及び教育委員会からも感謝状を授けられた。

今後の活動上問題点として、(一)訓練場所の確保(二)基礎訓練として警備隊のブルを使用しているが、水深一メートルと浅いため潜水基礎訓練が十分にできない。水深のある場所での訓練は、ダム又は荒川等に出向いて滑降・浮上等の訓練を行っているが、練度の向上にかな

りの時間を要している。

(三)装備品器材関係(四)四りアトランクを背負い捜索するため、広範囲にわたる捜索活動の場合は、小型軽量タンクの整備の必要性が認められる。

(五)要員の養成(六)人事異動に伴う新隊員の養成が急務となるが、早期に要員の養成を行うためにも、機動隊員選考時に初任科教養期の体力を主とした体力検定について勘案する必要がある。

アクアラング部隊の活動状況

埼玉警察機動隊

母親、於大の方の折りに育まれ、自己の使命を自覚し、家臣の苦しみを自ら先ず苦しめ、血の滲むような努力と忍耐を越えて、戦いのない平和な世を追求した家康の姿は、完璧な手本として、私の心を捕えるのである。

家康の時代と較べて、今日ばかりの心は、豊かになったとは思えない。私達も、服従し、欣求浄土の戦いを、今日も続けなければならぬ。肉体の死期を覚りつつ、なほ関東一円の覇権に出現した家康を想って、私も今宵、社業に専念するつもりである。

NHKの大河ドラマ「徳川家康」が始まって、河野はもう今年の始めから、大賑わいだそうである。名古屋では毎年十月に、郷土祭と併せて、このドラマの放映が、愛知県庁前を、信長・秀吉・家康が次々と出前して、市を一巡する。これら三傑のほか、お徳の方・寧々様・お愛の方などは、民主主義の時代よろしく市民の中から選ばれて、お祭りの前に新聞で紹介されるが、今年にはNHKのドラマのお蔭で、人気が一層盛り上がるであろう。

愛知県はみな、信長・秀吉・家康を敬愛してはいるが、この三傑の人柄の違いによって、それぞれ異なる筋が通ってくる。名古屋の街を歩くと、一俵一僧、トルコ風呂大賑

モーター徳川と、それぞれ奮闘しているようである。泉下の三傑も、今は笑いながら、それぞれのファンを温かく見守っておられることであろう。

書店で人だかりがしているの、ふと覗いてみると、山岡荘八の文庫本「徳川家康」が、次から次へと売れていた。私も、持ち帰るのに街にはなつたが、全十冊を買い求めた。暫らくは他の書物と別売れ、三ヶ月を要したが、魅せられながら一気に読了した。

始めはテレビが本より随分先行しているが、やがて本の方がテレビを追い越した。本を読んでいると、テレビの俳優の顔が眼前に迫り、また本の中の人物をテレビでどう表現するか、今迄になく、テレビの鑑賞

に興味が寄せられた。

信長の決断と行動の速さ、秀吉の情勢判断とそれに適する智恵の正確さ、何れも郷土の英雄たらしめた所以のものと、尊敬捧ぐ能わざるものがある。私の生涯の一助となり、業績を云々しようというのではない、人間の生き方を、問題にしたいのである。

多岐多様の警備に盤石の対応

神奈川警察機動隊

達は第一機動隊とともに、神奈川の治安を守る最後の砦としての誇りを胸に、基礎体力作りの駆け足に始まって、毎月欠かさぬ武道、治安警備訓練に汗を流している。

神奈川は、日本の海の玄関港横浜、コンテナの煙突が林立する工業都市川崎、第七艦隊の拠点横須賀、歴史の町鎌倉、ヨット・サーフィンの持つカ湘南等いろいろな顔を持っている。そしてこれに、七百万市民の仕事があり、生活がある。

(第三面へ続く)

欣求浄土

分を叱咤激励している方向が、家康の生き方と一脈相通する所があるのを見つけた。家康は、同い年齢となつた私であるが、家康と私の業績は比較し得るものがある。私を生産の一助となり、業績を云々しようというのではない、人間の生き方を、問題にしたいのである。

怠っていた。このようなことから、私の意識の夢も薄れ、いつかあれこれ考へていくうちに、次の目標、新しい夢が生まれ、それが白バイ勤務である。今度こそは、自分の夢を現実にと結びつけなければ、自分から動作をおこして、白バイの希望調査があった時に、真つ先に申し込みたい。それによって面接を受ける機会が与えられた。

人間努力すれば、それが何らかの結果で現れてくる。また自分から積極的行動をしなければ何もできないと、改めて知らされた思いがした。努力が結果し、後に単車免許専科、又続けて上級専科へ入校させていただき、格付「A」を取得することができた。これにより自分の夢への第一歩を踏み出したように思えた。

夢は、人間誰かが一生懸命に求め、いくものだと思ふ。一つの夢が叶えば、人間は新たな夢を追い求める。その夢に対して、自分自身がいかにか努力するかによって、その人の価値が決まると思ふ。私もこれからは、何事に対しても一生懸命に努力し、何事に対しても「負けてたまるか」の精神で進んで行くことに、人間として、社会人として、一段と大きく成長して行きたい。

夢は、人間誰かが一生懸命に求め、いくものだと思ふ。一つの夢が叶えば、人間は新たな夢を追い求める。その夢に対して、自分自身がいかにか努力するかによって、その人の価値が決まると思ふ。私もこれからは、何事に対しても一生懸命に努力し、何事に対しても「負けてたまるか」の精神で進んで行くことに、人間として、社会人として、一段と大きく成長して行きたい。

子供の頃の私は、長男であり父親の事業を継ぐのだと聞かされていた。それが、子供心にもそれが運命であると信じていた。それが、父の事業失敗によって方向転換を余儀なくされた。大学卒業と同時に、就職難の中で、職業選択を迫られたが、警察官を志望したという大げさなものでなく、友人に誘われ、そのまま採用試験を受け、聖職ともいへばこの職業についていたのであった。

思ふに、今までの私の人生は、多少の紆余曲折はあるにせよ、こうなるべくして来た。即ち流れるままに流れて来たという感を察し得ないものである。その時々、小さい山や谷をい

かに乗りこるだけを考え、行動していたのであり、振り返ってみると、人生において与えられた時々の課題を、自分なりに処理しては来たに過ぎないものである。与えられた課題の処理結果が現在の自分なのである。その姿は、非常に受動的なものであり、自分で切りひらいた人生というには程遠い気がする。ただ一度しかない人生を、意欲深いのにもつとめるために、私なりの夢を持たねばと思ふ。

やがて年をとると、警察社会に別れを告げる日が来た時、妻や子供、同僚に囲まれ、警察官となつてよかったと言ふように充実した日々を送りたいと思ふ。

無事に第一の夢を実現し、警察社会という枠の中におさまると、今度は第二の夢が芽生えてきた。それは昇任の問題である。父親は現在警部補で、来年定年になる。だから、警部補以上つまり父親を追い越すことを目標に頑張るつもりだ。

しかし、この中で膨張を続ける人口、沖浦に次ぐ米軍施設を抱え、今また原子力空母などの横須賀寄港が噂され、治安情勢は益々厳しくなると思われる。隊員達はこの神奈川の風光と人が何より好きである。過去幾度も何より、成田空港反対闘争、日教組警備等に従事し、輝かしい実績を残してきた。この経験を活かして、明日の神奈川のために、日々新たな心で任務を全うしたいと願っている。

第二機動隊は昭和四十五年四月に、当時横浜にあった機動隊が分轄されて発足し、同年七月主として川崎、東方面を担当するため、川崎にある現庁舎に移転して以来、集団警備力の中核部隊として、過去幾多の警備実施に活躍してきた。

本県の地理的環境としては、全国でも有数の国際都市とも、また日本の表玄関とも言える国際豊かな横浜を控え、そして観光地としての鎌倉、箱根があり、四季を問わず多数の出入がある。

隊員一同、「治りにて乱を忘れず」との言葉を肝に銘じ、連日猛訓練に励み、平素における隊員個々の基礎体力の養成を図り、いかなる困難な警備実施にも、十分任務が全うできるように一層の磨きをかけている。

岡山県警本部は五月末、倉敷市西阿知町の高梁川河川敷などで合同災害警備訓練を実施した。梅雨、台風などの災害シーズンを前に毎年開かれるもので、県内各署と県警機動隊から三百十四人が参加した。

訓練は六班に分けて行われ、救命ロープの発射・展開、アルミポート・ゴムポートの組み立てなどを実施した。

高梁川に渡る水難救助訓練など参加者は真剣そのものであった。



警察官一筋に 七中一小隊 大正嘉津毅

いくら階級が上がり、給料が上つてもそれが絶対幸福だとは言えない。私は、警察官になりたいという第一の夢が実現し、現在第二機動隊員として勤務できていることを幸福だと思っている。そして、父親を階級だけでなく仕事の上でも追い越し、大阪府警に大正官と言ひられる位の立派な警察官になり、親兄弟更には将来の妻子を幸福にすることが私の夢である。

しかし、この中で膨張を続ける人口、沖浦に次ぐ米軍施設を抱え、今また原子力空母などの横須賀寄港が噂され、治安情勢は益々厳しくなると思われる。隊員達はこの神奈川の風光と人が何より好きである。過去幾度も何より、成田空港反対闘争、日教組警備等に従事し、輝かしい実績を残してきた。この経験を活かして、明日の神奈川のために、日々新たな心で任務を全うしたいと願っている。

第二機動隊は昭和四十五年四月に、当時横浜にあった機動隊が分轄されて発足し、同年七月主として川崎、東方面を担当するため、川崎にある現庁舎に移転して以来、集団警備力の中核部隊として、過去幾多の警備実施に活躍してきた。

本県の地理的環境としては、全国でも有数の国際都市とも、また日本の表玄関とも言える国際豊かな横浜を控え、そして観光地としての鎌倉、箱根があり、四季を問わず多数の出入がある。

隊員一同、「治りにて乱を忘れず」との言葉を肝に銘じ、連日猛訓練に励み、平素における隊員個々の基礎体力の養成を図り、いかなる困難な警備実施にも、十分任務が全うできるように一層の磨きをかけている。

岡山県警本部は五月末、倉敷市西阿知町の高梁川河川敷などで合同災害警備訓練を実施した。梅雨、台風などの災害シーズンを前に毎年開かれるもので、県内各署と県警機動隊から三百十四人が参加した。

訓練は六班に分けて行われ、救命ロープの発射・展開、アルミポート・ゴムポートの組み立てなどを実施した。

高梁川に渡る水難救助訓練など参加者は真剣そのものであった。

合防訓練等に積極的に参加し、あらゆる現場での救出技術の向上に努めた。

また、突発事案発生に備え、爆処理訓練及びレンジャー訓練、航空隊との合同訓練、アクアラック訓練等に想定訓練を交え実施している。

昭和五十七年中は、県内においてはたいした警備事案もなく比較的平穏な年であったが、県外においては、三月の広島反核集会警備を皮切りに、六月の長崎県島原市における日教組定期大会警備、七月の佐賀県唐津市における玄海原反核公開ヒアリング警備等派遣回数十四、延日数四十四日で、本県機動隊定員以上の記録となった。

なかでも、昨年十月島根県下で開催された第三十七回国体秋季大会警備に際しては、現地に於いては、左等の侵入防止を目的とした検問警備に従事中、隊員の周到綿密な所持品検査により、全国の警察が最重点に於いて取り組んでいる広域暴力団幹部を無免許と見せしめ使用所持の現行犯人として逮捕したことは、大きな成果であった。

災害警備訓練は、当県が災害常備隊であることから、舟艇操縦訓練を始め熊本県・市の総操縦訓練を開始した。

徳島県警察は、災害などで県警機動隊の人数不足を補う第二機動隊(村田利行隊長)の編成

新庁舎落成及び三十周年記念式典

長野県警察機動隊は五月下旬、長野市松代町西条地籍の新隊舎で、庁舎落成式と機動隊創設三十周年記念式典を挙げていた。



新庁舎の落成を機に、さらに訓練に精進し、県民の期待に応えたいと励ました。

だが、全国でも二番目の基地県として、県内には相当数の米軍施設が存在する等、複雑な社会環境にある。

昭和四十七年は、二月月間回で運行された「相模原線車庫警備」。五十三年は、航空保安施設に対するゲリラ襲撃事件被害者を逮捕した事案。昭和五十四年は、「日米首脳会談」警備。昭和五十六年は、「横須賀港反核反対闘争」警備。そして五十七年は、「リムパッ(環太平洋合同演習)反対闘争」警備。

さらには、国際的問題となった金大中氏ら致事件に伴い「韓国領事館警備」に当り、重要な責務を果した。葉山には御用邸があり、県警察の総力をあげて御警備に当たっている。

岡山県警本部は五月末、倉敷市西阿知町の高梁川河川敷などで合同災害警備訓練を実施した。梅雨、台風などの災害シーズンを前に毎年開かれるもので、県内各署と県警機動隊から三百十四人が参加した。

訓練は六班に分けて行われ、救命ロープの発射・展開、アルミポート・ゴムポートの組み立てなどを実施した。

高梁川に渡る水難救助訓練など参加者は真剣そのものであった。

徳島県警察は、災害などで県警機動隊の人数不足を補う第二機動隊(村田利行隊長)の編成

員百七人は、二十二歳から二十八歳までの若さで、うち半数が初任隊である。秋の災害シーズンを前に、二カ月に一回の割合で訓練を実施して災害時に備えるが、立花県警本部長は「県民

の生活を守るためには、集団としての警備力が必要である。集団訓練の機会を利用して行動力の錬成に励んでほしい」と訓話した。

災害警備の向上に積極的 熊本県警察機動隊

熊本県警察機動隊は、昭和三十四年四月に警交交通課所属として発足した。三十七年三月十一日機構改革により、警交交通課を外勤課と交通課に分割し、機動隊は外勤課所屬となり、三十九年三月に外勤課を警ら課に改名し、機動隊一個小隊編成となった。四十二年四月機動隊は警備部警備課所屬となり、四十四年四月専従隊長設置に伴い警備部機動隊として独立した。四十四年四月、二個小隊編成による熊本県警機動隊が発足、五十年四月一日にこの管区機動隊を県機動隊に統合し、現在に至っている。

勤務は日勤制で、年間及び月間の教養訓練計画に基づき、治安警備訓練・災害警備訓練・術科訓練等を計画的に実施している。治安警備訓練は、警備部隊活動要領を主に、隊独自による反復訓練のほか、二機との合同訓練を実施している。

災害警備訓練は、当県が災害常備隊であることから、舟艇操縦訓練を始め熊本県・市の総操縦訓練を開始した。

徳島県警察機動隊 式を五月下旬、徳島市の警察学校グラウンドで行った。

県内九署から選抜された新隊

読者の 広場



おししん

S・T生

母たちの青春！その光を陰に見つめて……と題する「おししん」橋田壽賀子が綴るいま評判の連続テレビドラマである。

小林綾子（十歳）が演じた十歳前後のおししの澄み切った眼そして辛抱に堪えるたくましさ……病いばい動いてもなお貧しさを追いかけ、年端のゆかぬおししんを余儀なく奪公に出し、その後ろ姿に手を合わせ温かい父親、またひたすらに耐え忍びわがごとくも子と思ひ典型的な日本の母親……。

明治四十年頃の雪国の貧しい寒村を舞台にくり広げられる「春公編」のおししんには、大分泣かされた。特に七歳のおししんを奪公に出す際、日頃強固な父親がイカダに乗ったおししんを岩山の木陰つたいに追いかけるが「すまねえ、すまねえ、おししん」と呼び泣きじゃくりうずくまる姿には、しばし涙を止める術を知らなかった。

いまはドラマが進み、おししんの役も田中裕子に替り、山本茂実の「あゝ野麦峠」ではないが、製糸工場へ働きに行き、体をこわして肺病で亡くなった姉は、この遺志を継いで上京し、養子の修業中のおししんであるが、また一段と視聽率が上がり、五〇〇万を超えたとか、茶の間の大変な話題となっている。

なぜいまこの明治・大正・昭和を生きていく一人の女性像がこころまでも人々を感動させるのかその一つは「おししん」と云う名

前に込められている「辛抱に堪え、真心をもって人を信じ、常に新しいことに向って前進する」の強い「次」を演じるスタッフと俳優の優秀さと打ち込みかたのすばらしさにあるが、もう一つは、ひと昔前の明治時代と比較して今日が如何に豊かであり、幸せな時代であるか思い知らされている。

そして視聽者の多くは、ひろく明治・大正・昭和と激動の時代を生きて抜いてこれた方達の人生史を知り、その方達の生きざまを通じて、私達が今見失ったものをみつめ直したいのではないだろうか。

しかしそれは、若い世代にこの母たちの生きざまや考えかたが理解出来るであろうか？教育ママが、当り前の時代に勉強したくても小学校に行けず、七歳から奪公に出される子供がいたなんて……マキで炊事をし、大家族の洗濯も縫いものも、すべてその手でして来た強い母達の苦勞に育まれてこの豊かな今日の時代が築かれたこと……。

我々は、その運しの中にも豊かさが、今私達が失ってしまつた大事なものがたくさんあることに気がつかなければならぬ。「おししん」は、そうした母達の象徴である。

安定成長下でのものもろの牙痕、構造不況、サバイバル、冬の時代と云われる厳しい今日を生きていくために「温故知新」我

本杜ビルに展示させていたたい、蒸気機関車C57148号機に火を入れて走らせた。頭で考えている以上に大変です。そこで、いつもレール巾五時のライプスチームロコを動かす事で我慢しています。

今年も、役員をしてる宝塚の雲雀丘学園小学校の校長に、線路を敷設して去る五月約一千名の児童諸君と一日楽しく遊びました。カットの写真は当日のものでした。

この機関車は本物と同じで、水を飲み石炭を炎火して蒸気を作り走ります。走行のため機関車に水を入れておくと、「おじちゃんガソリンを入れてるの？」「石炭ちょうだい」真白い絹のハンカチーフの中へ黒い石炭を包んでいる女の子供さんといつても、「マにこれなんよ」と云つても、「マにこれなんよ」と云つても、走行に必要な石炭より、子供達の持つて行く石炭の方がずっと多いのにも驚いていました。

高学年の子供さんは、水・火・蒸気の圧力と走るメカを分ってくれますが、燃料といえはガソリン・灯油と見えか見えない子供達に、何で石炭や木炭の固型燃料が火になるのか不可解のようで、火の燃えている缶の口を見て、不思議な目で質問し説明に困りました。

又、石炭の煙の匂いは、私にとつてはシャネルの「一番香」としか思いませんが、子供達は臭い、喉が痛い、おれの作文の中に多くが訴えています。

巾五時の小さな鉄道ですが、子供達の楽しそうな笑顔を見て



西野 公庸

ライプスチームロコ

は常にふるさとをたずねて新しさを知らなければならぬ。このドラマの「おししん」で、今私達生きるための大事なもの

標を採れるかも知れない。引続き放映を見て頂くと共に、夏休みに再放送があると云う。今から楽しみに心待ちしている。

初心忘れずに

鹿児島県 山口 景雄
(警視庁二機山口文雄隊員の実父)

文雄は男の子五人兄弟の三男として生まれ、五人とも無事成人してそれぞれの道を進んでいる。文雄は子供の頃から元気な子で、小学校へ入学した時、教室のつり天井に上り、天井裏を走り廻る足音に先生方がびっくり、危いのでつかまえて見たら文雄で、校長先生が「そんなに暴れるのであれば、校長先生の家に子供がいないから校長先生の家に泊って学校へ行きなさい」と諭したら、「お母さんと一緒に泊る」と言っただか校長先生が「この子はボクモんだ」と大笑いした事があった。高校三年生のとき、後輩の一年生が下校時、最終バスに乗り遅れ困っているのを見て五十。の単車に乗同乗させて送ってやったことがあった。この一年生は自宅まで十六キロぐらいあり、山道を徒歩では暗くなり、電灯も持たずかわいそうだと、二人乗りは悪いと知りながら乗せて来たと言っている。親として後輩をかわいそうだと思う気持ちが良いのだが、二人乗りは法に反した行為ではないかと説教したことがあった。こうした事に直面した親が、

子供に対する教育法は如何にして生れたい。姉が三人あり、私共は四つ目の子で、長男であり末っ子である。当時は祖父父母も健在で八人家族であった。家族みんなに愛され元気に成長したので、これという病気をすることもなかった。

利明は三十二年一月二十七日に生れた。姉が三人あり、私共は四つ目の子で、長男であり末っ子である。当時は祖父父母も健在で八人家族であった。家族みんなに愛され元気に成長したので、これという病気をすることもなかった。

わ高く吾妻小富士が聳えている。今は盤梯吾妻スカイラインとなり国立公園に指定されるに至った。

私は朝夕、吾妻連峰を眺めて四季の変化を感じ、自然の雄大さと美しさの中で暮らしている。今は全国でも有名な観光地となったのもっともだと思つた。二十数年前、京都福島市に合併され陸運事務所が移転して以来、大小さまざまな車に関連した中小企業や事務所・商店などがあつた。従つて人口も住宅も急激にふえてきた。

阿武隈川と荒川によって福島とへだてられ、八木田橋と信天橋によって結ばれているのが朝夕は通勤通学の車や人で混雑を極めている。又、東北新幹線が福島駅を通り僅か二時間二十分で大宮に行くことができた。しかし、今から二十数年前、利明は家から三キロも離れた幼稚園に小さい友達同で通つた小川で蛙やトンボ等の生き物や草花を取り、ポケットをふくらませてきて座敷に放し、それを相手に遊んでいたものである。その他、鳩を飼つたのも、とにかく動物が好きでよく面倒をみていた。

高校に入ってからは空手部に入り、放課後選手まで練習し、試合にも出場してカップやメダル等を貰つて来た。また休日には、あの土湯温泉で有名な土湯温泉までの往復二十数キロを朝四時頃起きて、マラソンをして汗を流して心身の鍛練にげみ我慢強さと粘り強さを養つて成長していった。こうした修行が警察官への志望につながつた事と思つた。

今度、彼が大学を卒業出来たことは、本人の努力もあるが、理解と励ましのお陰であるとの深く感謝している。彼も大学を卒業するに当り、色々と故郷の事を思い出している。豊かになつた我が家を取りまく豊かさを自然と心と推察している。又、私も彼の帰郷を待つ事切なるものがある。

- 書中お見舞い
申し上げます
- 小川運輸(株)
 - 津田鋼材(株)
 - 芝本龍平
 - 山鉄商(株)
 - 関東鉄(株)
 - 大野興業(株)
 - 高周波熱錬(株)
 - 廣慶太郎
 - 西野公庸
 - 竹之上誠剛
 - 橋本尚吾
 - 宮崎精鋼(株)
 - 広畑海運(株)
 - 豊田通商(株)
 - 岡谷鋼機(株)
 - 丸橋正彦
 - 内外運輸(株)
 - 自見産業(株)
 - 三星金属工業(株)
 - (株)辻作次郎商店
 - 仙台運送(株)